
大阪市在宅医療・介護連携推進事業に 関する医療施設等アンケート調査 報告書

令和4年1月

大阪市健康局

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査の趣旨・背景	1
(2) 実施方法	1
(3) 調査対象・回収結果	1
(4) 調査項目	1
2. 施設の基本情報	3
(1) 標ぼう診療科	3
(2) 施設の開設主体	4
(3) 併設施設	5
(4) 届出施設基準	6
(5) 地域連携のための部署の有無	6
(6) 病院における地域連携を担当する職員の職種・人数	7
(7) 病院以外の施設における職種別職員数	9
(8) 加算の届出状況	12
(9) 在支診等の届出理由	13
3. 在宅医療の実績等	15
(1) 診療等の実績（令和3年10月の1ヶ月間）	15
(2) 退院患者の実績（令和3年10月の1ヶ月間）	20
4. カンファレンスの状況	22
(1) 入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針	22
(2) 入退院カンファレンスの課題	23
(3) 病院からの入退院カンファレンスへの出席対応	24
(4) サービス担当者会議への出席対応	25
(5) 入退院カンファレンスの実施方法	27
(6) 入退院カンファレンスへの出席方法	28
(7) サービス担当者会議への出席方法	29
5. 地域との連携に関する認識	30
(1) 施設としての全般的な連携度	30
(2) 他職種・他機関との連携度	32
(3) 各種情報についての意見交換・共有	36
(4) 「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績	40
(5) 「病院窓口一覧」の認知・利用実績	41
(6) 「入退院支援の手引き」の認知・利用実績	42
6. 今後に向けた方向性	43
(1) 地域の在宅医療の推進への貢献度	43
(2) 地域の在宅医療の推進への今後の意向	45
(3) 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること	46
(4) 地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題	51
(5) ACP（人生会議）の実施状況	55
(6) 在宅での看取りにおいての課題	56
(7) 仕事の満足度	60
○ 調査票（病院、在支診、在支歯診、訪問薬局、訪問看護）	

1. 調査概要

(1) 調査の趣旨・背景

- ・在宅医療・介護連携推進事業は、平成 27 年に介護保険法の地域支援事業として位置づけられ、市町村が主体となり、地区医師会等と緊密に連携しながら、医療・介護関係機関間の連携体制の構築の推進等を図ることとされた。
- ・本事業の推進にあたっては、厚生労働省「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 3」において、既存のデータの収集やアンケートの実施により、定量的及び定性的な現状把握を行い、課題の抽出を行うことが明記されている。また、めざす理想像や目標の設定を行い、PDCA サイクルにより事業の進捗を評価していくことが求められている。
- ・本市では、アンケート調査を実施することで、在宅医療・介護連携推進事業の現状把握に努めるとともに、医療と介護の連携のうえでの課題整理と事業評価の基礎資料となる医療側に着目したアンケート調査を実施した。

(2) 実施方法

- ・対象施設へ本調査についての調査票を送付し、返信用封筒による郵送、FAX、Web（別途 Web 上に回答環境を設置）のいずれかの方法での回答を依頼した。
- ・令和 3 年 11 月 5 日から令和 3 年 11 月 30 日までを調査期間とした。
- ・なお、前回調査は平成 30 年 2 月 21 日から平成 30 年 3 月 9 日までを調査期間とした。

(3) 調査対象・回収結果

- ・調査対象は以下の 5 類型・計 3,243 施設とした。
- ・有効回答率は 62.9%となった。

対象施設※	対象数	回収数	有効回答数	有効回答率
病院	175	117	117	66.9%
在宅療養支援診療所（在支診）	746	391	389	52.1%
在宅療養支援歯科診療所（在支歯診）	324	188	188	58.0%
在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局（訪問薬局）	1,540	1,022	1,018	66.1%
訪問看護ステーション（訪問看護）	458	336	329	71.8%
合計	3,243	2,053	2,041	62.9%

※（）は本報告書での略称

(4) 調査項目

- ・5つの施設類型ごとに次表の項目を問うた。

対象施設	回答者
病院	地域医療連携室等において主として地域連携を担当されている方 （または、入退院調整部門の事情を十分に把握されている方（責任者等））
在支診 在支歯診 訪問薬局	管理者の方 （管理者が在宅医療に従事していない場合は在宅医療に従事している方）
訪問看護	管理者の方

NO	設問	回答形式	新規設問	施設類型				
				病院	在宅診	在宅歯診	訪問薬局	訪問看護
1. 施設の基本情報								
	1	標ぼう診療科	MA		問1①	問1①		
	2	施設の開設主体	SA		問1②	問1②		問1②E
	3	併設施設	MA		問1③	問1③		問1③
	4	届出施設基準	SA	○	問1④			
	5	地域連携のための部署の有無	SA		問6			
	6	病院における地域連携を担当する職員の職種・人数	数		問7			
	7	病院以外の施設における職種別職員数	数			問1⑤	問1⑤C	問1⑤
	8	加算の届出状況	MA		問1⑥A			問1⑥E
	9	在宅診等の届出理由	MA			問1⑦B	問1⑦C	問1⑦D
2. 在宅医療の実績等								
	1	診療等の実績（令和3年10月の1ヶ月間）	数		問2①A	問2B	問2C	問2D
	2	退院患者の実績（令和3年10月の1ヶ月間）	数		問2②			
3. カンファレンスの状況								
	1	入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針	SA		問8			
	2	入退院カンファレンスの課題	MA		問12			
	3	病院からの入退院カンファレンスへの出席対応	SA			問9	問9	問9
	4	サービス担当者会議への出席対応	SA		問13	問13	問13	問13
	5	入退院カンファレンスの実施方法	MA	○	問10			
	6	入退院カンファレンスへの出席方法	MA	○		問11	問11	問11
	7	サービス担当者会議への出席方法	MA	○	問14	問14	問14	問14
4. 地域との連携に関する認識								
	1	施設としての全般的な連携度	SA		問15	問15	問15	問15
	2	他職種・他機関との連携度	SA		問16A	問16B	問16C	問16D
	3	各種情報についての意見交換・共有	SA		問17	問17	問17	問17
	4	「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績	SA		問22	問22	問22	問22
	5	「病院窓口一覧」の認知・利用実績	SA	○	問23	問23	問23	問23
	6	「入退院支援の手引き」の認知・利用実績	SA	○	問24	問24	問24	問24
5. 今後に向けた方向性								
	1	地域の在宅医療の推進への貢献度	SA		問3	問3	問3	問3
	2	地域の在宅医療の推進への今後の意向	SA		問4	問4	問4	問4
	3	在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること	MA		問5	問5	問5	問5
	4	地域での在宅医療を継続に当たり苦慮する課題	SA	○	問18	問18	問18	問18
	5	ACP（人生会議）の実施状況	SA	○	問19	問19	問19	問19
	6	在宅での看取りにおける課題	SA	○	問20	問20	問20	問20
	7	仕事の満足度	SA		問21	問21	問21	問21

※SA：単一回答 MA：複数回答 数：数値回答

病院：20床以上の病床を有する医療機関
在宅診：在宅等における療養を24時間体制で往診や訪問看護を実施する診療所
在宅歯診：在宅等における療養を歯科医療面から支援する歯科診療所
訪問薬局：医師の指示により薬剤師が在宅療養している患者に薬剤指導を行う薬局
訪問看護：医師の指示により看護師等が在宅での必要な看護サービスを提供する事業所

2. 施設の基本情報

(1) 標ぼう診療科

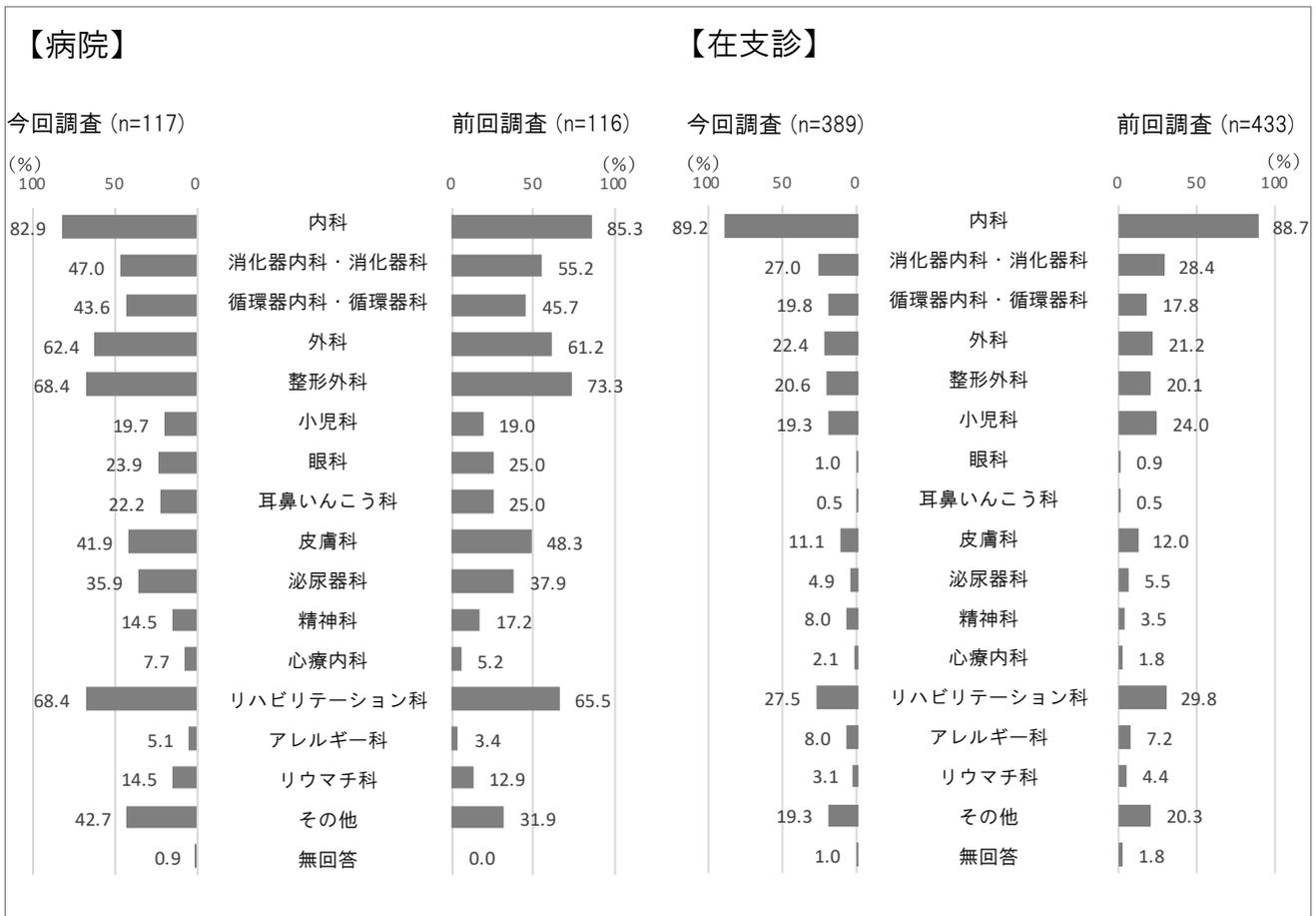
病院

- ・「内科」が82.9%と最も多く、次いで、「整形外科」「リハビリテーション科」が68.4%、「外科」が62.4%の順となっている。
- ・「その他」の内訳としては、「脳神経外科」「放射線科」「肛門科」などとなっている。

在支診

- ・「内科」が89.2%と最も多く、次いで、「リハビリテーション科」27.5%、「消化器内科・消化器科」27.0%の順となっている。

図表1 標ぼう診療科



(2) 施設の開設主体

病院

- ・「医療法人（社会医療法人含む）」が72.6%と最も多い。
- ・これに次ぐものとして、「国・公立・公的・社会保険関係団体」6.0%、「社団法人・財団法人」「社会福祉法人」5.1%となっている。

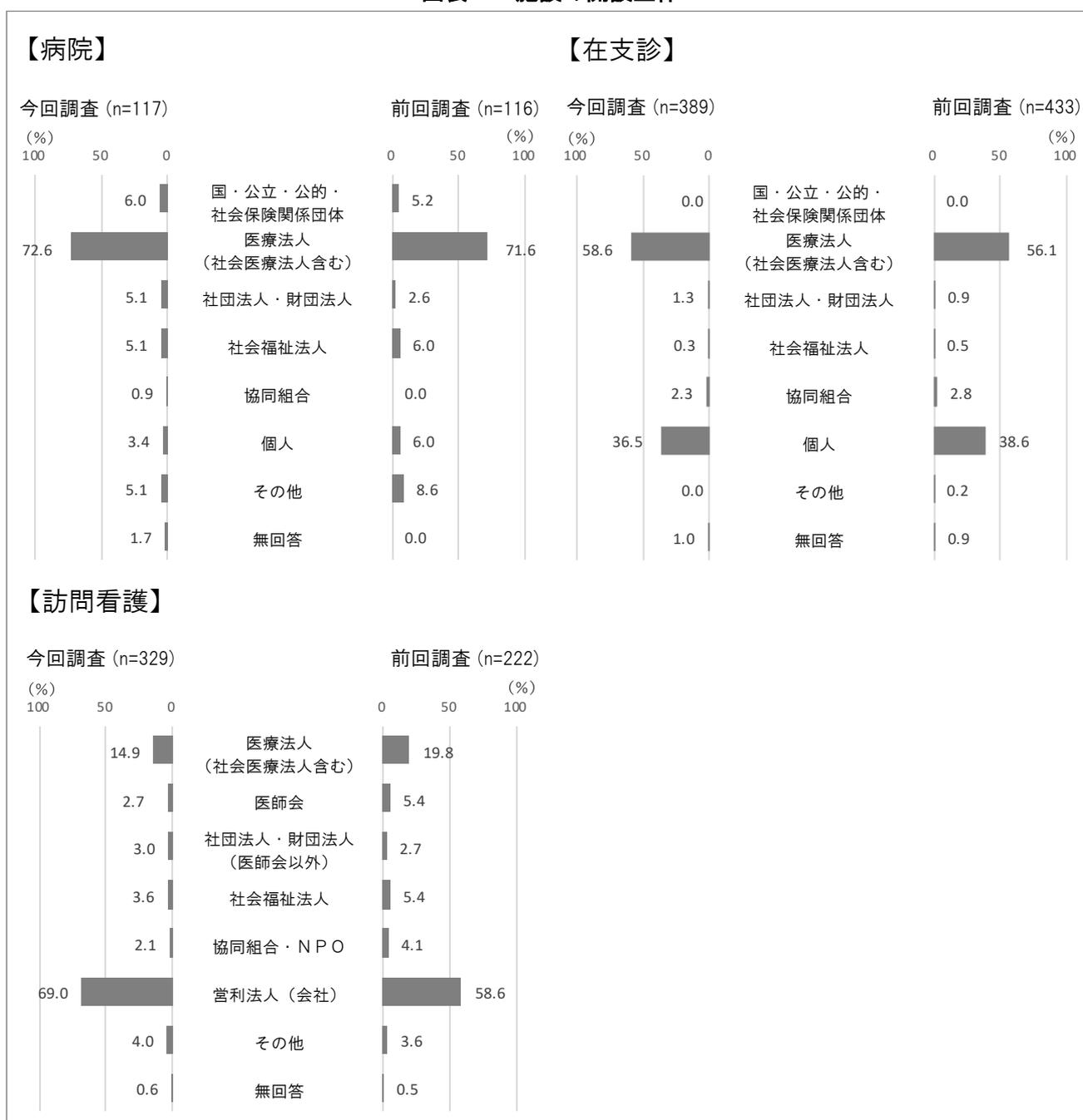
在支診

- ・「医療法人（社会医療法人含む）」が58.6%と最も多く、次いで、「個人」が36.5%となっている。

訪問看護

- ・「営利法人（会社）」が69.0%と最も多く、次いで、「医療法人（社会医療法人含む）」が14.9%となっている。

図表2 施設の開設主体



(3) 併設施設

病院

- ・「併設なし」52.1%以外では、「訪問看護ステーション」「居宅介護支援事業所」が20.5%と最も多く、次いで、「施設・居住系サービス事業所」が16.2%の順となっている。

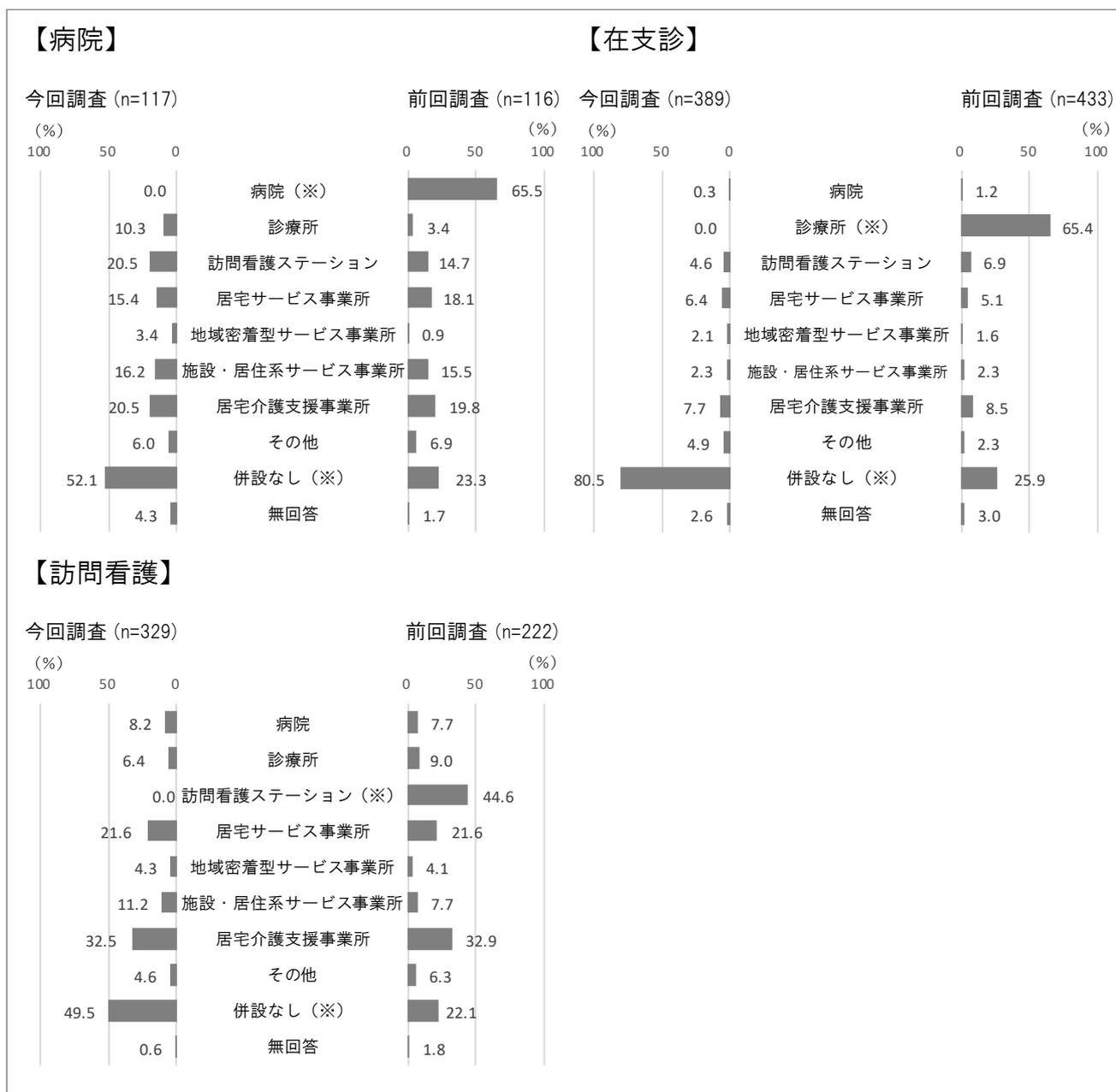
在支診

- ・「併設なし」80.5%以外では、「居宅介護支援事業所」が7.7%と最も多い。

訪問看護

- ・「併設なし」49.5%以外では、「居宅介護支援事業所」が32.5%と最も多く、次いで、「居宅サービス事業所」21.6%の順となっている。

図表3 併設施設



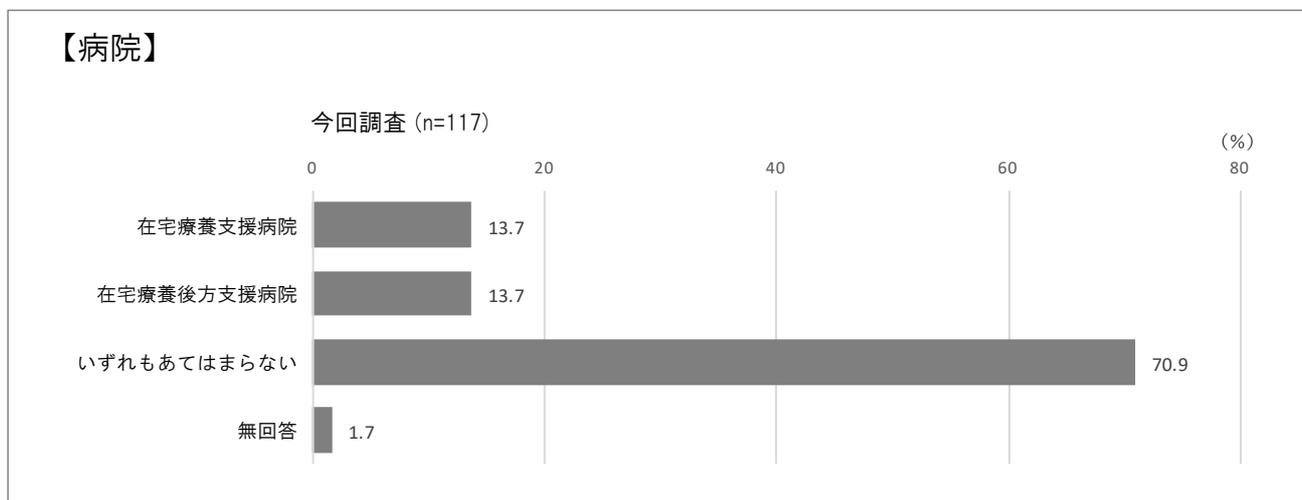
※今回調査は、併設施設として同種施設を回答している場合、併設なしの回答とした。

(4) 届出施設基準

病院

- ・「在宅療養支援病院」「在宅療養後方支援病院」がそれぞれ 16 施設 (13.7%) となっている。

図表 4 届出施設基準

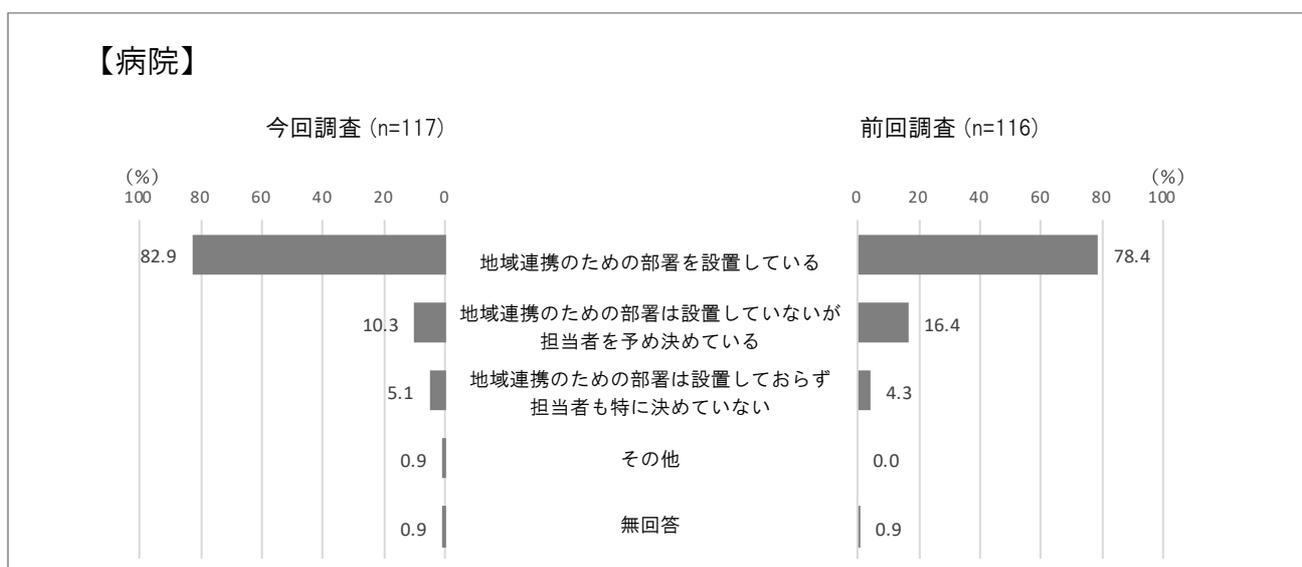


(5) 地域連携のための部署の有無

病院

- ・「地域連携のための部署を設置している」が 82.9% となっており、前回調査の 78.4% より増加している。
- ・一方、「地域連携のための部署は設置していないが担当者を予め決めている」が 10.3% となっており、前回調査の 16.4% より減少している。

図表 5 地域連携のための部署の有無



(6) 病院における地域連携を担当する職員の職種・人数

病院

- ・地域連携を担当する職員を配置している病院における専任・兼任を問わない職種別の平均人数は、「MSW」が3.59人と最も多く、「看護師・保健師」2.79人、「医療事務」2.59人、「医師」1.41人となっている。
- ・さらに専任、兼任のそれぞれの平均人数では、「MSW」は専任3.39人・兼任2.42人、「看護師・保健師」は専任3.05人・兼任1.94人、「医療事務」は専任2.93人・兼任1.85人となっている

図表6 病院における地域連携を担当する職員の職種・人数

【専任】	上段(施設数) 下段(%)									
	医師		看護師・保健師		MSW		医療事務		その他	
	今回調査	前回調査								
0人	72 (61.5)	22 (19.0)	52 (44.4)	15 (12.9)	31 (26.5)	14 (12.1)	59 (50.4)	21 (18.1)	67 (57.3)	20 (17.2)
1人	3 (2.6)	4 (3.4)	17 (14.5)	22 (19.0)	21 (17.9)	19 (16.4)	6 (5.1)	4 (3.4)	8 (6.8)	3 (2.6)
2人	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (5.1)	11 (9.5)	14 (12.0)	12 (10.3)	9 (7.7)	5 (4.3)	1 (0.9)	3 (2.6)
3~5人	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (6.0)	7 (6.0)	29 (24.8)	17 (14.7)	11 (9.4)	2 (1.7)	1 (0.9)	1 (0.9)
6人以上	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (6.8)	3 (2.6)	11 (9.4)	12 (10.3)	2 (1.7)	4 (3.4)	1 (0.9)	1 (0.9)
無回答	42 (35.9)	90 (77.6)	27 (23.1)	58 (50.0)	11 (9.4)	42 (36.2)	30 (25.6)	80 (69.0)	39 (33.3)	88 (75.9)
計	117 (100.0)	116 (100.0)								
平均(人)※	1.00	1.00	3.05	2.12	3.39	3.65	2.93	2.60	1.91	2.00

【兼任】	上段(施設数) 下段(%)									
	医師		看護師・保健師		MSW		医療事務		その他	
	今回調査	前回調査								
0人	56 (47.9)	17 (14.7)	43 (36.8)	12 (10.3)	50 (42.7)	17 (14.7)	53 (45.3)	21 (18.1)	71 (60.7)	17 (14.7)
1人	23 (19.7)	19 (16.4)	25 (21.4)	30 (25.9)	16 (13.7)	12 (10.3)	17 (14.5)	21 (18.1)	2 (1.7)	8 (6.9)
2人	4 (3.4)	8 (6.9)	13 (11.1)	6 (5.2)	7 (6.0)	13 (11.2)	6 (5.1)	7 (6.0)	1 (0.9)	3 (2.6)
3~5人	1 (0.9)	1 (0.9)	8 (6.8)	5 (4.3)	6 (5.1)	5 (4.3)	2 (1.7)	0 (0.0)	2 (1.7)	2 (1.7)
6人以上	1 (0.9)	0 (0.0)	2 (1.7)	2 (1.7)	4 (3.4)	2 (1.7)	2 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
無回答	32 (27.4)	71 (61.2)	26 (22.2)	61 (52.6)	34 (29.1)	67 (57.8)	37 (31.6)	67 (57.8)	41 (35.0)	86 (74.1)
計	117 (100.0)	116 (100.0)								
平均(人)※	1.45	1.43	1.94	1.93	2.42	2.41	1.85	1.25	2.00	1.62

上段(施設数) 下段(%)

【専任・兼任】	医師		看護師・保健師		MSW		医療事務		その他	
	今回調査	前回調査								
0人	55 (47.0)	15 (12.9)	28 (23.9)	8 (6.9)	20 (17.1)	8 (6.9)	43 (36.8)	19 (16.4)	66 (56.4)	17 (14.7)
1人	26 (22.2)	23 (19.8)	31 (26.5)	44 (37.9)	21 (17.9)	23 (19.8)	19 (16.2)	24 (20.7)	10 (8.5)	11 (9.5)
2人	4 (3.4)	8 (6.9)	18 (15.4)	19 (16.4)	22 (18.8)	24 (20.7)	12 (10.3)	11 (9.5)	2 (1.7)	4 (3.4)
3~5人	1 (0.9)	1 (0.9)	16 (13.7)	11 (9.5)	32 (27.4)	24 (20.7)	16 (13.7)	4 (3.4)	3 (2.6)	5 (4.3)
6人以上	1 (0.9)	0 (0.0)	10 (8.5)	5 (4.3)	18 (15.4)	15 (12.9)	4 (3.4)	2 (1.7)	1 (0.9)	0 (0.0)
無回答	30 (25.6)	69 (59.5)	14 (12.0)	29 (25.0)	4 (3.4)	22 (19.0)	23 (19.7)	56 (48.3)	35 (29.9)	79 (68.1)
計	117 (100.0)	116 (100.0)								
平均(人)※	1.41	1.38	2.79	2.20	3.59	3.44	2.59	1.80	1.94	1.85

※平均：「0人」「無回答」を除く施設における平均人数を算出

(7) 病院以外の施設における職種別職員数 (医師数、歯科医師数、薬剤師数は近畿厚生局データに基づき集計)

在支診

- ・ 医師 (常勤) 数は、77.9%が1人となっており、平均人数は1.31人となっている。
- ・ 34.5%の施設で医師 (非常勤) を配置しており、その平均人数は4.15人となっている。
- ・ 看護師を配置している施設における平均人数は、常勤2.28人、非常勤2.62人となっている。
- ・ 14.5%の施設で常勤、9.0%の施設で非常勤のOT・PT・STを配置している。

在支歯診

- ・ 歯科医師 (常勤) 数は、63.8%が1人となっており、平均人数は1.88人となっている。
- ・ 45.7%の施設で歯科医師 (非常勤) を配置しており、その平均人数は3.84人となっている。
- ・ 歯科衛生士を配置している施設の平均人数は、常勤3.13人、非常勤2.86人となっている。

訪問薬局

- ・ 薬剤師 (常勤) 数は、「1人」45.6%、「2人」25.0%となっており、平均人数は2.21人となっている。
- ・ 81.4%の施設で、薬剤師 (非常勤) を配置している。

訪問看護

- ・ 看護師 (常勤) 数は、「3～4人」が41.3%と最も多く、平均人数は4.77人となっている。
- ・ 97.0%の施設で看護師 (非常勤) を配置しており、その平均人数は5.09人となっている。
- ・ 37.7%の施設で常勤、33.7%の施設で非常勤のOT・PT・STを配置している。

図表7 病院以外の施設における職種別職員数

【在支診】		上段(施設数) 下段(%)											
		医師 (常勤)		医師 (非常勤)		看護師(※1) (常勤)		看護師(※1) (非常勤)		OT・PT・ST(※2) (常勤)		OT・PT・ST(※2) (非常勤)	
		今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
0人	0 (0.0)	0 (0.0)	254 (65.3)	300 (69.2)	67 (17.2)	63 (14.5)	100 (25.7)	73 (16.9)	260 (66.8)	245 (56.6)	275 (70.7)	237 (54.7)	
1人	303 (77.9)	337 (77.8)	44 (11.3)	54 (12.4)	115 (29.6)	133 (30.7)	81 (20.8)	71 (16.4)	15 (3.9)	12 (2.8)	15 (3.9)	13 (3.0)	
2人	61 (15.7)	78 (18.0)	22 (5.7)	24 (5.6)	89 (22.9)	106 (24.5)	66 (17.0)	100 (23.1)	15 (3.9)	12 (2.8)	7 (1.8)	6 (1.4)	
3人	18 (4.6)	13 (3.0)	12 (3.1)	12 (2.7)	47 (12.1)	52 (12.0)	47 (12.1)	54 (12.5)	9 (2.3)	12 (2.8)	4 (1.0)	6 (1.4)	
4人以上	6 (1.5)	5 (1.2)	56 (14.4)	23 (5.3)	42 (10.8)	35 (8.1)	61 (15.7)	53 (12.2)	17 (4.4)	7 (1.6)	9 (2.3)	8 (1.8)	
無回答	1 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.3)	0 (0.0)	29 (7.5)	44 (10.2)	34 (8.7)	82 (18.9)	73 (18.8)	145 (33.5)	79 (20.3)	163 (37.6)	
計	389 (100.0)	433 (100.0)	389 (100.0)	433 (100.0)	389 (100.0)	433 (100.0)	389 (100.0)	433 (100.0)	389 (100.0)	433 (100.0)	389 (100.0)	433 (100.0)	
平均(人)(※3)	1.31	1.28	4.15	—	2.28	2.10	2.62	2.61	3.23	3.14	3.14	2.55	

【在支歯診】

上段(施設数) 下段(%)

	歯科医師 (常勤)		歯科医師 (非常勤)		歯科衛生士 (常勤)		歯科衛生士 (非常勤)	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
0人	0 (0.0)	0 (0.0)	102 (54.3)	149 (55.9)	18 (9.6)	11 (4.1)	32 (17.0)	26 (9.8)
1人	120 (63.8)	176 (66.0)	29 (15.4)	41 (15.6)	53 (28.2)	75 (28.2)	44 (23.4)	64 (24.1)
2人	34 (18.1)	57 (21.5)	16 (8.5)	21 (7.8)	29 (15.4)	59 (22.2)	40 (21.3)	44 (16.5)
3~5人	24 (12.8)	30 (11.3)	24 (12.8)	23 (8.6)	61 (32.4)	53 (19.9)	46 (24.5)	54 (20.3)
6人以上	10 (5.3)	3 (1.2)	17 (9.0)	32 (12.1)	19 (10.1)	11 (4.1)	14 (7.4)	18 (6.8)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (4.3)	57 (21.4)	12 (6.4)	60 (22.6)
計	188 (100.0)	266 (100.0)	188 (100.0)	266 (100.0)	188 (100.0)	266 (100.0)	188 (100.0)	266 (100.0)
平均(人)※3	1.88	1.59	3.84	-	3.13	2.53	2.86	2.82

【訪問薬局】

上段(施設数) 下段(%)

	薬剤師 (常勤)		薬剤師 (非常勤)	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
0人	1 (0.1)	0 (0.0)	184 (18.1)	234 (23.2)
1人	464 (45.6)	501 (49.7)	147 (14.4)	157 (15.6)
2人	254 (25.0)	256 (25.4)	120 (11.8)	135 (13.4)
3~5人	239 (23.5)	193 (19.1)	238 (23.4)	219 (21.7)
6人以上	55 (5.4)	58 (5.8)	324 (31.8)	263 (26.1)
無回答	5 (0.5)	0 (0.0)	5 (0.5)	0 (0.0)
計	1,018 (100.0)	1,008 (100.0)	1,018 (100.0)	1,008 (100.0)
平均(人)※3	2.21	2.13	6.13	-

【訪問看護】

上段(施設数) 下段(%)

	看護師(※1) (常勤)		看護師(※1) (非常勤)	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
1人	19 (5.8)	13 (5.9)	122 (37.1)	54 (24.3)
2人	58 (17.6)	47 (21.2)	61 (18.5)	35 (15.8)
3~4人	136 (41.3)	95 (42.8)	66 (20.1)	56 (25.2)
5~6人	49 (14.9)	30 (13.5)	30 (9.1)	28 (12.6)
7人以上	66 (20.1)	33 (14.9)	40 (12.2)	27 (12.2)
無回答	1 (0.3)	4 (1.8)	10 (3.0)	22 (9.9)
計	329 (100.0)	222 (100.0)	329 (100.0)	222 (100.0)
平均(人)(※3)	4.77	4.23	5.09	4.38

	OT・PT・ST(※2) (常勤)		OT・PT・ST(※2) (非常勤)	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
0人	160 (48.6)	112 (50.5)	169 (51.4)	101 (45.5)
1人	30 (9.1)	18 (8.1)	33 (10.0)	26 (11.7)
2人	31 (9.4)	14 (6.3)	45 (13.7)	11 (5.0)
3人	16 (4.9)	15 (6.8)	28 (8.5)	11 (5.0)
4人以上	47 (14.3)	19 (8.6)	5 (1.5)	30 (13.5)
無回答	45 (13.7)	44 (19.8)	49 (14.9)	43 (19.4)
計	329 (100.0)	222 (100.0)	329 (100.0)	222 (100.0)
平均(人)(※3)	3.81	3.17	3.30	4.15

※1 看護師：保健師・助産師・准看護師含む

※2 OT：作業療法士 PT：理学療法士 ST：言語聴覚士

※3 平均：「0人」「無回答」を除く施設における平均人数を算出

(8) 加算の届出状況 (複数回答)

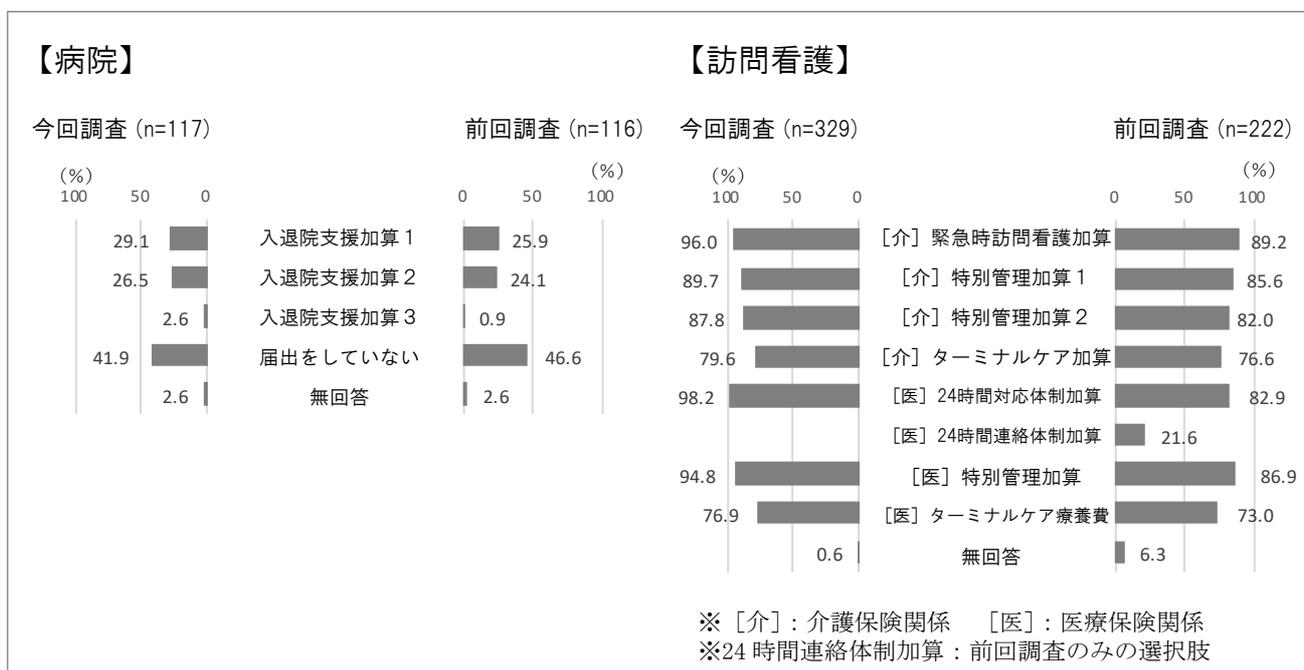
病院

- ・「入退院支援加算 1」は 34 施設 (29.1%) と前回調査の 25.9%より増加、「入退院支援加算 2」は 31 施設 (26.5%) と前回調査の 24.1%より増加している。
- ・一方、「届出していない」は 49 施設 (41.9%) と前回調査の 46.6%より減少している。

訪問看護

- ・「24 時間対応体制加算」323 施設 (98.2%)、「緊急時訪問看護加算」316 施設 (96.0%)、「特別管理加算」312 施設 (94.8%) と、多くの施設が届出をしており、いずれも前回調査より増加している。

図表 8 加算の届出状況



加算の届出について

入退院支援加算

- ・入院前から退院まで途切れない支援を目的に行われ、適切な支援がなされた場合に退院時に評価される。

緊急時訪問看護加算

- ・利用者の求めにより常時対応できる体制にあり、計画外の緊急訪問を必要に応じて行う場合に算定できる。

特別管理加算

- ・訪問看護に関して特別な管理を必要とする利用者に対し、計画的な管理を行った場合に算定できる。

ターミナルケア加算

- ・在宅で死亡した利用者に対して、24 時間連絡できる体制を確保し、必要に応じて訪問看護を行える体制の確保等の要件を満たした場合に算定できる。

24 時間対応体制加算

- ・利用者またはその家族等から電話等により看護に関する意見を求められた場合に、常時対応できる体制にあり、緊急時訪問看護を必要に応じて対応できる体制を整えている場合に算定できる。

ターミナルケア療養費

- ・死亡日および死亡日前 14 日以内の計 15 日間に 2 回以上訪問看護基本療養費を算定した場合に算定できる。

(9) 在支診等の届出理由（複数回答）

在支診

- ・「患者に訪問診療を要する者がいた」が 67.6%と最も多く、次いで、「患者から訪問診療を望まれた」53.5%、「今後、在宅医療の一層の強化が必要となると考えた」43.7%の順となっており、いずれも前回調査より増加している。

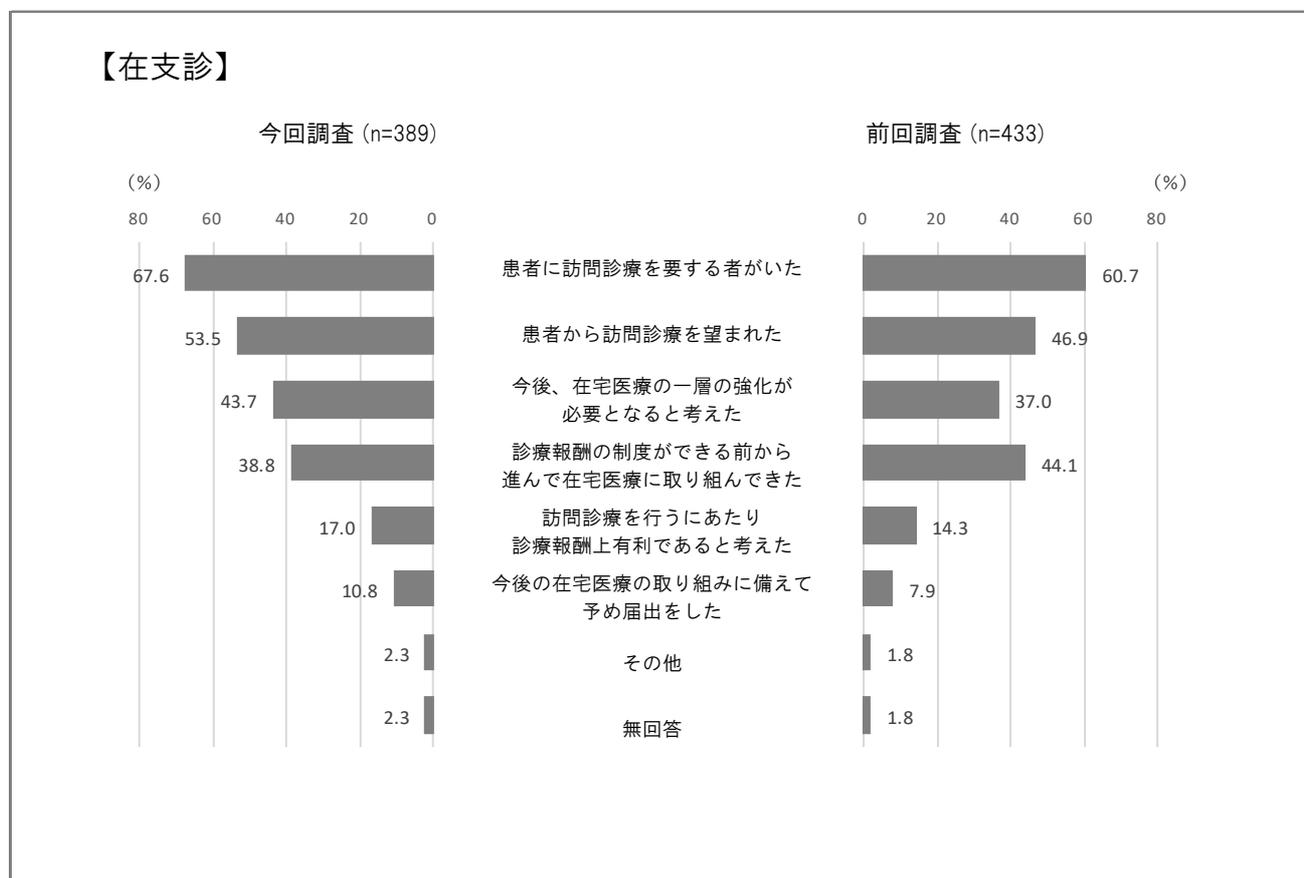
在支歯診

- ・「患者から訪問歯科診療を望まれた」が 68.1%と最も多く、次いで、「患者に訪問歯科診療を要する者がいた」67.6%、「今後、在宅歯科医療の一層の強化が必要となると考えた」53.2%の順となっている。
- ・「訪問歯科診療を行うにあたり診療報酬上有利であると考えた」が 25.5%と前回調査の 12.8%より増加している。

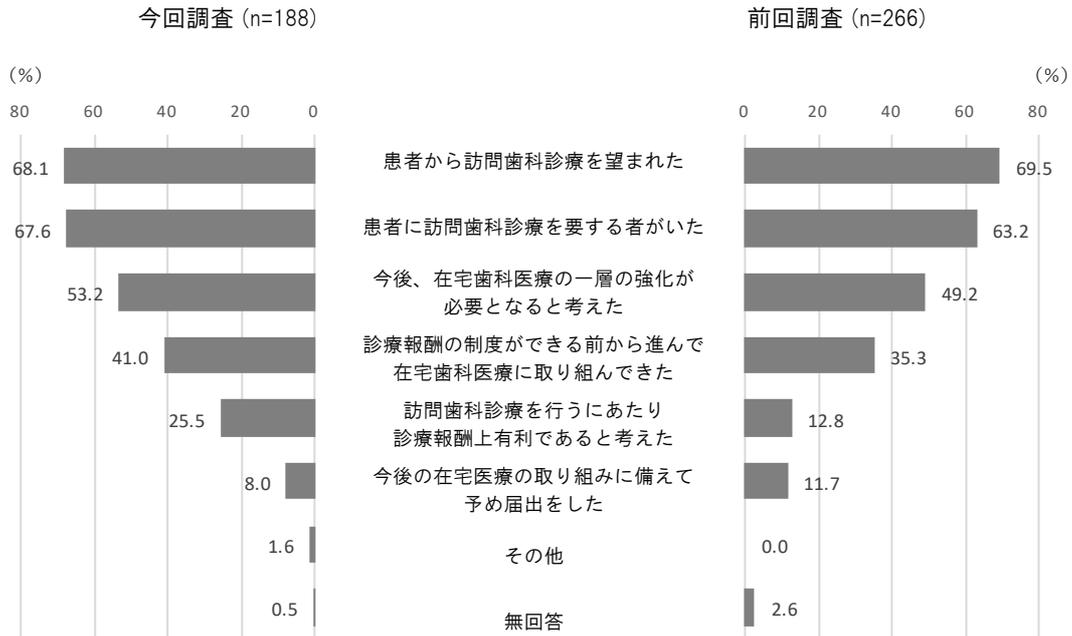
訪問薬局

- ・「今後、在宅医療の一層の強化が必要となると考えた」が 51.9%と最も多く、次いで、「処方医から訪問による薬剤管理及び指導の依頼があった」45.0%、「患者に訪問薬剤管理及び指導を要する者がいた」41.8%の順となっている。
- ・「患者に訪問薬剤管理及び指導を要する者がいた」が前回調査の 28.1%より増加、「患者から訪問を望まれた」が 33.3%と前回調査の 22.2%より増加している。

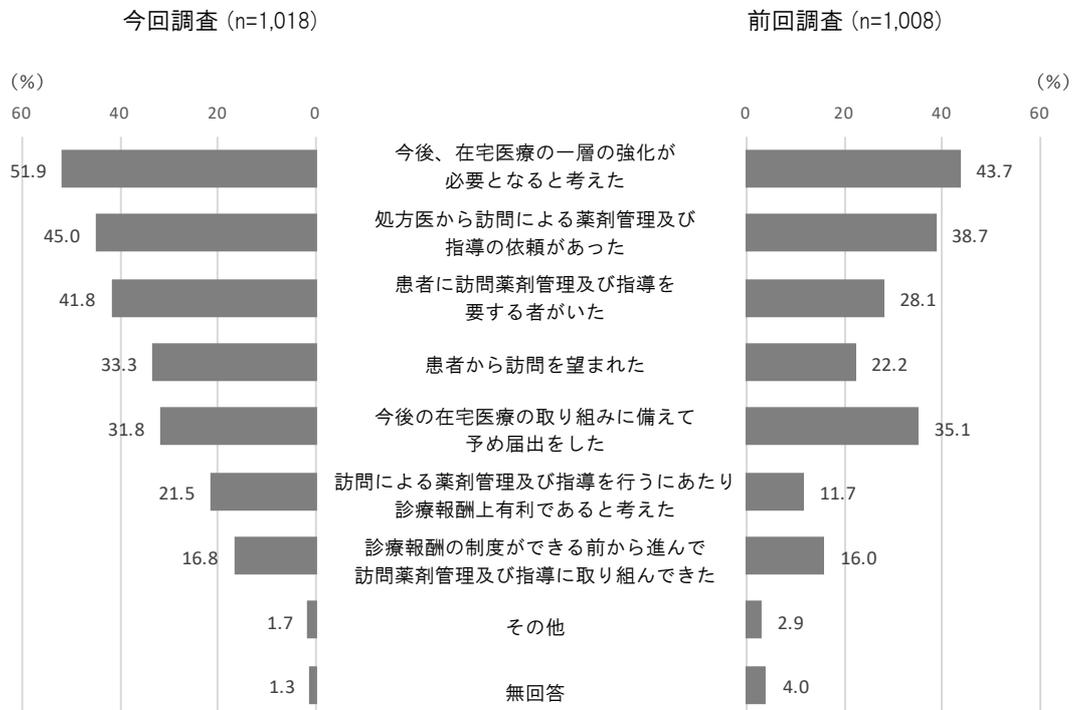
図表9 在支診等の届出理由



【在宅歯診】



【訪問薬局】



※今回調査の降順

3. 在宅医療の実績等

(1) 診療等の実績（令和3年10月の1ヶ月間）

病院

- ・「①訪問診療及び往診を実施した実人数」は32.5%の施設で1人以上実施している。実施施設での平均人数は66.3人となっており、分布では「11～20人」7.7%、「6～10人」6.8%、「51～100人」4.3%の順となっている。
- ・「②訪問看護を実施した実人数」は15.4%の施設で1人以上実施している。実施施設での平均人数は25.9人であり、前回調査の58.1人より減少している。
- ・「③医師による居宅療養管理指導を算定した人数」は18.8%と横ばいであるが、実施施設での平均は123.4人と前回調査の68.0人より増加している。
- ・「④医師による在宅での看取りを実施した人数」は7.7%の施設で実施、平均人数2.0人となっており、いずれも横ばいである。

在支診

- ・「①訪問診療及び往診を実施した実人数」は87.9%の施設で1人以上実施しており、実施施設での平均人数は57.7人である。分布では「1～5人」22.9%、「11～20人」13.4%、「6～10人」12.6%の順となっているが、一方、101人以上が13.1%となっており、分散している。
- ・「②医師による居宅療養管理指導を算定した人数」は58.9%の施設で算定しており、算定施設での平均人数は59.3人と前回調査の48.4人より増加している。算定施設での分布では、「1～5人」14.7%、「11～20人」9.3%の順となっているが、「51～100人」7.2%、「101～200人」6.2%、「201人以上」3.6%と、51人以上が17.0%を占めている。
- ・「③医師による在宅での看取りを実施した人数」は58.6%の施設で実施しており、1年間で平均10.6人となっている。実施施設では、「1～5人」が36.5%と最も多く、次いで、「6～10人」7.7%、「11～20人」6.9%となっている。

在支歯診

- ・「①訪問歯科診療及び往診を実施した実人数」は91.0%の施設で1人以上実施しており、前回調査の78.9%より増加している。実施施設での平均人数は107.6人と前回調査の96.8人より増加している。分布では「1～5人」24.5%と最も多く、次いで、「11～20人」14.4%となっているが、一方、「51～100人」11.7%、「101～200人」11.2%、「201人以上」10.6%と51人以上で全体の33.5%を占めている。
- ・「②歯科医師による居宅療養管理指導を算定した人数」は79.3%の施設で算定しており、前回調査の64.3%より増加している。算定施設での平均人数は47.8人、分布では「1～5人」26.6%、「11～20人」12.8%、「51～100人」12.2%の順となっている。
- ・「③歯科衛生士による居宅療養管理指導を算定した人数」は72.9%の施設で算定しており、前回調査の60.2%より増加している。算定施設での分布では、「1～5人」21.3%、「51～100人」12.2%の順となっている。

訪問薬局

- ・「①訪問薬剤管理指導を実施した実人数」は49.0%の施設で実施しており、前回調査の38.2%より増加している。実施施設での分布では、「1～2人」が26.2%と最も多くなっている。
 - ・「②薬剤師による居宅療養管理指導を算定した人数」は69.2%の施設で算定しており、前回調査の56.6%より増加している。
-

訪問看護

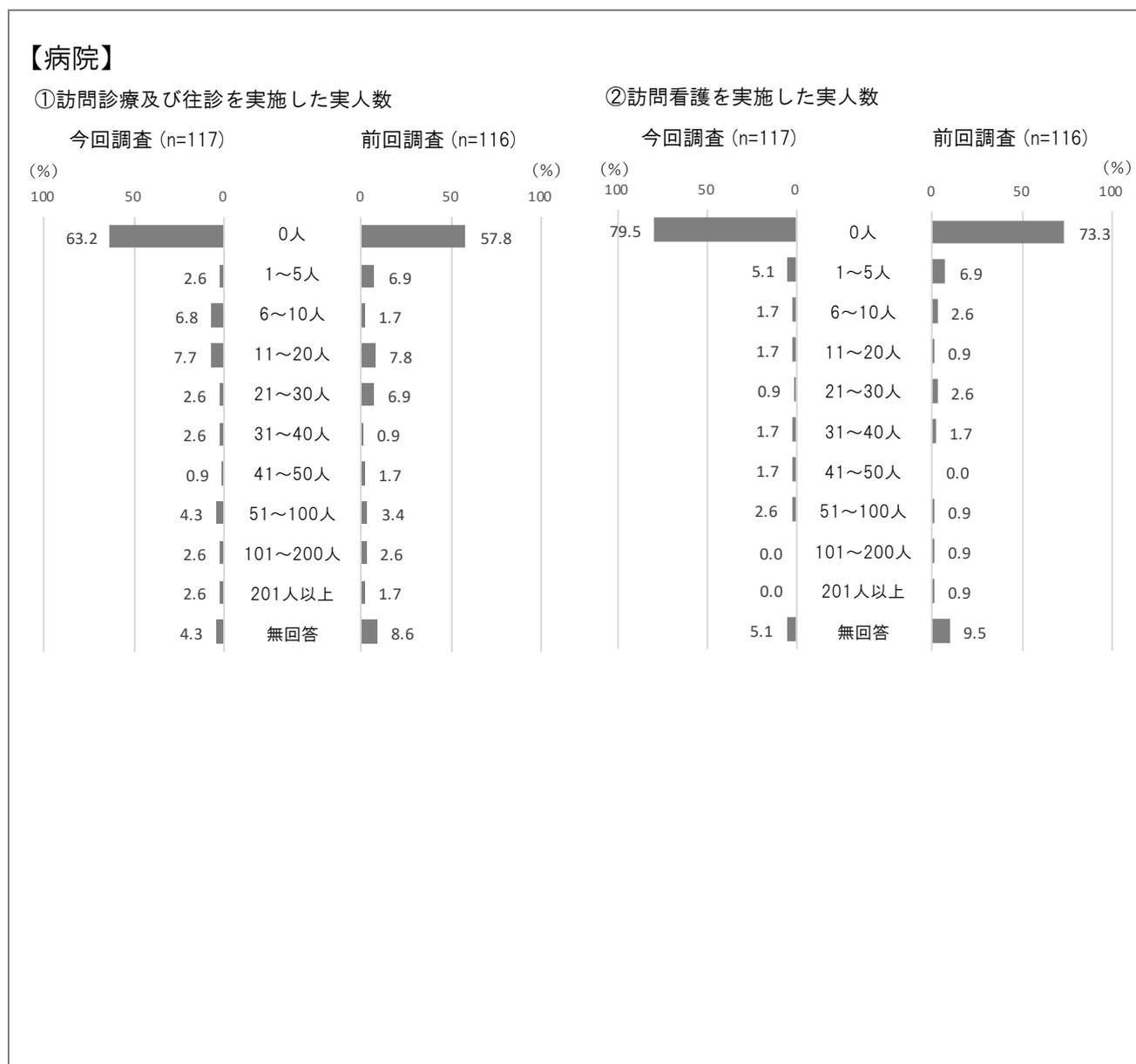
- ・「①利用実人員数」は、98.8%の施設で実施、平均 80.2 人となっており、いずれも横ばいである。実施施設での分布では、「51～100 人」が 32.8%と最も多くなっている。
- ・「②訪問回数の合計」は、97.9%の施設で実施しているが、実施施設での平均回数は 667.4 回と前回の 1,141.2 回より大幅に減少している。
- ・「③訪問看護の新規利用（受け入れ）者数」は 86.0%の施設で実施しており、平均 4.4 人となっている。
- ・「④死亡した利用者数」は、1 人以上の割合が 55.0%、その平均人数は 2.4 人となっている。
- ・「⑤④のうち、在宅で死亡した利用者数」は、1 人以上の割合が 40.7%、その平均人数は 1.9 人となっている。

※実績の記入対象の期間について

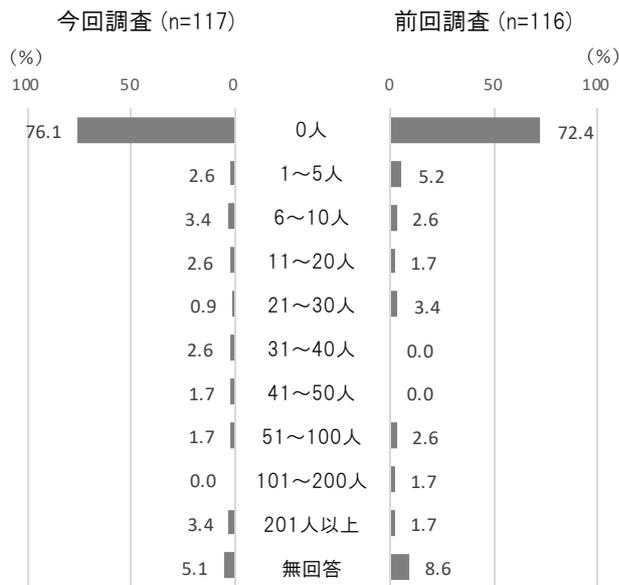
今回調査は「令和 3 年 10 月の 1 か月間」、前回調査は「平成 30 年 1 月の 1 か月間」の実績

在支診の「③ 医師による在宅での看取りを実施した人数」は、「令和 2 年 11 月～令和 3 年 10 月の 1 年間」の実績

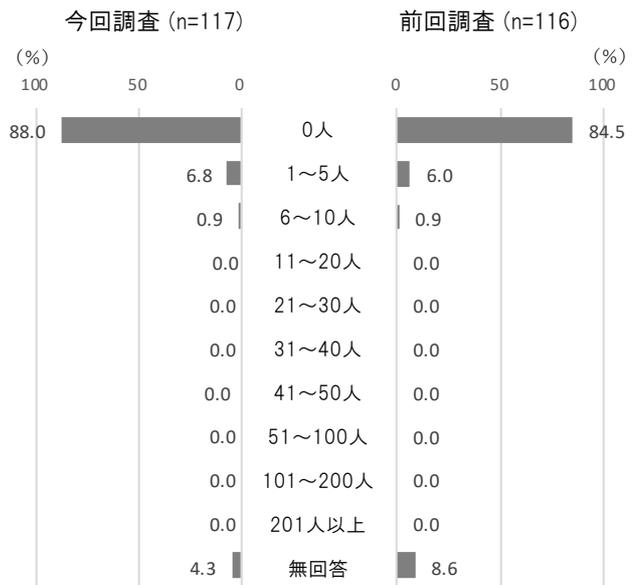
図表 10 診療等の実績



③医師による居宅療養管理指導を算定した人数

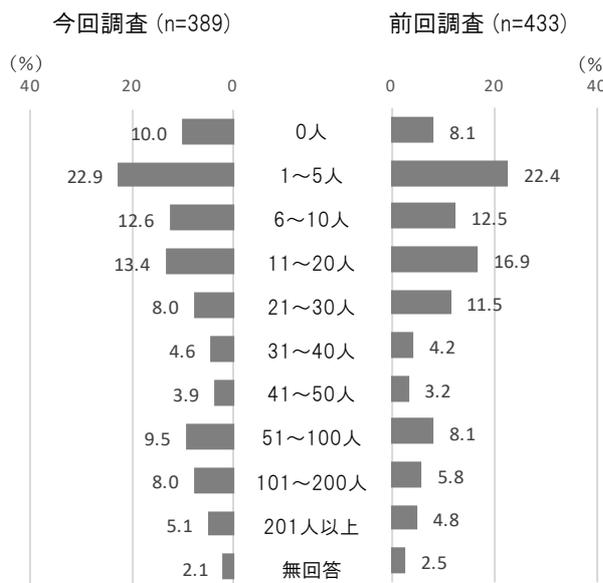


④医師による在宅での看取りを実施した人数

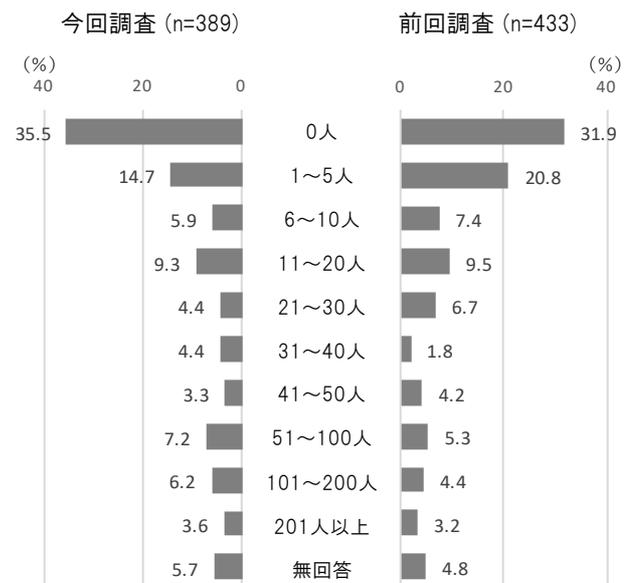


【在支診】

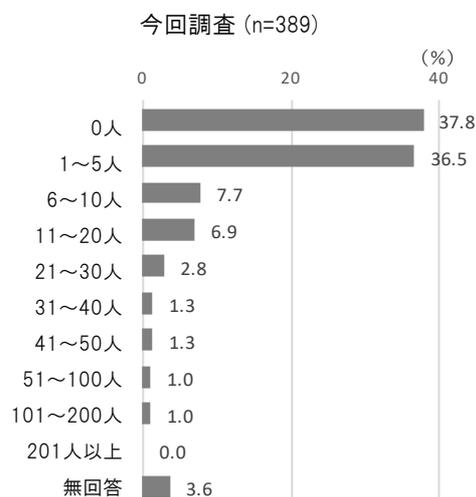
①訪問診療及び往診を実施した実人数



②医師による居宅療養管理指導を算定した人数

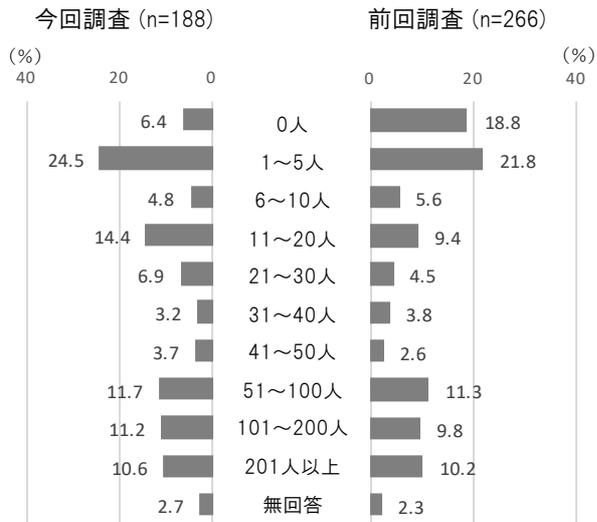


③医師による在宅での看取りを実施した人数

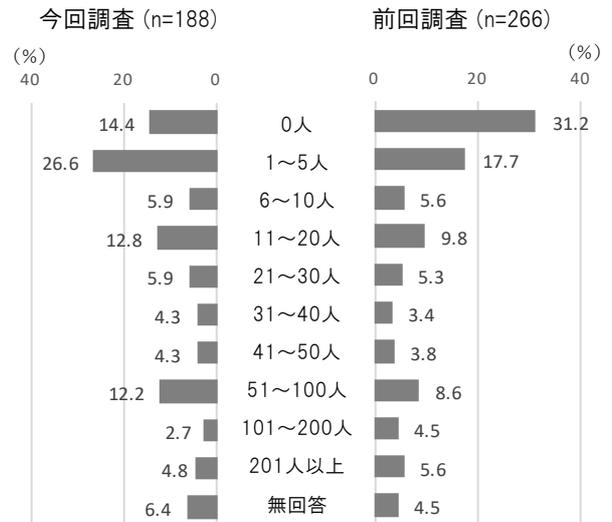


【在支歯診】

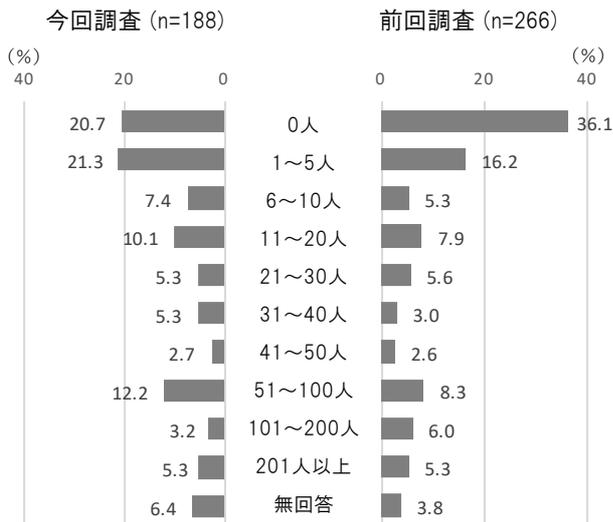
①訪問歯科診療及び往診を実施した実人数



②歯科医師による居宅療養管理指導を算定した人数

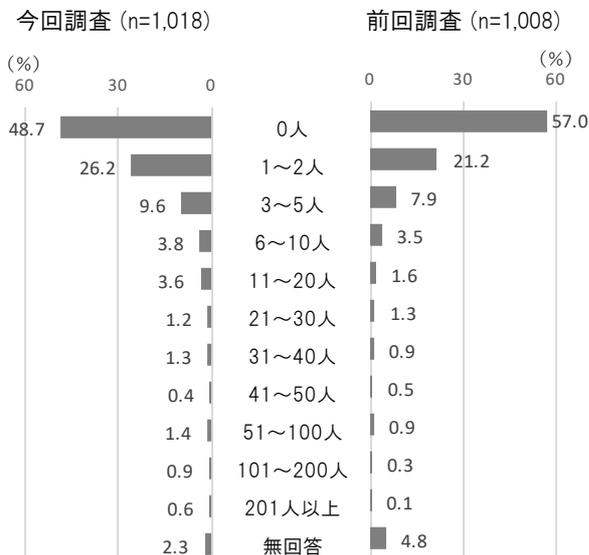


③歯科衛生士による居宅療養管理指導を算定した人数

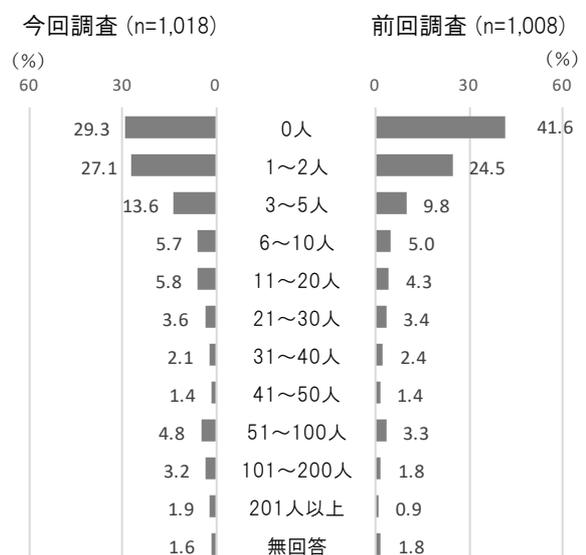


【訪問薬局】

①訪問薬剤管理指導を実施した実人数

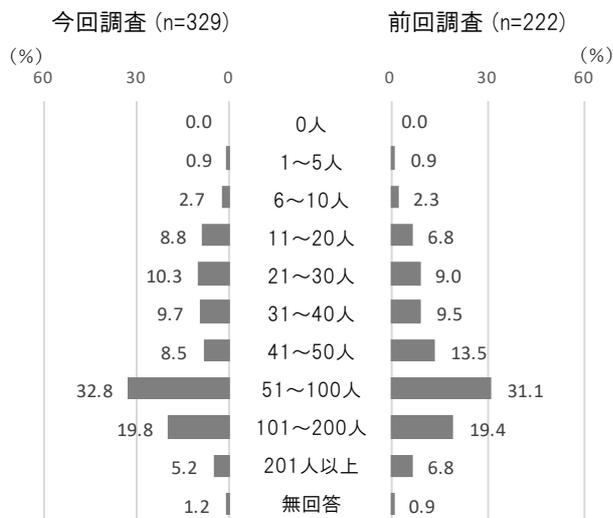


②薬剤師による居宅療養管理指導を算定した人数

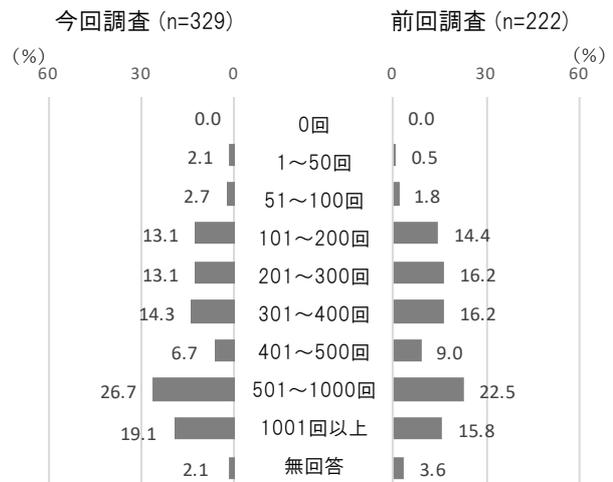


【訪問看護】

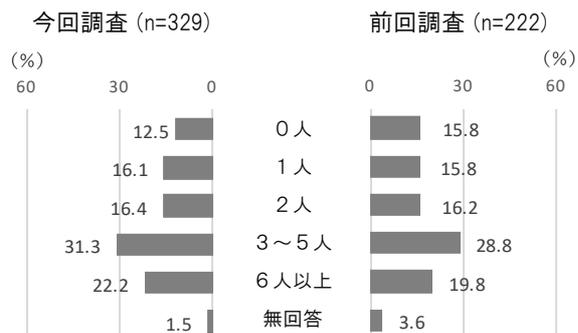
①利用実人員数



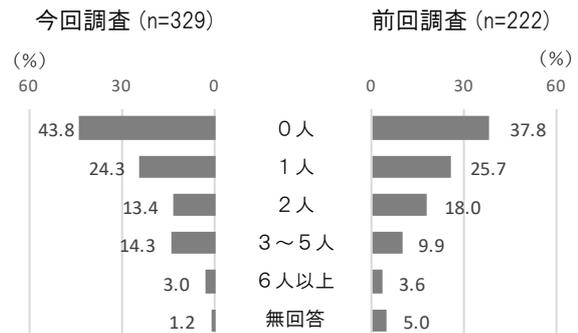
②訪問回数の合計



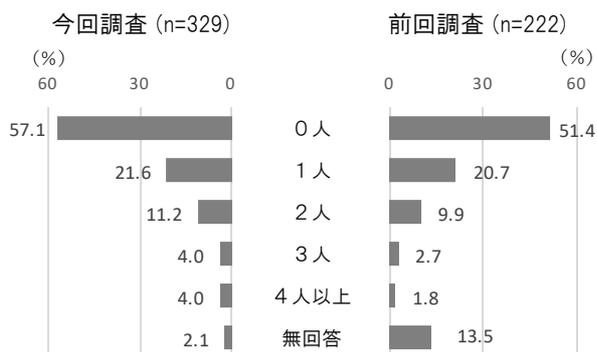
③訪問看護の新規利用（受け入れ）者数



④死亡した利用者数



⑤④のうち、在宅で死亡した利用者数

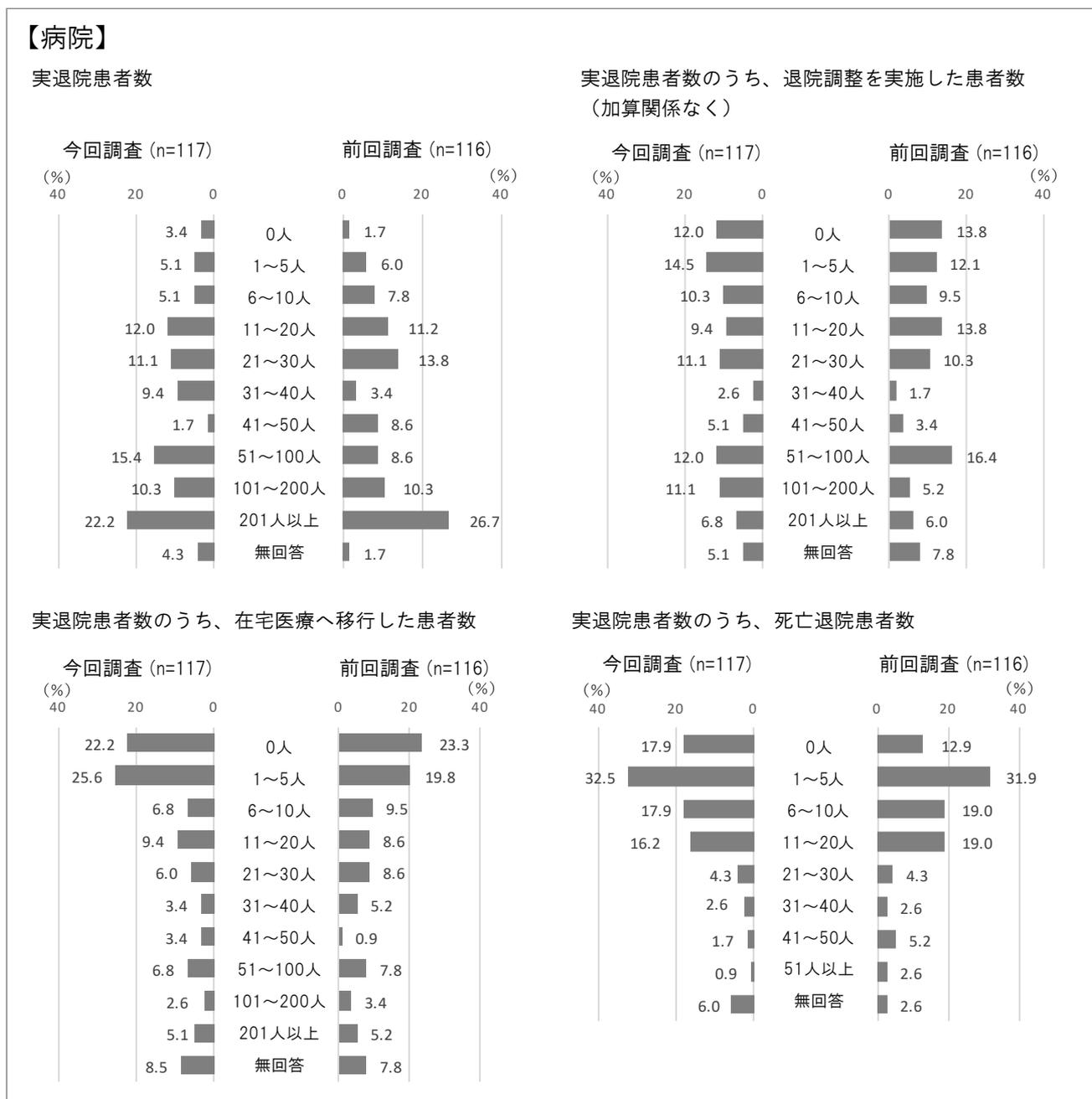


(2) 退院患者の実績 (令和3年10月の1ヶ月間)

病院

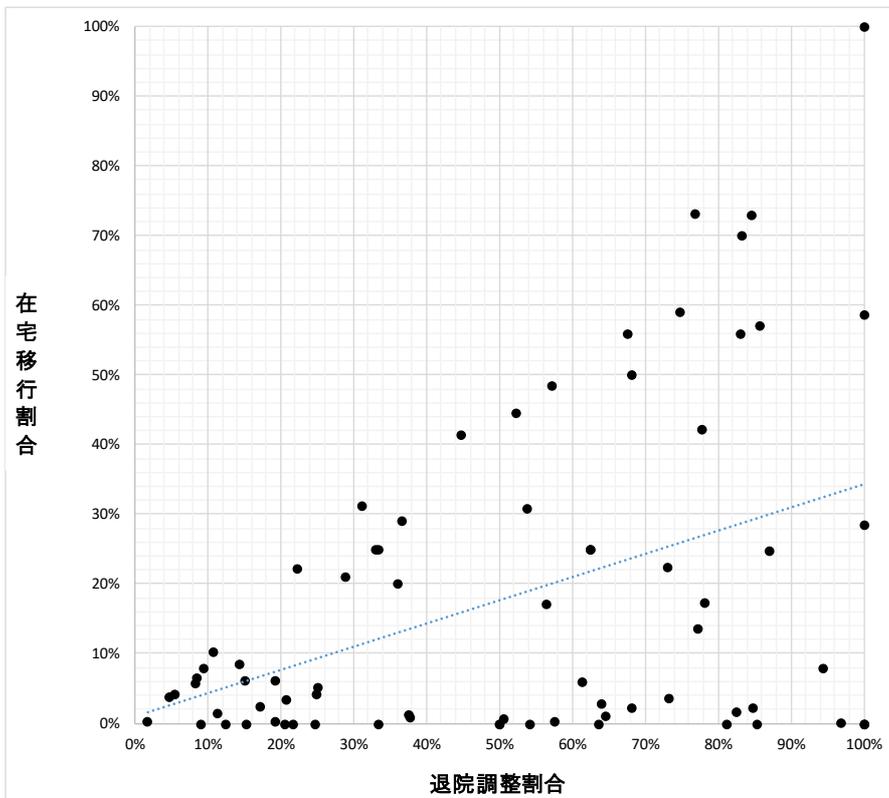
- ・「実退院患者数」は、22.2%の病院が201人以上となっている。
- ・「実退院患者のうち、退院調整を実施した患者数」は、平均69.2人となっており、分布では、「1～5人」が14.5%で最も多く、次いで「51～100人」が12.0%、「21～30人」、「101～200人」が11.1%となっている。
- ・「実退院患者のうち、在宅医療へ移行した患者数」は、「1～5人」が25.6%で最も多く、次いで、「0人」が22.2%となっている。
- ・「実退院患者のうち、死亡退院患者数」は、「1～5人」が32.5%と最も多く、次いで、「0人」、「6～10人」が17.9%となっている。
- ・なお、退院患者に占める退院調整を行った患者数の割合(退院調整割合)と退院患者のうち在宅医療へ移行した患者数(在宅移行割合)との間には、相関がある(相関係数0.43)。

図表11 退院患者の実績



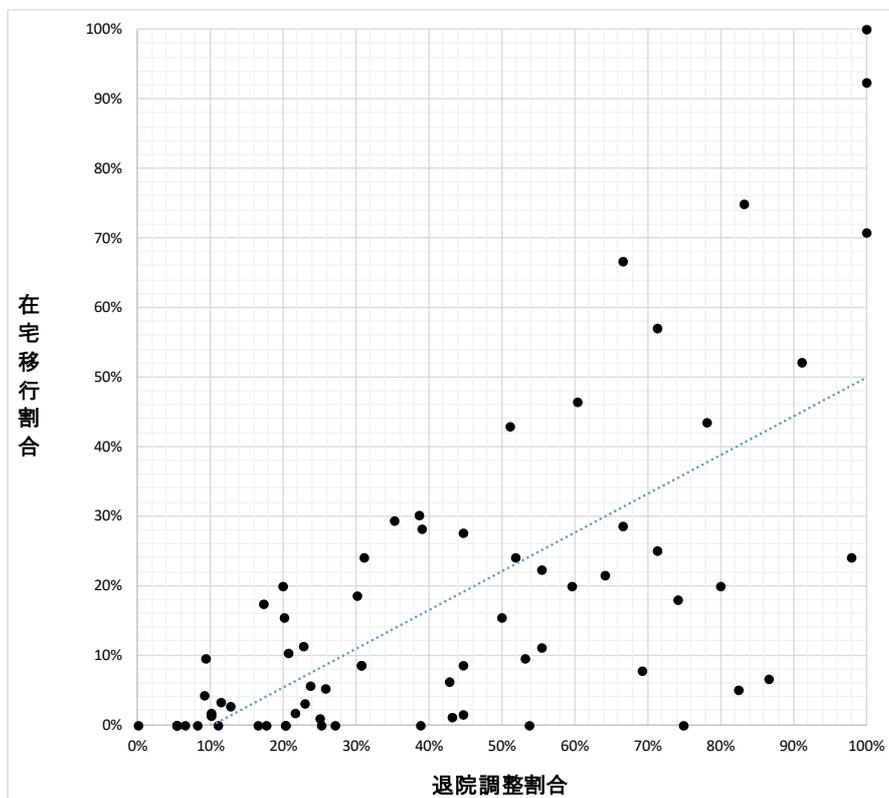
図表 12 病院における退院患者の実績

<今回調査> 令和3年10月の1ヶ月間



相関係数=0.43

<前回調査> 平成30年1月の1ヶ月間



相関係数=0.69

※退院調整割合0%、及び“退院調整割合<退院移行割合”の回答を除いて集計

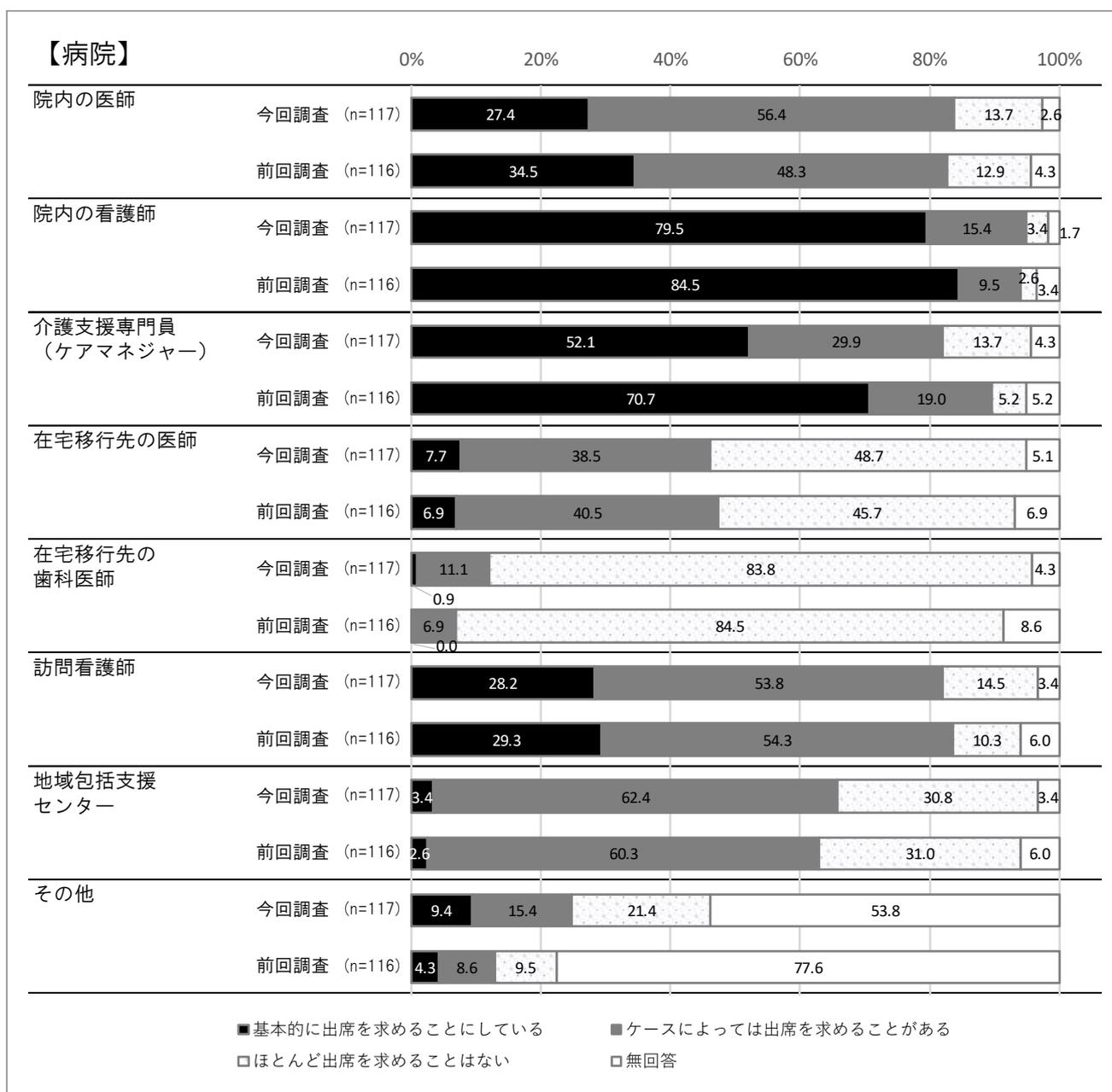
4. カンファレンスの状況

(1) 入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針

病院

- ・「基本的に出席を求めることにしている」割合は、「院内の看護師」79.5%と最も多くなっている。
- ・「院内の医師」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」「訪問看護師」は、8割以上が「基本的に出席を求めることにしている」もしくは「ケースによっては出席を求めることがある」となっている。
- ・「地域包括支援センター」は62.4%が、「在宅移行先の医師」は38.5%が、「ケースによっては出席を求めることがある」となっている。
- ・一方、「在宅移行先の歯科医師」は「ほとんど出席を求めることはない」の割合が83.8%となっている。

図表 13 入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針

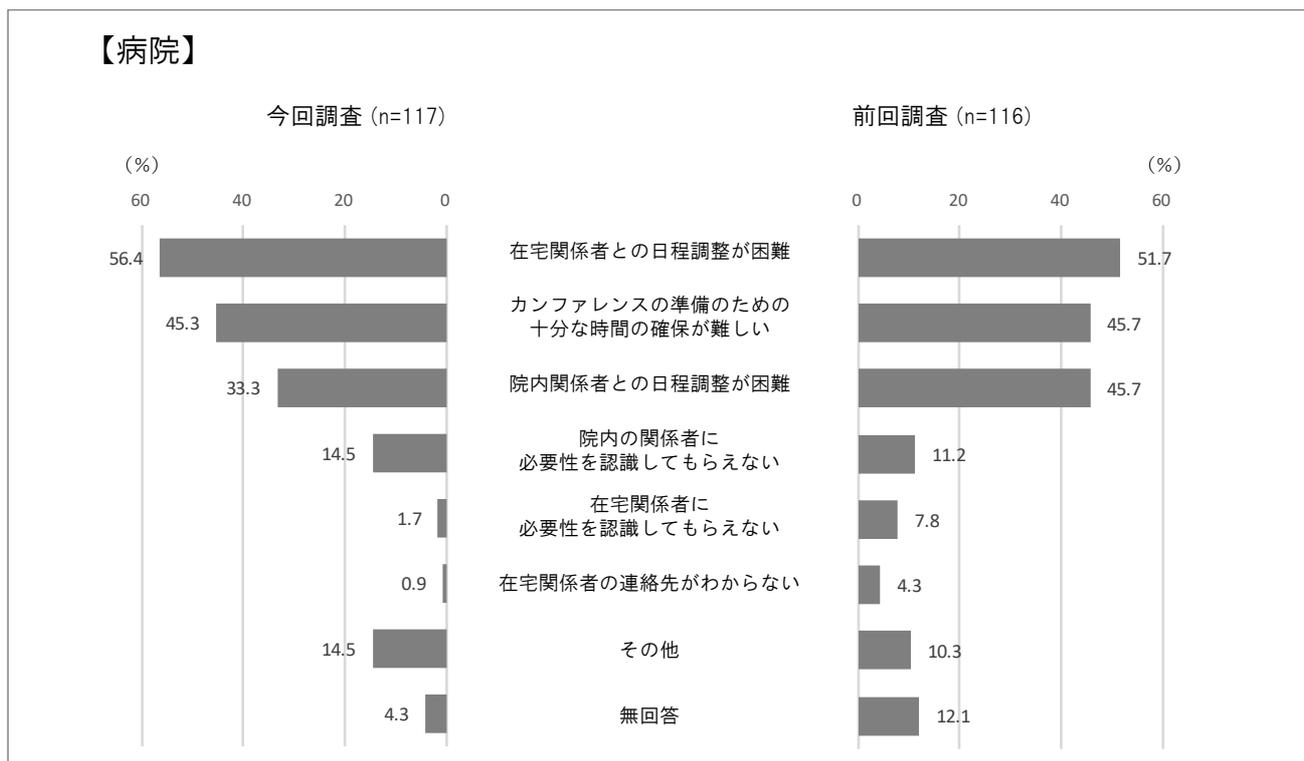


(2) 入退院カンファレンスの課題（複数回答）

病院

- ・「在宅関係者との日程調整が困難」が56.4%と最も多く、次いで、「カンファレンスの準備のための十分な時間の確保が難しい」45.3%、「院内関係者との日程調整が困難」33.3%の順となっている。
- ・「在宅関係者との日程調整が困難」は前回調査の51.7%より増加、「院内関係者との日程調整が困難」は前回調査の45.7%より減少している。
- ・「在宅関係者に必要性を認識してもらえない」は1.7%と前回調査の7.8%より減少している。

図表 14 入退院カンファレンスの課題



※今回調査の降順

(3) 病院からの入退院カンファレンスへの出席対応

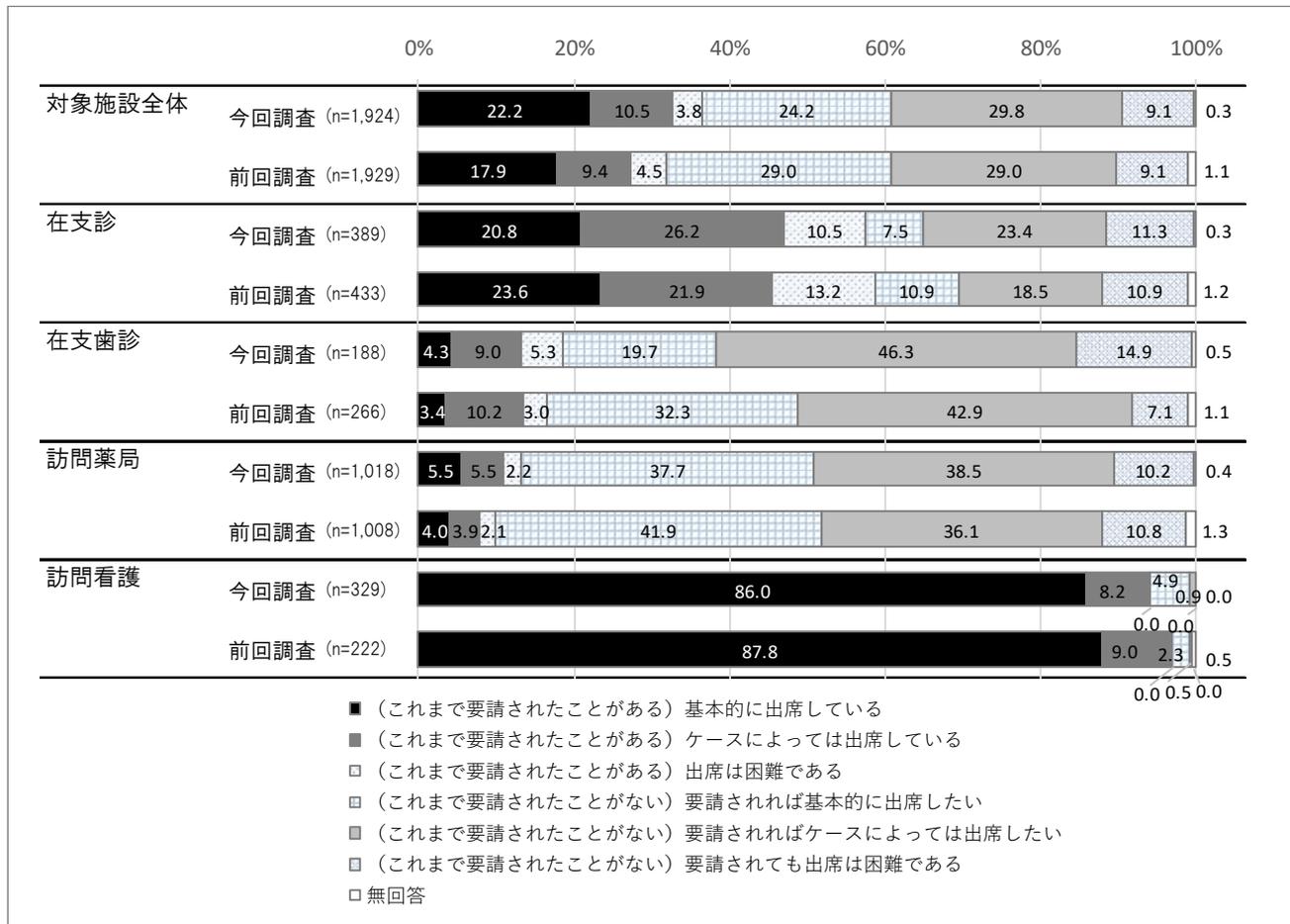
対象施設全体

- ・対象施設全体では、病院から入退院カンファレンスに要請されたことがある施設は36.5%、要請されたことがないのは63.1%である。
- ・要請されたことがあり、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は32.7%、要請されたことがないが、「要請されれば基本的に出席したい」「要請されればケースによっては出席したい」の合計は54.0%となっている。
- ・出席の要請の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は86.7%となっている。

施設類型別

- ・在支診では、要請されたことがある施設は57.5%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は47.0%となっている。
- ・訪問看護では、要請されたことがある施設は94.2%、「基本的に出席している」が86.0%となっている。
- ・在支歯診では18.6%、訪問薬局では13.2%が要請されたことがあり、いずれも前回調査より増加している。
- ・一方、要請されたことはないが、「要請されれば基本的に出席したい」「要請されればケースによっては出席したい」の割合の合計は、在支歯診66.0%、訪問薬局76.2%となっている。
- ・出席の要請の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は在支診77.9%、在支歯診79.3%、訪問薬局87.2%、訪問看護100%となっている。

図表 15 病院からの入退院カンファレンスへの出席対応



(4) サービス担当者会議への出席対応

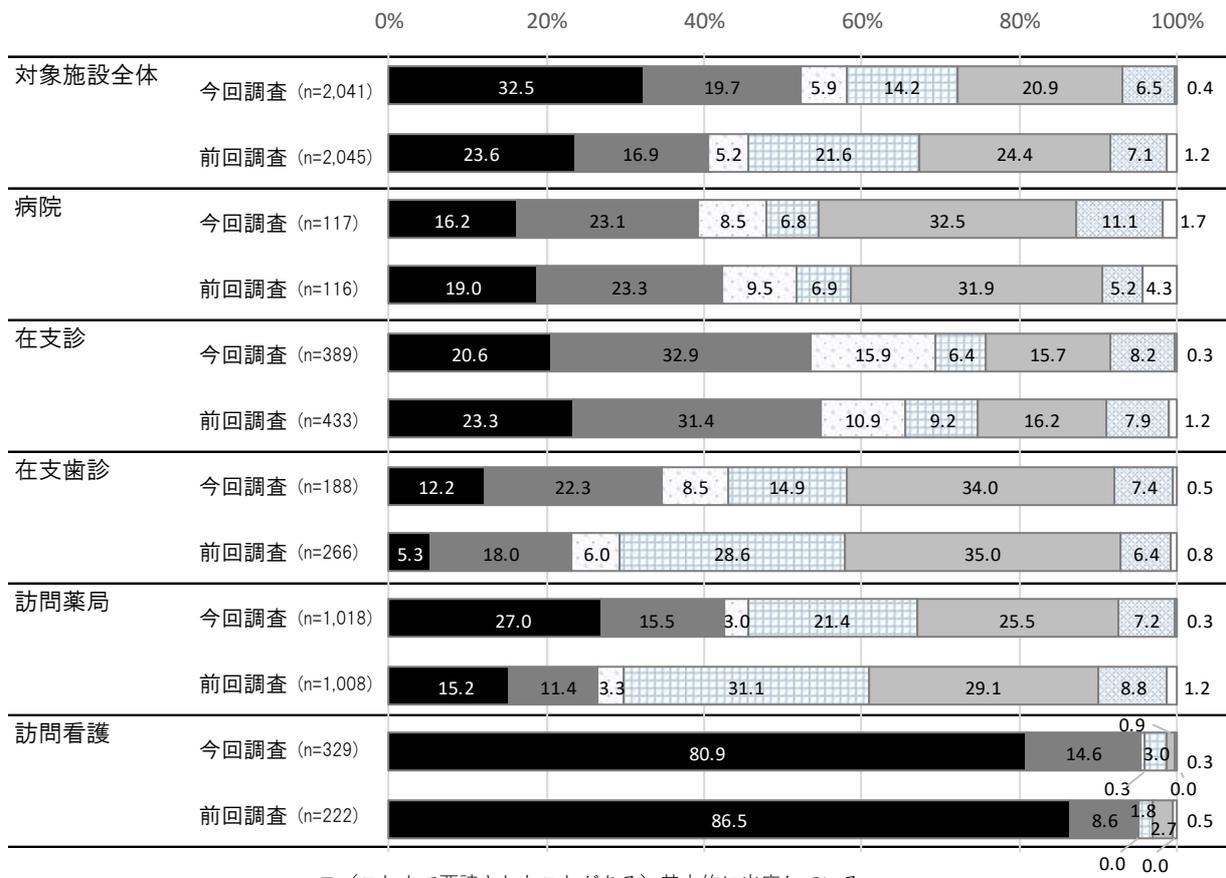
対象施設全体

- ・対象施設全体では、サービス担当者会議に要請されたことがある施設は 58.1%、要請されたことがないのは 41.6%である。
- ・要請されたことがあり、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 52.2%、要請されたことがないが、「要請されれば基本的に出席したい」「要請されればケースによっては出席したい」の合計は 35.1%となっている。
- ・出席の要請の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は 87.3%となっている。

施設類型別

- ・病院では、要請されたことがある施設は 47.8%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 39.3%となっている。
- ・在支診では、要請されたことがある施設は 69.4%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 53.5%となっている。
- ・訪問看護では、要請されたことがある施設は 95.8%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 95.5%となっている。
- ・在支歯診では 43.0%、訪問薬局では 45.5%が要請されたことがあり、いずれも前回調査より増加している。
- ・一方、要請されたことはないが、「要請されれば基本的に出席したい」「要請されればケースによっては出席したい」の合計は 48.9%、46.9%となっている。
- ・出席の要請の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は病院 78.6%、在支診 75.6%、在支歯診 83.4%、訪問薬局 89.4%、訪問看護 99.4%となっている。

図表 16 サービス担当者会議への出席対応



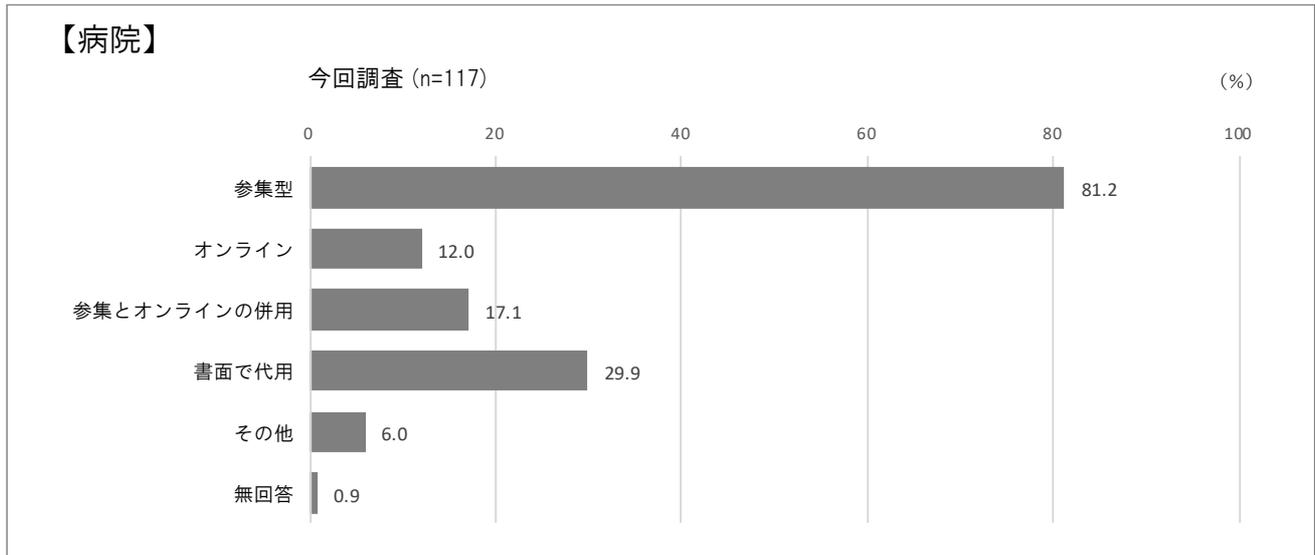
- (これまで要請されたことがある) 基本的に出席している
- (これまで要請されたことがある) ケースによっては出席している
- (これまで要請されたことがある) 出席は困難である
- (これまで要請されたことがない) 要請されれば基本的に出席したい
- (これまで要請されたことがない) 要請されればケースによっては出席したい
- (これまで要請されたことがない) 要請されても出席は困難である
- 無回答

(5) 入退院カンファレンスの実施方法

病院

- ・「参集型」が81.2%と最も多く、次いで、「書面で代用」29.9%、「参集とオンラインの併用」17.1%、「オンライン」12.0%の順となっている。
- ・従前は参集型のみでの実施であったが、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン等のツールを活用し、実施されている。

図表 17 入退院カンファレンスの実施方法



(6) 入退院カンファレンスへの出席方法

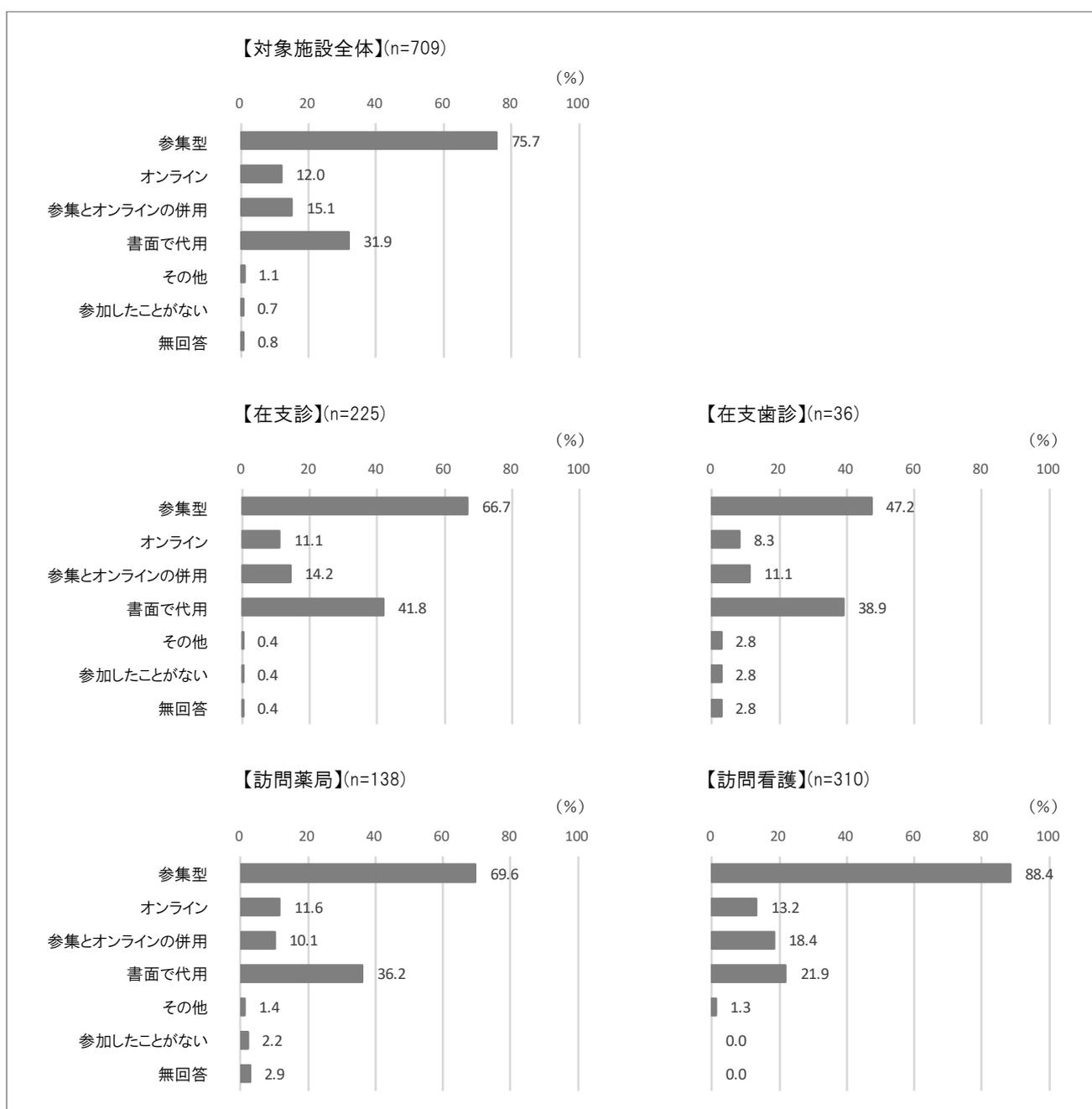
対象施設全体

- ・「参集型」が75.7%と最も多く、次いで、「書面で代用」31.9%、「参集とオンラインの併用」15.1%、「オンライン」12.0%の順となっている。

施設類型別

- ・いずれの施設においても「参集型」が最も多く、在支診66.7%、在支歯診47.2%、訪問薬局69.6%、訪問看護88.4%となっている。
- ・一方、「書面で代用」は、在支診41.8%、在支歯診38.9%、訪問薬局36.2%であるのに対し、訪問看護では21.9%と低くなっている。

図表 18 入退院カンファレンスへの出席方法



(7) サービス担当者会議への出席方法

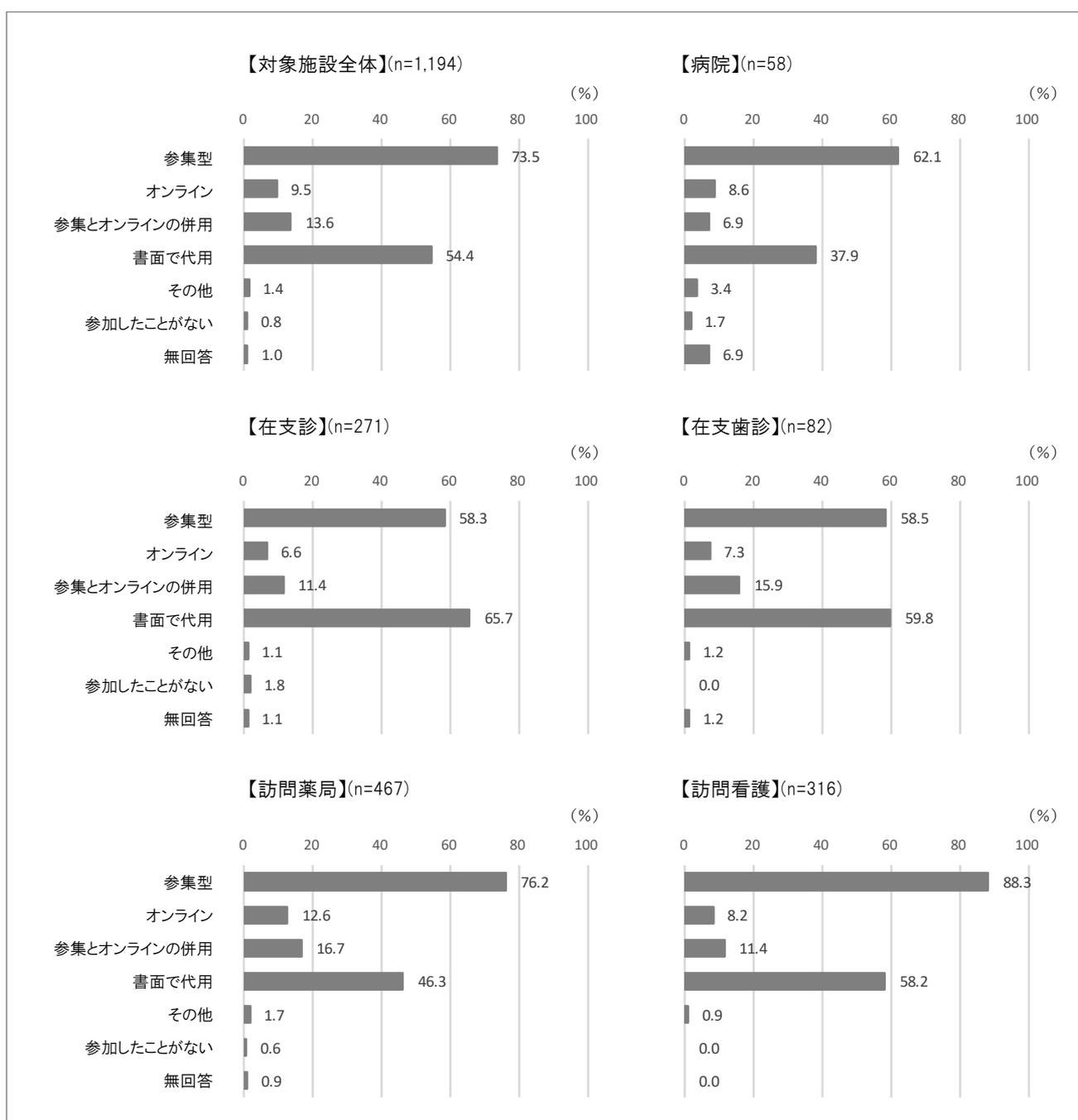
対象施設全体

- ・「参集型」が73.5%と最も多く、次いで、「書面で代用」54.4%、「参集とオンラインの併用」13.6%、「オンライン」9.5%の順となっている。

施設類型別

- ・病院 62.1%、訪問薬局 76.2%、訪問看護 88.3%と「参集型」が最も多く、次いで、「書面で代用」で、それぞれ37.9%、46.3%、58.2%となっている。
- ・在支診では65.7%、在支歯診では59.8%と「書面で代用」が最も多く、次いで、「参集型」で、それぞれ58.3%、58.5%となっている。

図表 19 サービス担当者会議への出席方法



5. 地域との連携に関する認識

(1) 施設としての全般的な連携度

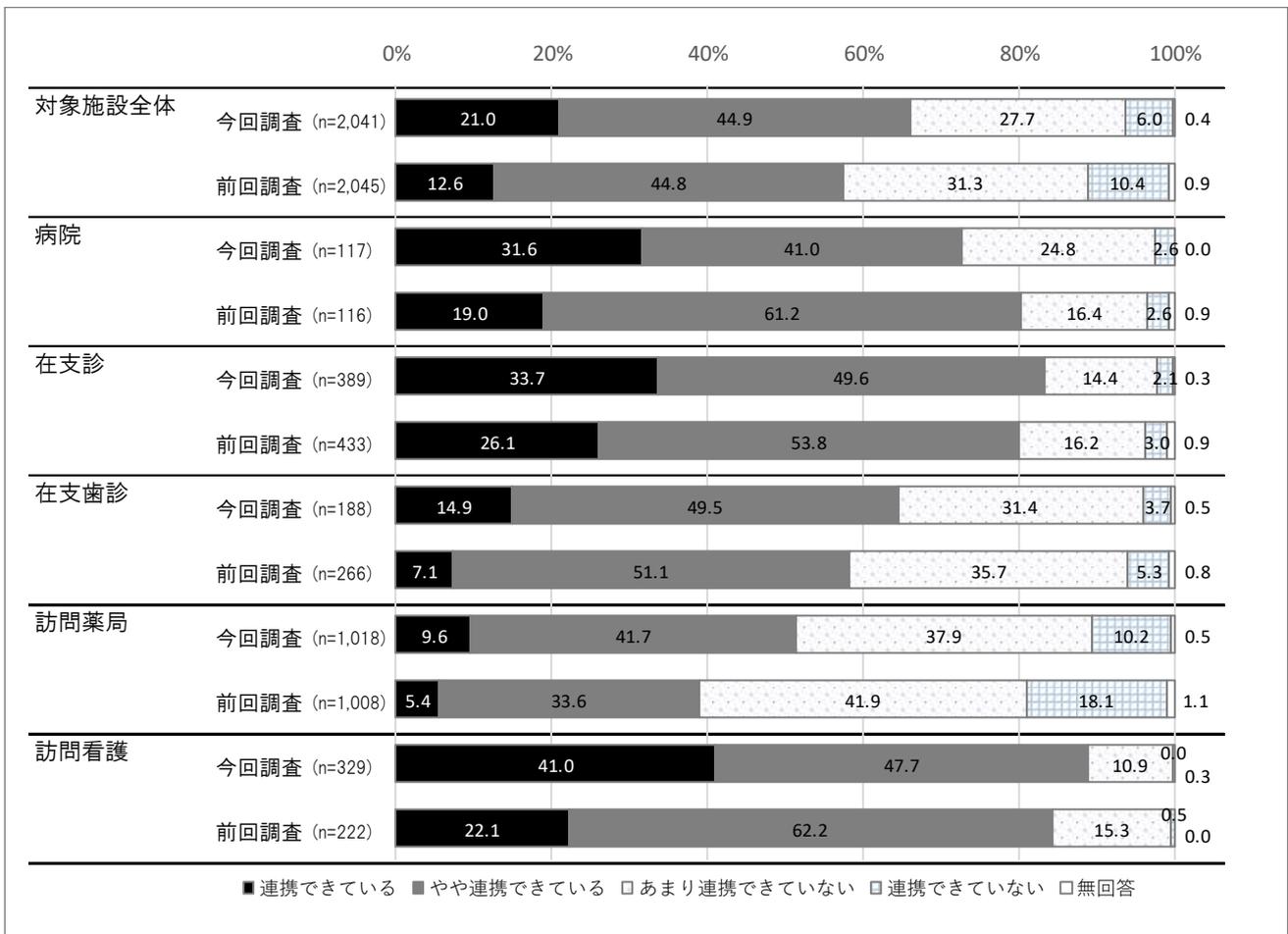
対象施設全体

- ・「やや連携できている」が44.9%と最も多く、「連携できている」21.0%と合わせて、65.9%となっており、前回調査の57.4%より増加している。

施設類型別

- ・「連携できている」「やや連携できている」の割合は、訪問看護88.7%が最も多く、次いで、在支診83.3%、病院72.6%、在支歯診64.4%、訪問薬局51.3%の順となっている。
- ・前回調査と比べ、病院では減少しているが、他の施設では増加している。

図表 20 施設としての全般的な連携度



【参考】施設としての全般的な連携度（対象施設全体・区別）

【対象施設全体】	＜今回調査＞					＜前回調査＞					今回(n)	前回(n)
	0%	50%	100%	0%	50%	100%	0%	50%	100%			
全体(大阪市)	21.0	44.9	27.7	6.0	0.4	12.6	44.8	31.3	10.4	0.9	2,041	2,045
北区	25.0	35.2	33.3	6.5	0.0	10.8	34.2	38.3	15.0	1.7	108	120
都島区	17.3	39.5	34.6	8.6	0.0	5.8	52.2	34.8	7.2	0.0	81	69
福島区	18.8	34.4	40.6	6.3	0.0	7.9	31.7	41.3	17.5	1.6	64	63
此花区	28.3	39.1	26.1	4.3	2.2	15.0	42.5	35.0	7.5	0.0	46	40
中央区	17.1	43.1	26.8	12.2	0.8	10.0	31.8	32.7	25.5	0.0	123	110
西区	22.2	43.1	22.2	11.1	1.4	14.3	31.7	34.9	19.0	0.0	72	63
港区	14.9	53.2	25.5	6.4	0.0	11.5	51.9	26.9	7.7	1.9	47	52
大正区	18.4	46.9	24.5	10.2	0.0	20.9	46.5	30.2	2.3	0.0	49	43
天王寺区	17.9	35.7	41.7	4.8	0.0	13.3	46.7	32.0	8.0	0.0	84	75
浪速区	25.5	43.6	29.1	1.8	0.0	25.9	44.4	20.4	9.3	0.0	55	54
西淀川区	19.2	61.5	15.4	3.8	0.0	12.3	50.8	29.2	7.7	0.0	52	65
淀川区	20.4	46.6	23.3	9.7	0.0	14.3	49.5	22.0	14.3	0.0	103	91
東淀川区	17.7	44.8	31.3	5.2	1.0	10.5	42.1	37.9	8.4	1.1	96	95
東成区	20.2	43.8	31.5	4.5	0.0	11.5	46.9	30.2	9.4	2.1	89	96
生野区	26.0	48.1	20.2	5.8	0.0	12.8	53.2	22.0	10.1	1.8	104	109
旭区	26.0	47.9	21.9	4.1	0.0	23.5	45.6	25.0	5.9	0.0	73	68
城東区	21.9	41.0	27.6	8.6	1.0	16.8	47.1	27.7	6.7	1.7	105	119
鶴見区	19.4	48.4	29.0	3.2	0.0	17.2	44.8	32.8	5.2	0.0	62	58
阿倍野区	23.0	54.0	18.0	4.0	1.0	9.3	46.3	37.0	5.6	1.9	100	108
住之江区	20.5	50.7	26.0	2.7	0.0	13.3	41.1	36.7	8.9	0.0	73	90
住吉区	21.4	42.7	30.8	4.3	0.9	9.2	44.5	34.5	11.8	0.0	117	119
東住吉区	25.0	50.0	24.0	1.0	0.0	11.4	53.3	29.5	4.8	1.0	100	105
平野区	20.6	45.6	28.7	4.4	0.7	10.6	43.9	35.0	8.9	1.6	136	123
西成区	18.6	44.3	30.9	6.2	0.0	8.7	52.9	24.0	13.5	1.0	97	104

■連携できている ■やや連携できている □あまり連携できていない □連携できていない □無回答

(2) 他職種・他機関との連携度

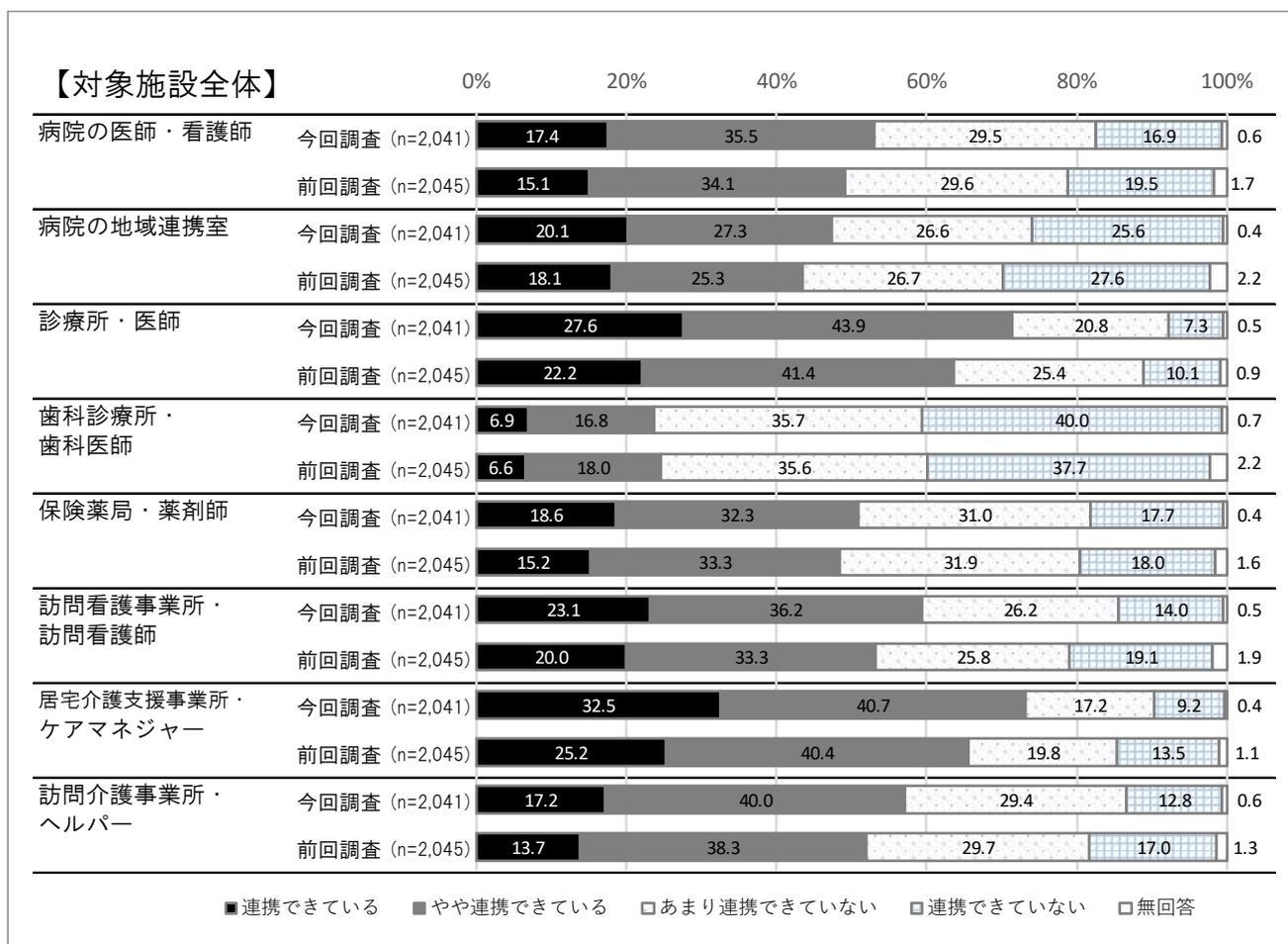
対象施設全体

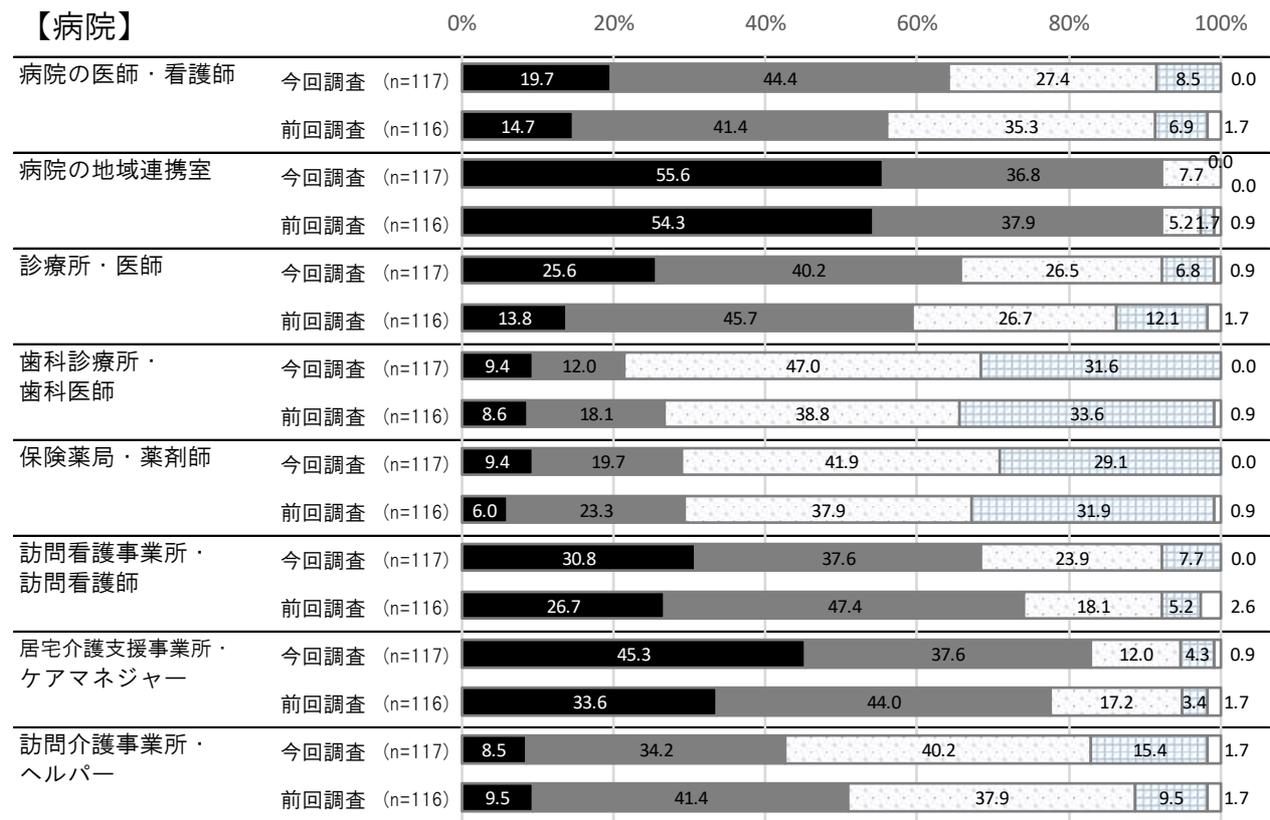
- ・「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」73.2%と最も高く、次いで、「診療所・医師」71.5%、「訪問看護事業所・訪問看護師」59.3%の順となっている。

施設類型別

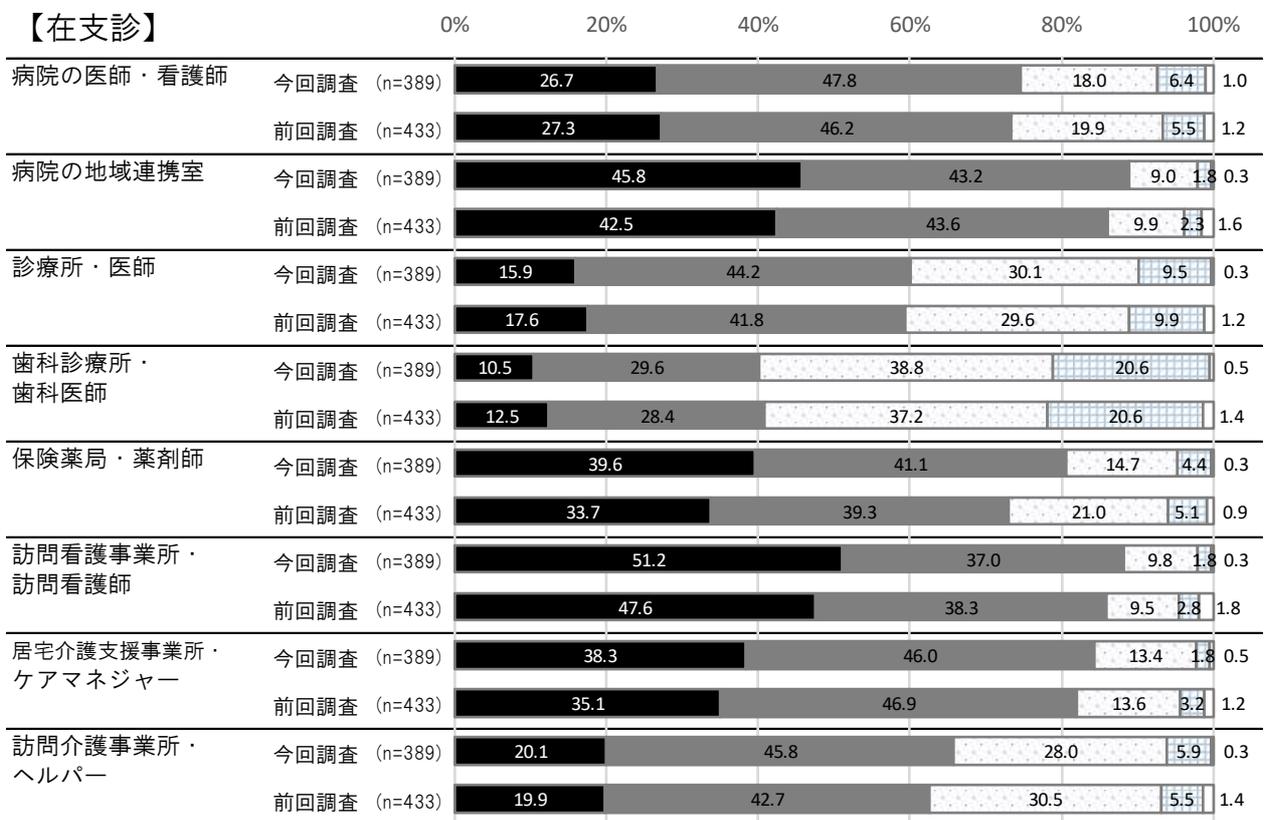
- ・病院では、「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「病院の地域連携室」92.4%と最も高く、次いで、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」82.9%となっている。
- ・在支診では、「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「病院の地域連携室」89.0%と最も高く、次いで、「訪問看護事業所・訪問看護師」88.2%となっている。
- ・在支歯診では、「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」74.5%と最も高く、次いで、「訪問介護事業所・ヘルパー」61.2%となっている。
- ・訪問薬局では、「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「診療所・医師」72.4%と最も高く、次いで、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」60.6%となっている。
- ・訪問看護では、「連携できている」「やや連携できている」を合わせた割合は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」94.8%と最も高く、次いで、「診療所・医師」92.7%となっている。

図表 21 他職種・他機関との連携度



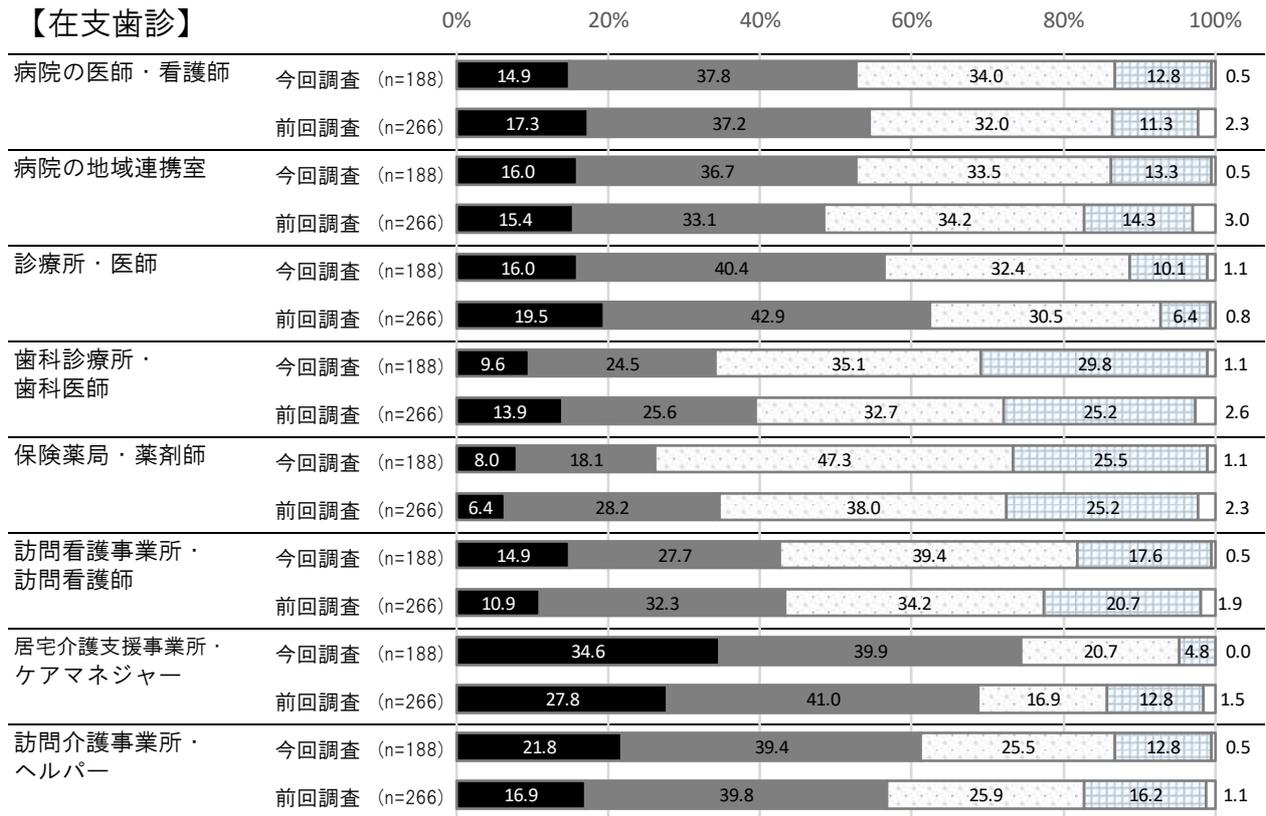


■連携できている ■やや連携できている □あまり連携できていない □連携できていない □無回答



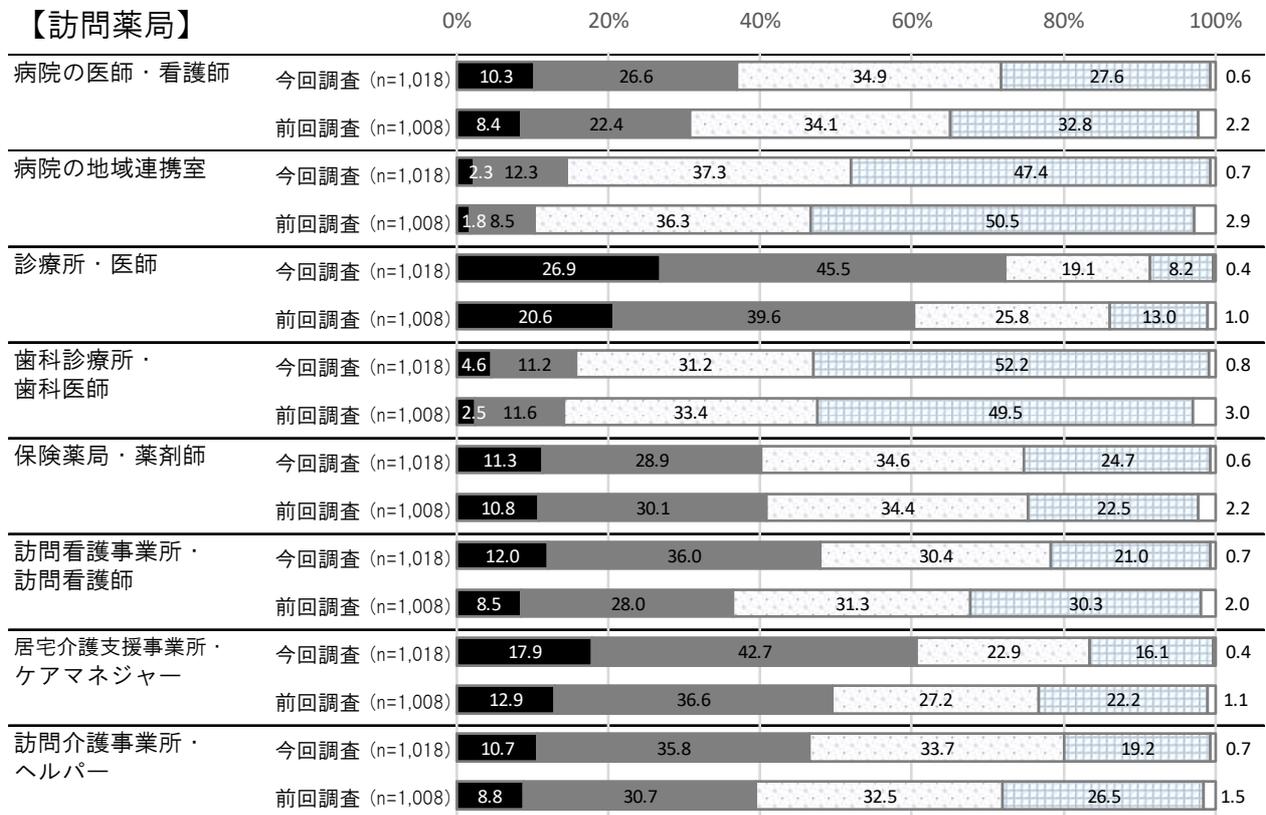
■連携できている ■やや連携できている □あまり連携できていない □連携できていない □無回答

【在支歯診】



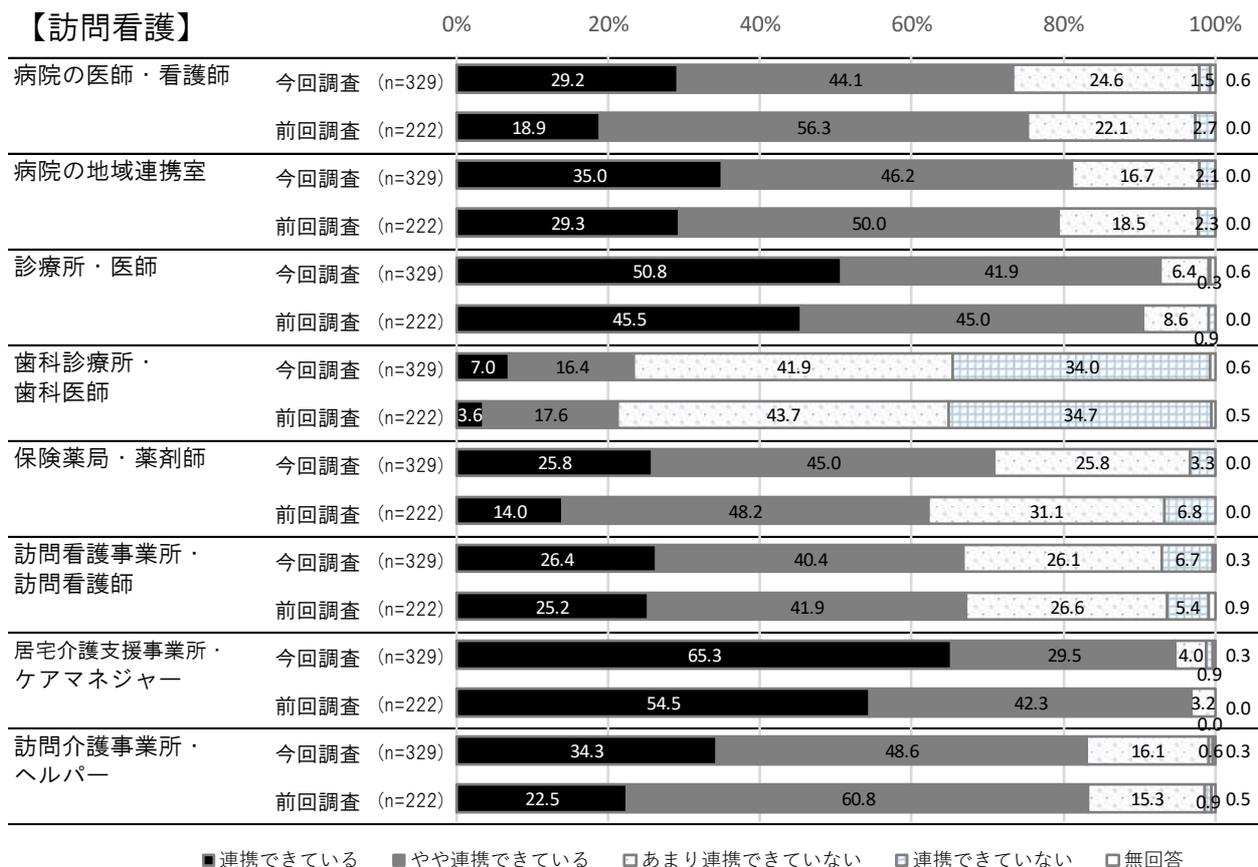
■連携できている ■やや連携できている □あまり連携できていない □連携できていない □無回答

【訪問薬局】



■連携できている ■やや連携できている □あまり連携できていない □連携できていない □無回答

【訪問看護】



(3) 各種情報についての意見交換・共有

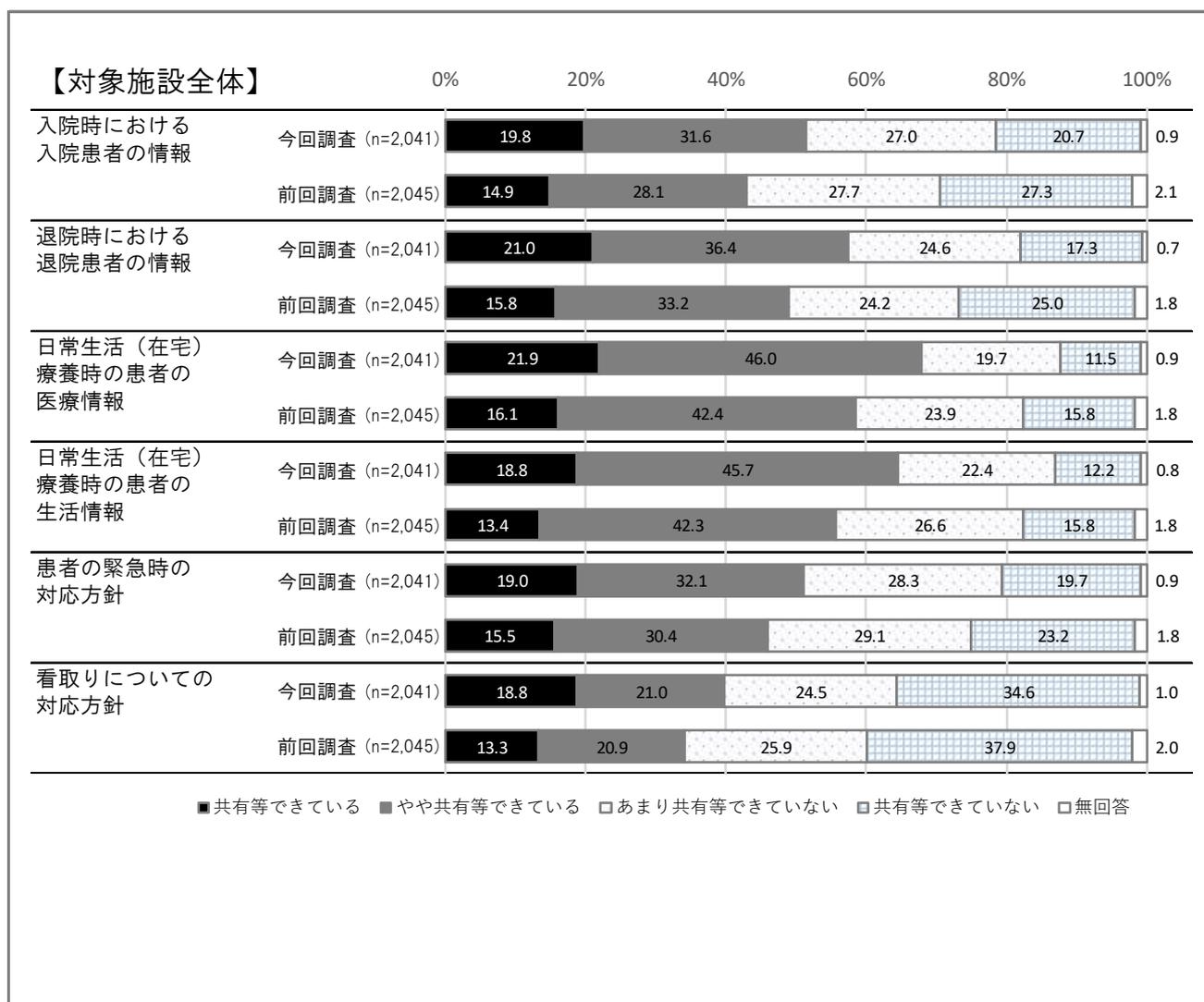
対象施設全体

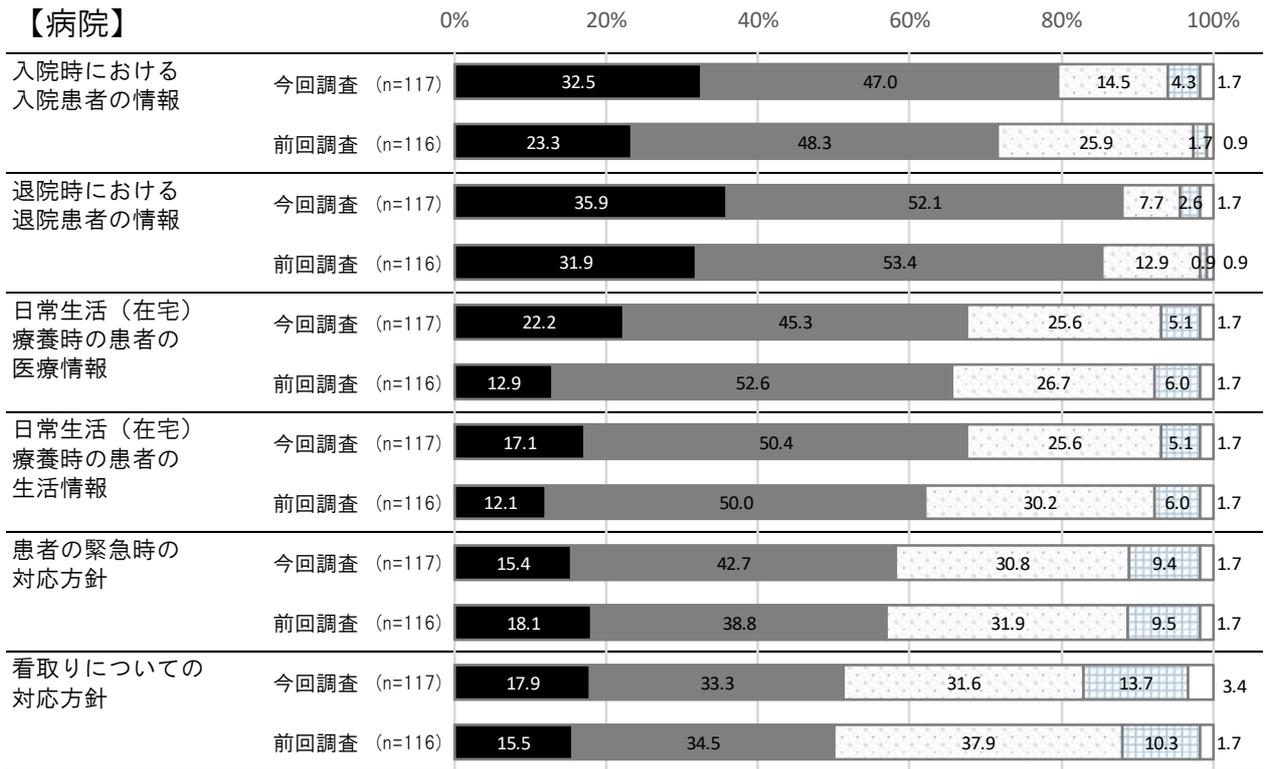
- ・「共有等できている」「やや共有等できている」を合わせた割合は、いずれも前回調査より増加しており、「日常生活（在宅）療養時の患者の医療情報」67.9%と最も高く、次いで、「日常生活（在宅）療養時の患者の生活情報」64.5%となっている。
- ・一方、「看取りについての対応方針」は39.8%と最も低くなっている。

施設類型別

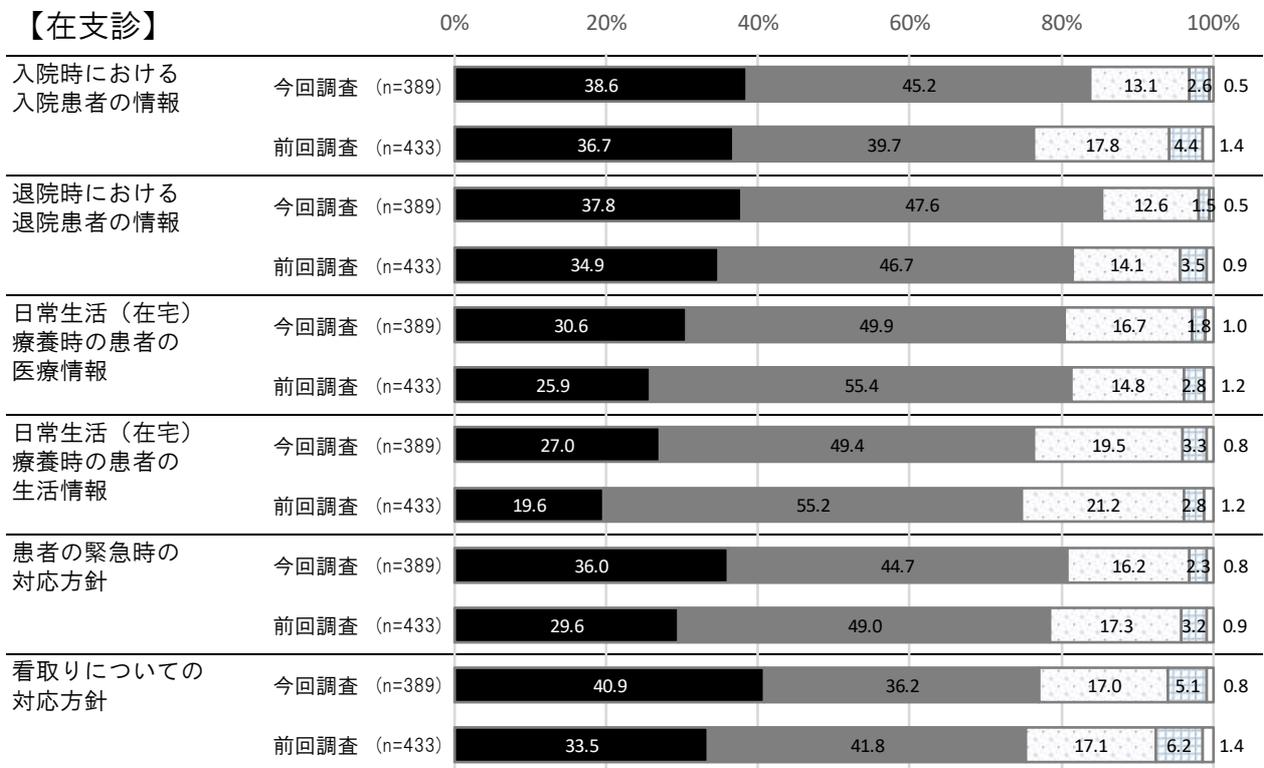
- ・病院では、「共有等できている」「やや共有等できている」を合わせた割合は、「退院時における退院患者の情報」88.0%と最も高く、次いで、「入院時における入院患者の情報」79.5%となっている。
- ・訪問看護では、「共有等できている」「やや共有等できている」を合わせた割合は、いずれも85%以上、在支診では75%以上となっている。
- ・「共有等できている」「やや共有等できている」を合わせた割合は、在支歯診65.4%、訪問薬局56.0%と「日常生活（在宅）療養時の患者の医療情報」が最も高く、次いで、「日常生活（在宅）療養時の患者の生活情報」が、それぞれ61.7%、51.5%となっている。
- ・一方、「看取りについての対応方針」は、在支歯診20.3%、訪問薬局12.8%と最も低くなっている。

図表 22 各種情報についての意見交換・共有

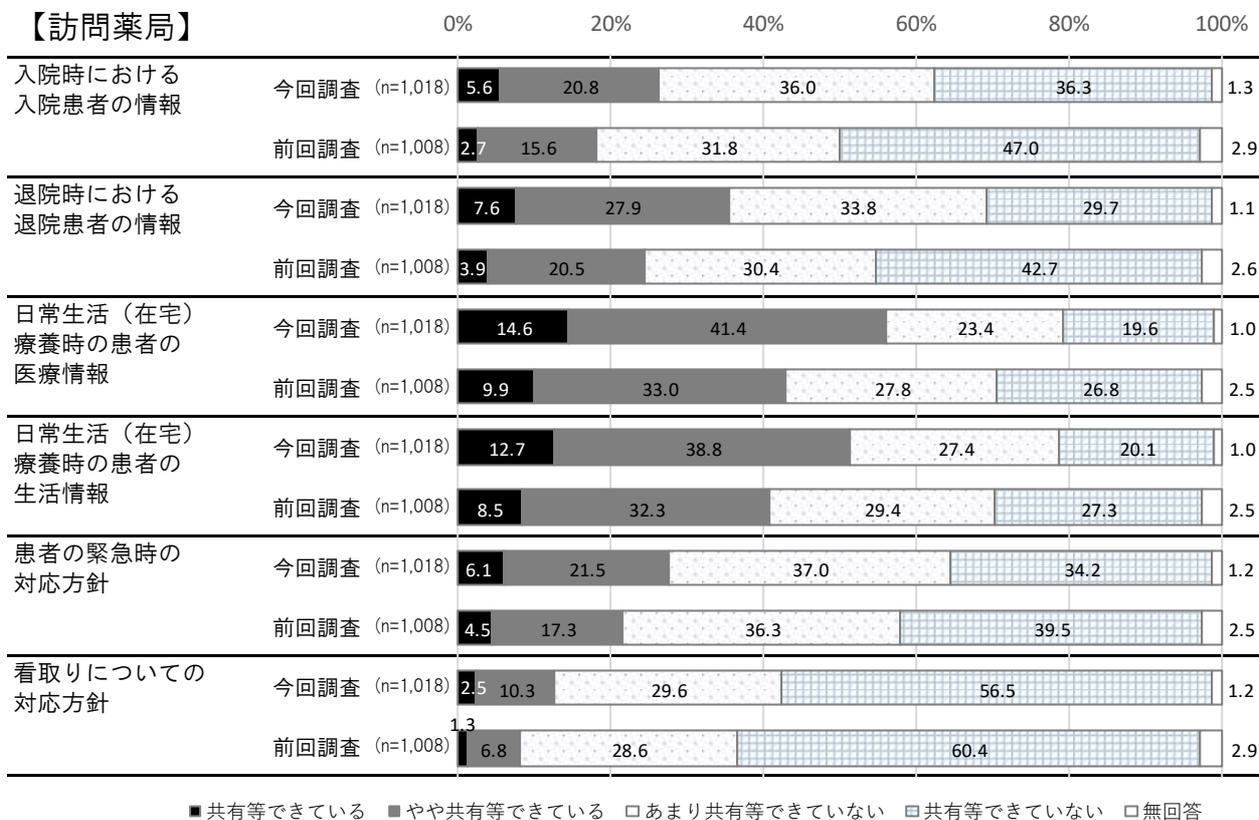
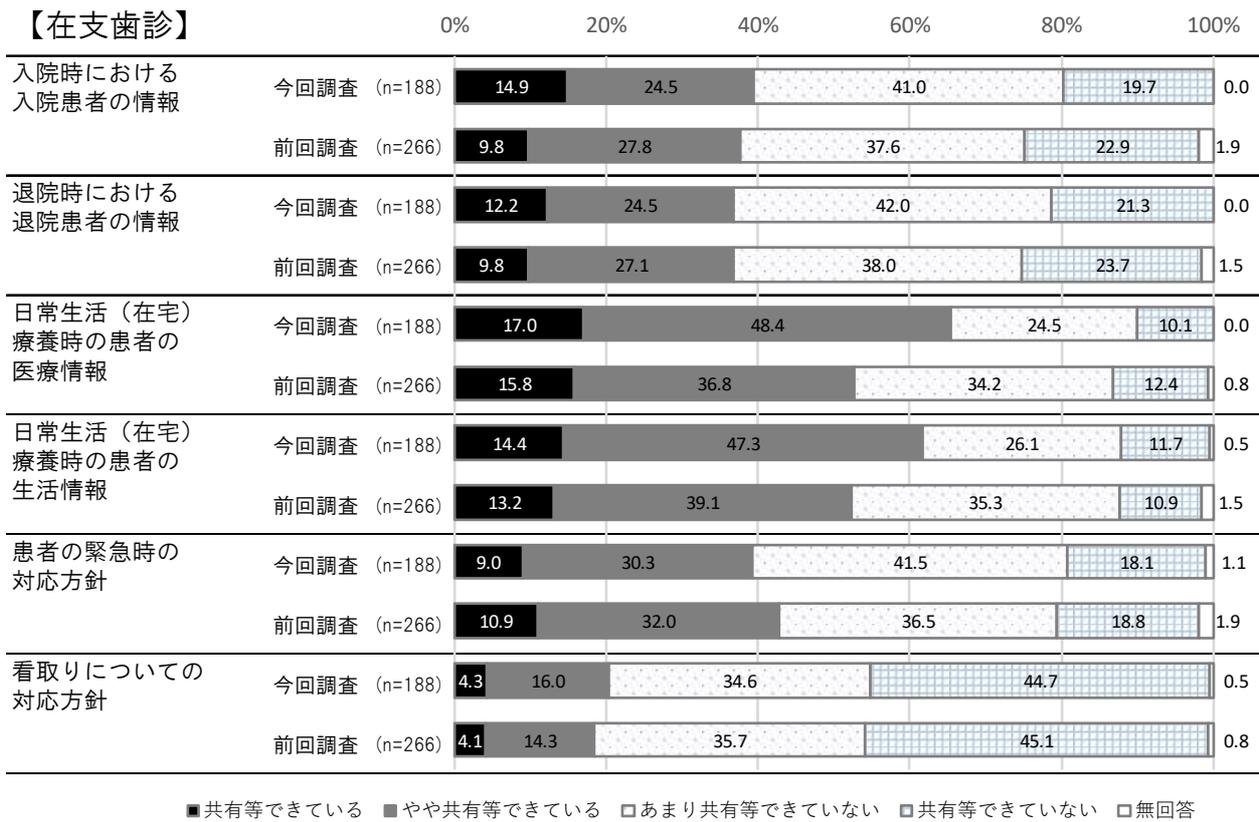




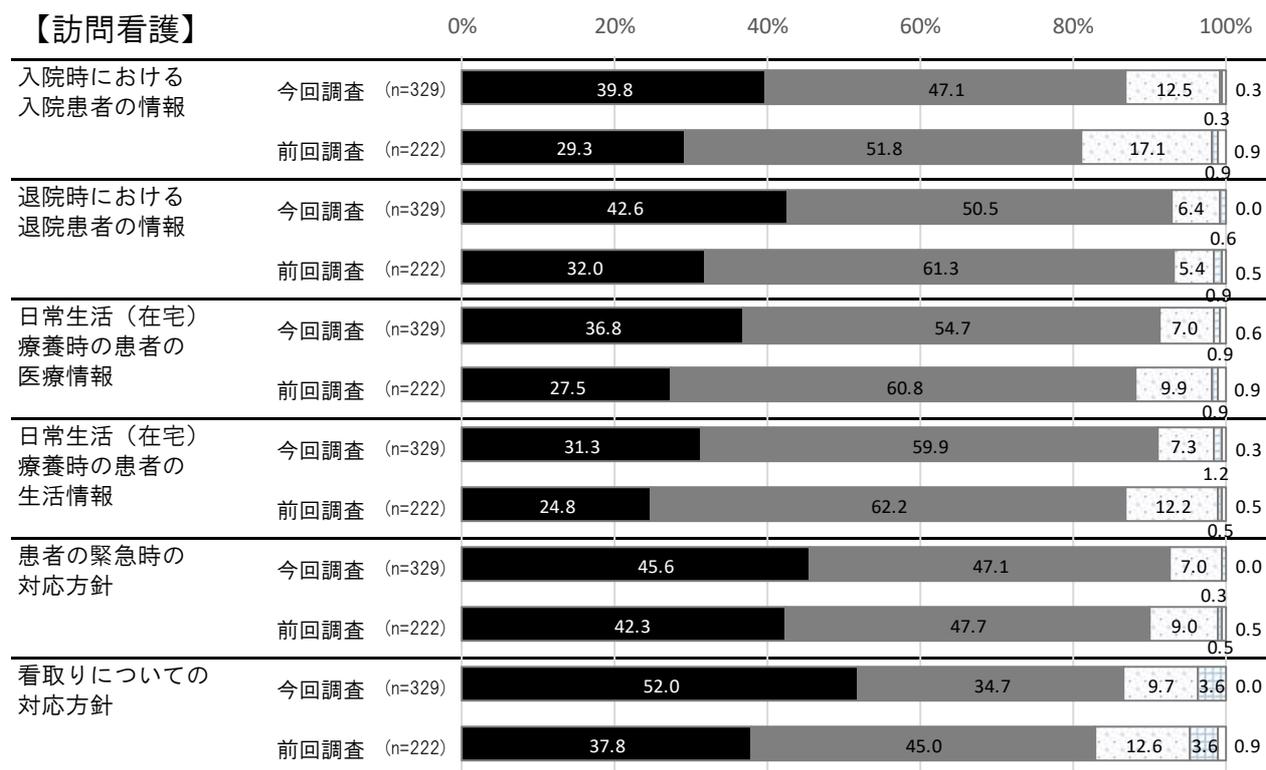
■ 共有等できている ■ やや共有等できている □ あまり共有等できていない □ 共有等できていない □ 無回答



■ 共有等できている ■ やや共有等できている □ あまり共有等できていない □ 共有等できていない □ 無回答



【訪問看護】



■ 共有等できている ■ やや共有等できている □ あまり共有等できていない □ 共有等できていない □ 無回答

(4) 「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績

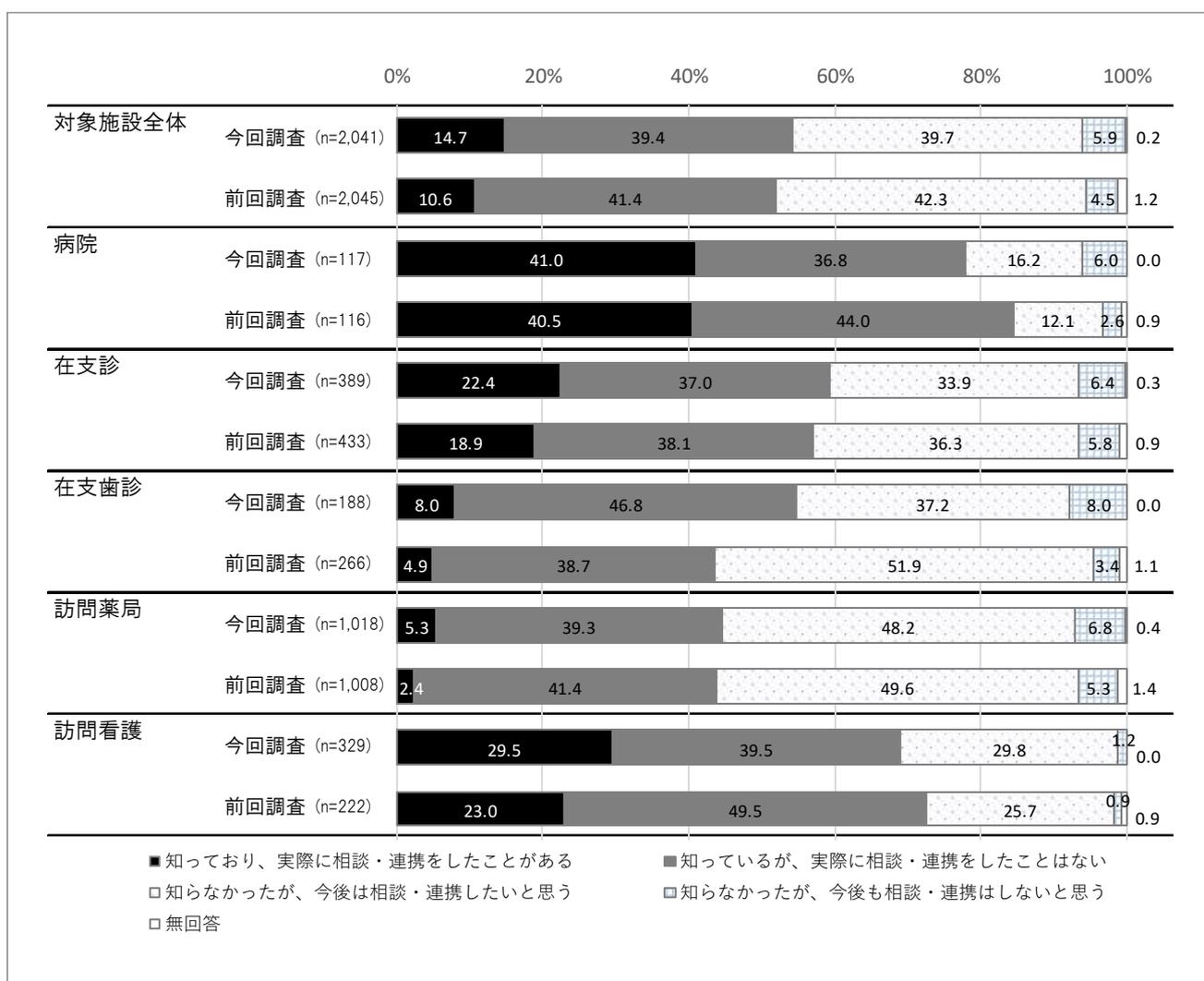
対象施設全体

- ・「知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う」が 39.7%と最も多く、次いで、「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」が 39.4%となっている。
- ・「知っている」と回答した割合は、54.1%と前回調査の 52.0%よりやや増加している。

施設類型別

- ・「知っている」と回答した割合は、病院 77.8%、訪問看護 69.0%、在支診 59.4%、在支歯診 54.8%、訪問薬局 44.6%の順となっている。
- ・前回調査で認知度の低かった在支診、訪問薬局では横ばいであるが、在支歯診では前回調査の 43.6%より増加している。

図表 23 「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績



(5) 「病院窓口一覧」の認知・利用実績

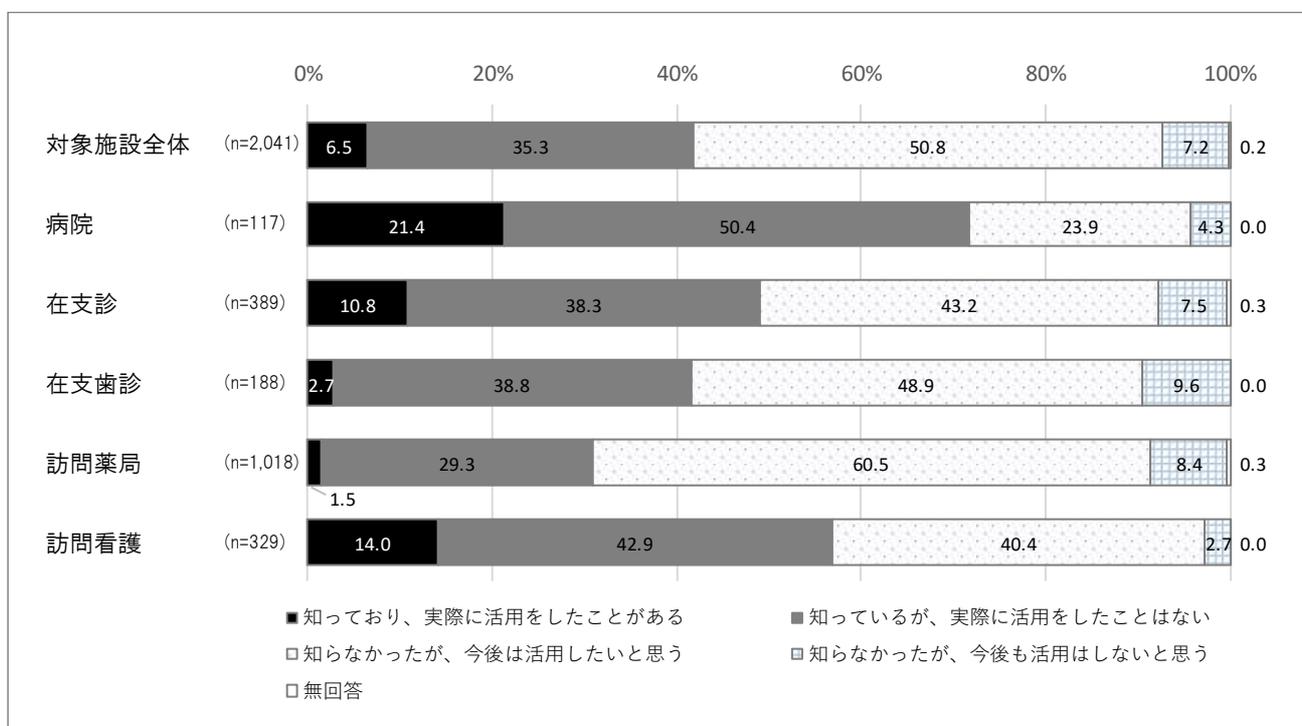
対象施設全体

- ・「知らなかったが、今後は活用したいと思う」が50.8%と最も多く、次いで、「知っているが、実際に活用をしたことはない」が35.3%となっている。
- ・「知っている」と回答した割合は、41.8%となっている。

施設類型別

- ・「知っている」と回答した割合は、病院71.8%、訪問看護56.9%、在支診49.1%、在支歯診41.5%、訪問薬局30.8%の順となっている。
- ・訪問薬局においては、「知らなかったが、今後は活用したいと思う」が60.5%と高くなっている。

図表 24 「病院窓口一覧」の認知・利用実績



(6) 「入退院支援の手引き」の認知・利用実績

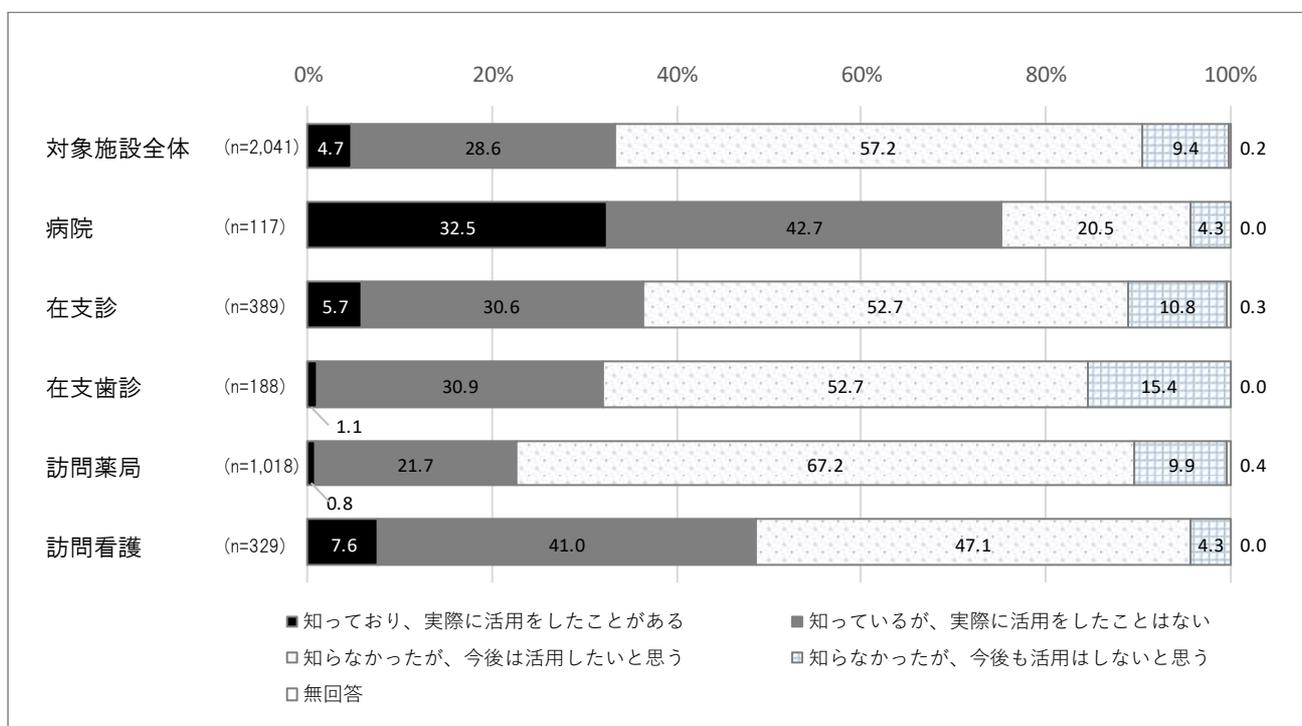
対象施設全体

- ・「知らなかったが、今後は活用したいと思う」が57.2%と最も多く、次いで、「知っているが、実際に活用をしたことはない」が28.6%となっている。
- ・「知っている」と回答した割合は、33.3%となっている。

施設類型別

- ・「知っている」と回答した割合は、病院75.2%、訪問看護48.6%、在支診36.3%、在支歯診32.0%、訪問薬局22.5%の順となっている。
- ・訪問薬局においては、「知らなかったが、今後は活用したいと思う」が67.2%と多くなっている。

図表 25 「入退院支援の手引き」の認知・利用実績



6. 今後に向けた方向性

(1) 地域の在宅医療の推進への貢献度

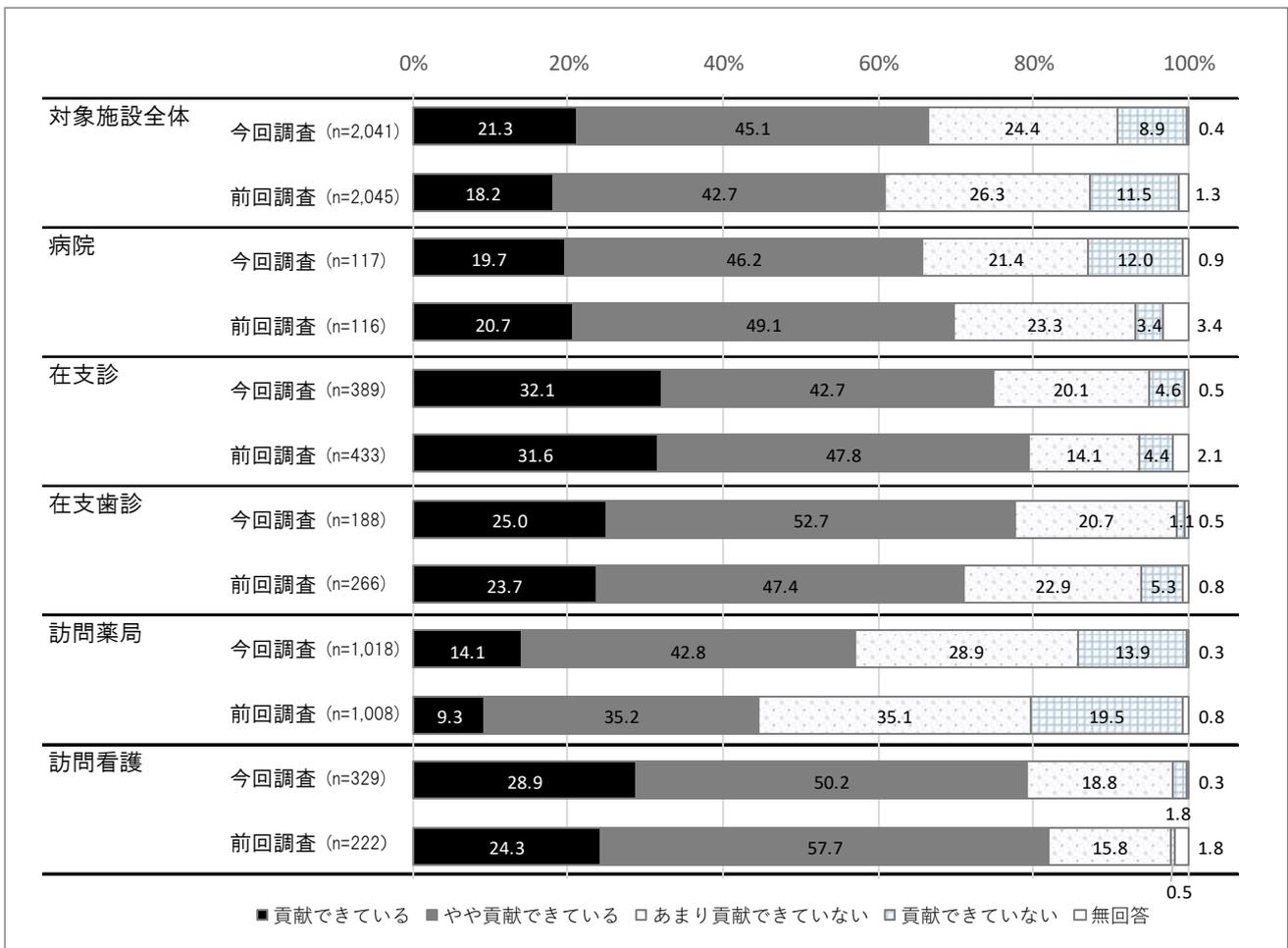
対象施設全体

- ・「やや貢献できている」が45.1%と最も多く、「貢献できている」21.3%と合わせて、66.4%となっており、前回調査の60.9%より増加している。

施設類型別

- ・「貢献できている」「やや貢献できている」の割合は、訪問看護79.1%が最も多く、次いで、在支歯診77.7%、在支診74.8%、病院65.9%、訪問薬局56.9%の順となっている。
- ・病院、在支診、訪問看護では、前回調査よりやや減少、在支歯診、訪問薬局では増加している。

図表 26 地域の在宅医療の推進への貢献度



【参考】地域の在宅医療の推進への貢献度（対象施設全体・区別）

【対象施設全体】	＜今回調査＞					＜前回調査＞					今回(n)	前回(n)
	0%	50%	100%			0%	50%	100%				
全体(大阪市)	21.3	45.1	24.4	8.9	0.4	18.2	42.7	26.3	11.5	1.3	2,041	2,045
北区	16.7	40.7	32.4	10.2	0.0	9.2	31.7	44.2	14.2	0.8	108	120
都島区	16.0	49.4	24.7	9.9	0.0	17.4	42.0	33.3	7.2	0.0	81	69
福島区	12.5	34.4	40.6	10.9	1.6	12.7	36.5	34.9	14.3	1.6	64	63
此花区	28.3	45.7	23.9		0.0	25.0	37.5	35.0		0.0	46	40
中央区	15.4	36.6	24.4	23.6	0.0	17.3	30.0	28.2	23.6	0.9	123	110
西区	12.5	38.9	33.3	15.3	0.0	14.3	31.7	33.3	19.0	1.6	72	63
港区	31.9	42.6	17.0	8.5	0.0	21.2	50.0	15.4	13.5	0.0	47	52
大正区	26.5	40.8	26.5	6.1	0.0	18.6	67.4	11.6		0.0	49	43
天王寺区	14.3	39.3	34.5	11.9	0.0	16.0	40.0	32.0	10.7	1.3	84	75
浪速区	25.5	45.5	18.2	9.1	1.8	27.8	37.0	24.1	11.1	0.0	55	54
西淀川区	28.8	48.1	15.4	5.8	1.9	21.5	41.5	21.5	15.4	0.0	52	65
淀川区	27.2	41.7	19.4	11.7	0.0	17.6	44.0	28.6	9.9	0.0	103	91
東淀川区	21.9	39.6	26.0	12.5	0.0	12.6	48.4	23.2	15.8	0.0	96	95
東成区	20.2	52.8	21.3	5.6	0.0	18.8	42.7	25.0	12.5	1.0	89	96
生野区	22.1	47.1	23.1	6.7	1.0	18.3	46.8	21.1	11.9	1.8	104	109
旭区	21.9	47.9	24.7	5.5	0.0	26.5	47.1	16.2	10.3	0.0	73	68
城東区	24.8	48.6	20.0	6.7	0.0	14.3	52.9	22.7	9.2	0.8	105	119
鶴見区	22.6	54.8	17.7		1.6	24.1	46.6	25.9		0.0	62	58
阿倍野区	24.0	50.0	19.0	6.0	1.0	13.9	52.8	21.3	9.3	2.8	100	108
住之江区	26.0	45.2	23.3	5.5	0.0	26.7	36.7	25.6	7.8	3.3	73	90
住吉区	19.7	47.0	27.4	6.0	0.0	16.8	40.3	30.3	11.8	0.8	117	119
東住吉区	24.0	47.0	27.0		0.0	22.9	45.7	21.9	5.7	3.8	100	105
平野区	21.3	52.9	19.9	5.9	0.0	17.9	48.8	22.8	9.8	0.8	136	123
西成区	19.6	42.3	23.7	12.4	2.1	22.1	34.6	26.9	14.4	1.9	97	104

■貢献できている ■やや貢献できている □あまり貢献できていない □貢献できていない □無回答

(2) 地域の在宅医療の推進への今後の意向

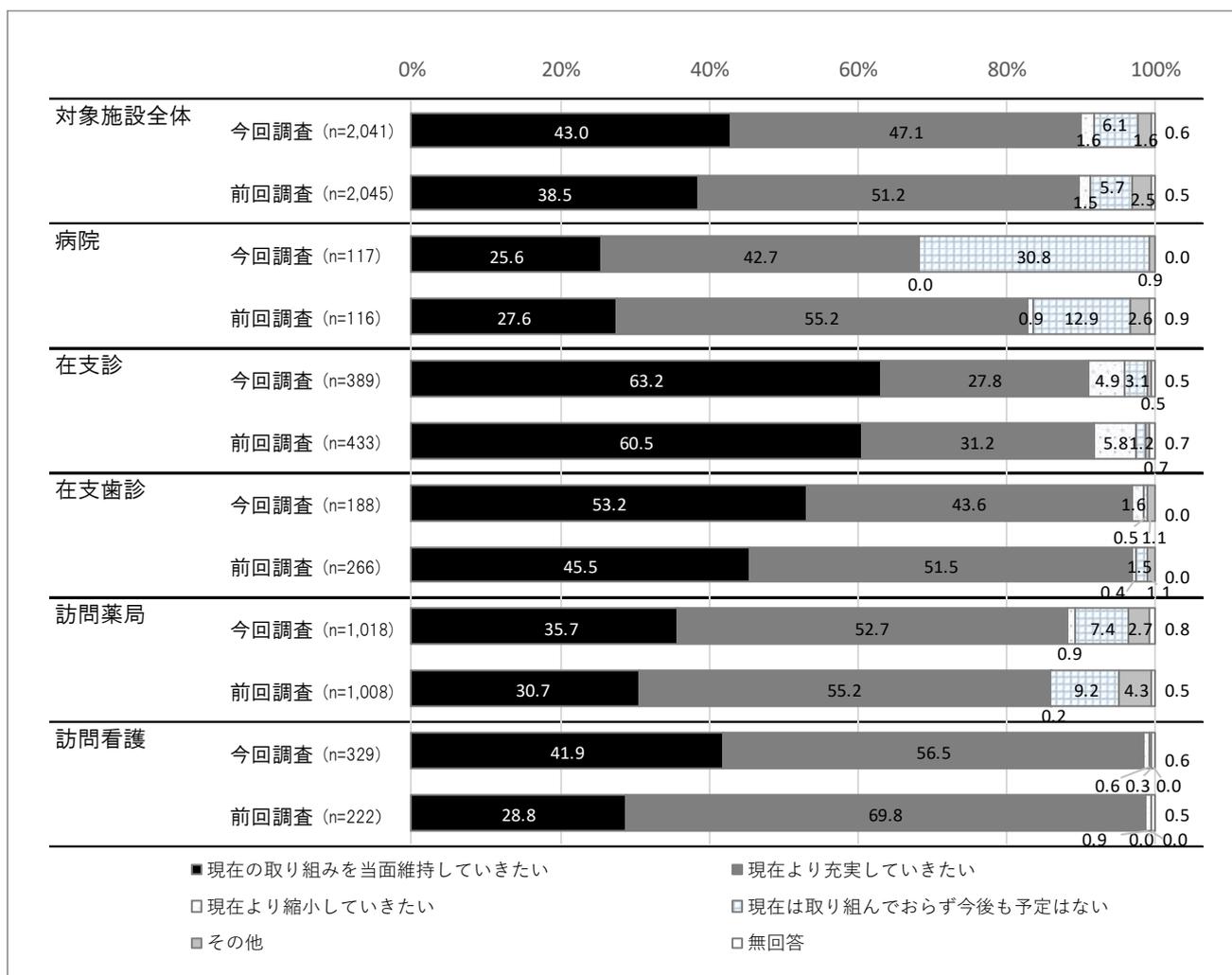
対象施設全体

- ・「現在より充実していきたい」が47.1%と最も多く、次いで、「現在の取り組みを当面維持していきたい」が43.0%となっている。

施設類型別

- ・病院では、「現在より充実していきたい」が42.7%と最も多く、次いで、「現在は取り組んでおらず今後も予定はない」30.8%、「現在の取り組みを当面維持していきたい」25.6%の順となっている。
- ・在支診では63.2%、在支歯診では53.2%と「現在の取り組みを当面維持していきたい」が最も多く、次いで、「現在より充実していきたい」が、それぞれ27.8%、43.6%となっている。
- ・訪問薬局では52.7%、訪問看護では56.5%と「現在より充実していきたい」が最も多く、次いで、「現在の取り組みを当面維持していきたい」が、それぞれ35.7%、41.9%となっている。

図表 27 地域の在宅医療の推進への今後の意向



(3) 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること（必要性が高いものから3つまで回答）

対象施設全体

- ・「患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発」が37.5%と最も多く、次いで、「連携で困ったときに相談できる窓口」37.3%、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」32.2%の順となっている。

施設類型別

- ・病院では、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が41.0%と最も多く、次いで、「連携で困ったときに相談できる窓口」38.5%となっている。
- ・一方、前回調査で37.9%であった「関係機関のリスト・連携先等の提供」は19.7%と減少している。
- ・在支診では、「在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医の導入など）」が38.6%と最も多く、次いで、「連携で困ったときに相談できる窓口」37.3%、「診療報酬・介護報酬の評価（増額）」36.0%の順となっている。
- ・在支歯診では、「患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発」が49.5%と最も多く、次いで、「診療報酬・介護報酬の評価（増額）」39.4%となっており、「診療報酬・介護報酬の評価（増額）」が前回調査の23.3%より増加、「在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医の導入など）」が20.7%と前回調査の9.4%より増加している。
- ・一方、「連携で困ったときに相談できる窓口」は26.6%と前回調査の36.8%より減少している。
- ・訪問薬局では、「連携で困ったときに相談できる窓口」が39.0%と最も多く、次いで、「患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発」38.0%となっている。
- ・訪問看護では、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が41.3%と最も多く、次いで、「連携で困ったときに相談できる窓口」38.0%、「患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発」36.5%の順となっている。

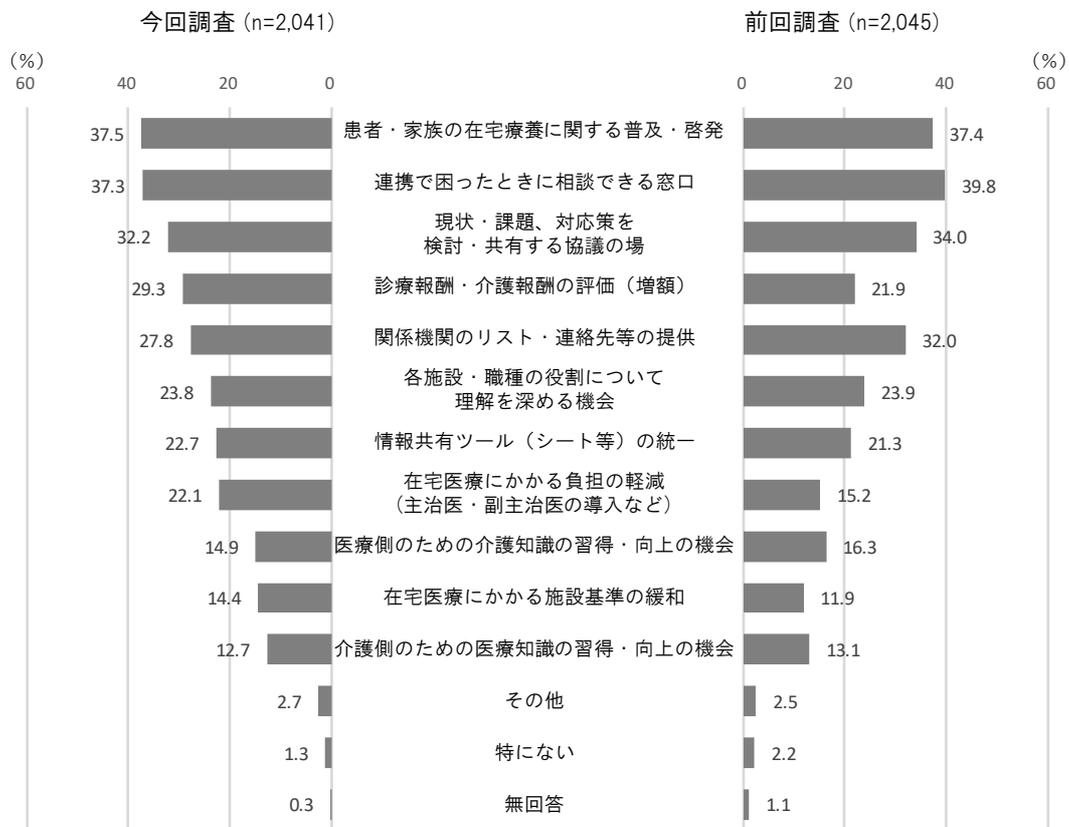
図表 28 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること

	施設数(%)					
	対象施設全体	病院	在宅診	在宅歯診	訪問薬局	訪問看護
1. 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発	765(37.5)	40(34.2)	125(32.1)	93(49.5)	387(38.0)	120(36.5)
2. 連携で困ったときに相談できる窓口	762(37.3)	45(38.5)	145(37.3)	50(26.6)	397(39.0)	125(38.0)
3. 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場	658(32.2)	48(41.0)	81(20.8)	43(22.9)	350(34.4)	136(41.3)
4. 診療報酬・介護報酬の評価(増額)	598(29.3)	29(24.8)	140(36.0)	74(39.4)	249(24.5)	106(32.2)
5. 関係機関のリスト・連絡先等の提供	567(27.8)	23(19.7)	107(27.5)	48(25.5)	321(31.5)	68(20.7)
6. 各施設・職種の役割について理解を深める機会	486(23.8)	29(24.8)	49(12.6)	42(22.3)	293(28.8)	73(22.2)
7. 情報共有ツール(シート等)の統一	464(22.7)	34(29.1)	58(14.9)	35(18.6)	251(24.7)	86(26.1)
8. 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など)	451(22.1)	17(14.5)	150(38.6)	39(20.7)	168(16.5)	77(23.4)
9. 医療側のための介護知識の習得・向上の機会	304(14.9)	16(13.7)	43(11.1)	29(15.4)	180(17.7)	36(10.9)
10. 在宅医療にかかる施設基準の緩和	293(14.4)	14(12.0)	72(18.5)	49(26.1)	123(12.1)	35(10.6)
11. 介護側のための医療知識の習得・向上の機会	260(12.7)	14(12.0)	61(15.7)	37(19.7)	76(7.5)	72(21.9)
12. その他	55(2.7)	3(2.6)	16(4.1)	6(3.2)	25(2.5)	5(1.5)
13. 特にない	27(1.3)	5(4.3)	7(1.8)	0(0.0)	14(1.4)	1(0.3)
無回答	7(0.3)	0(0.0)	2(0.5)	0(0.0)	4(0.4)	1(0.3)
回答施設数(n)	2,041	117	389	188	1,018	329

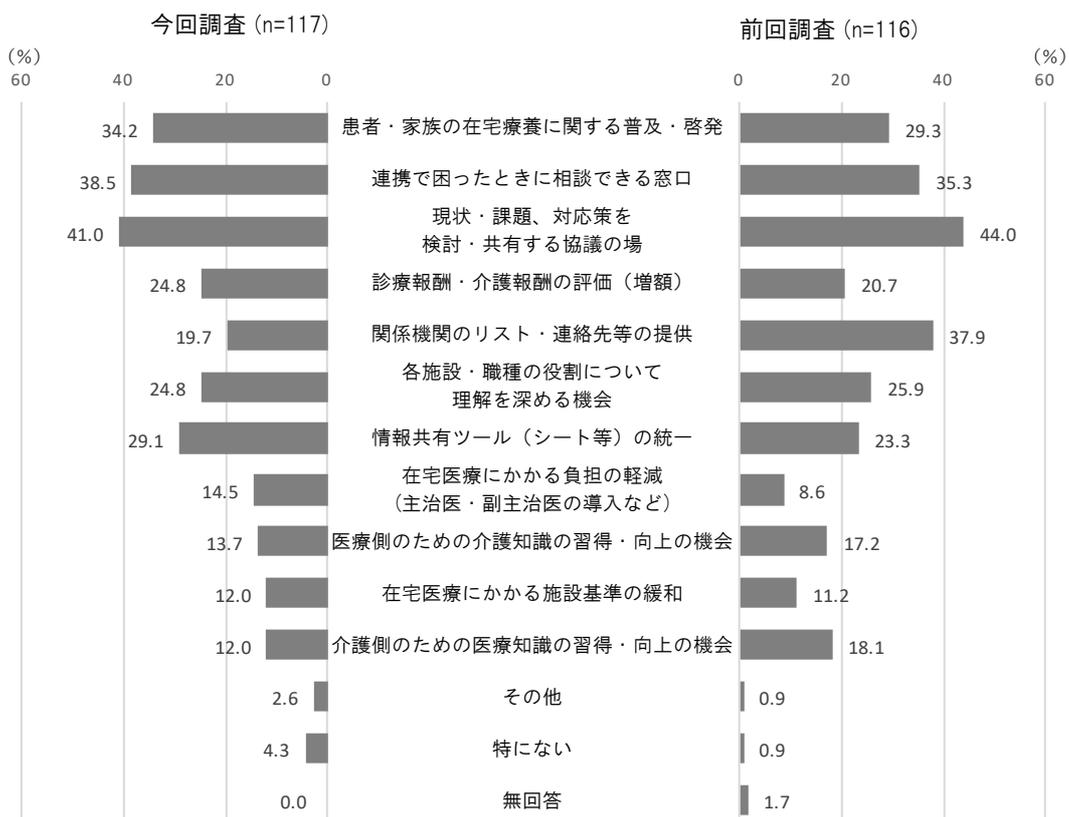
※「対象施設全体」の降順

図表 29 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること（今回・前回調査比較）

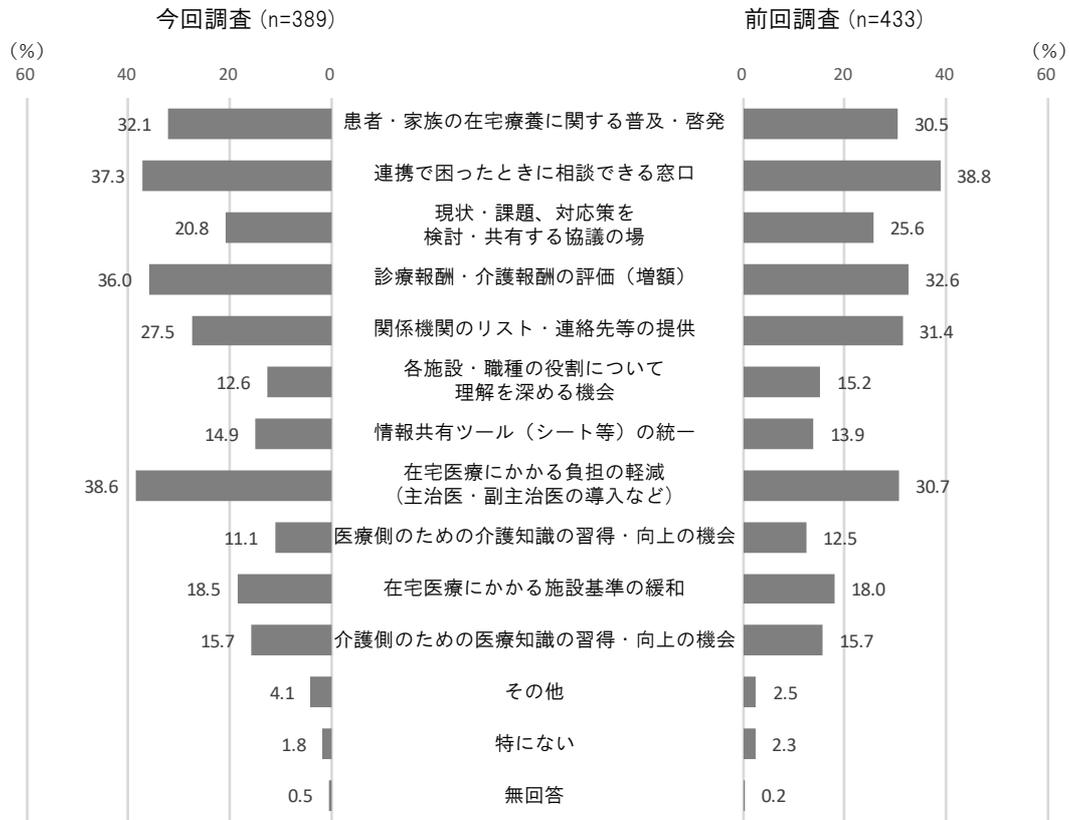
【対象施設全体】



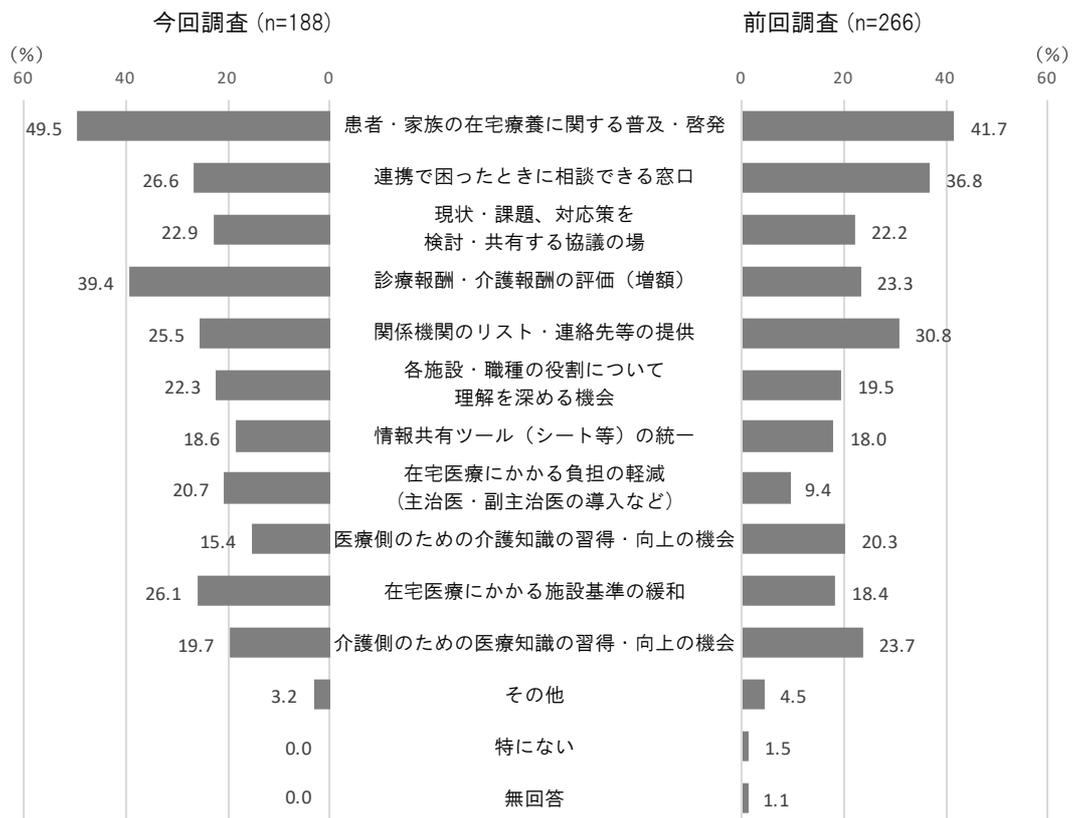
【病院】



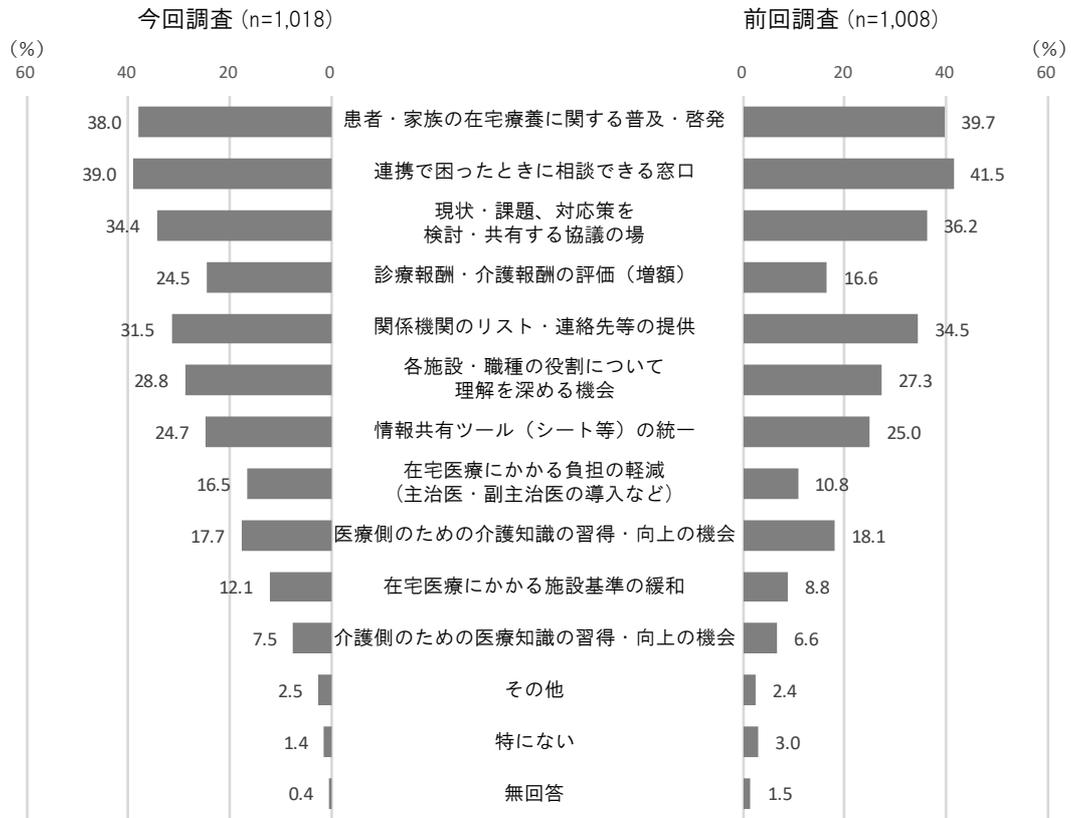
【在支診】



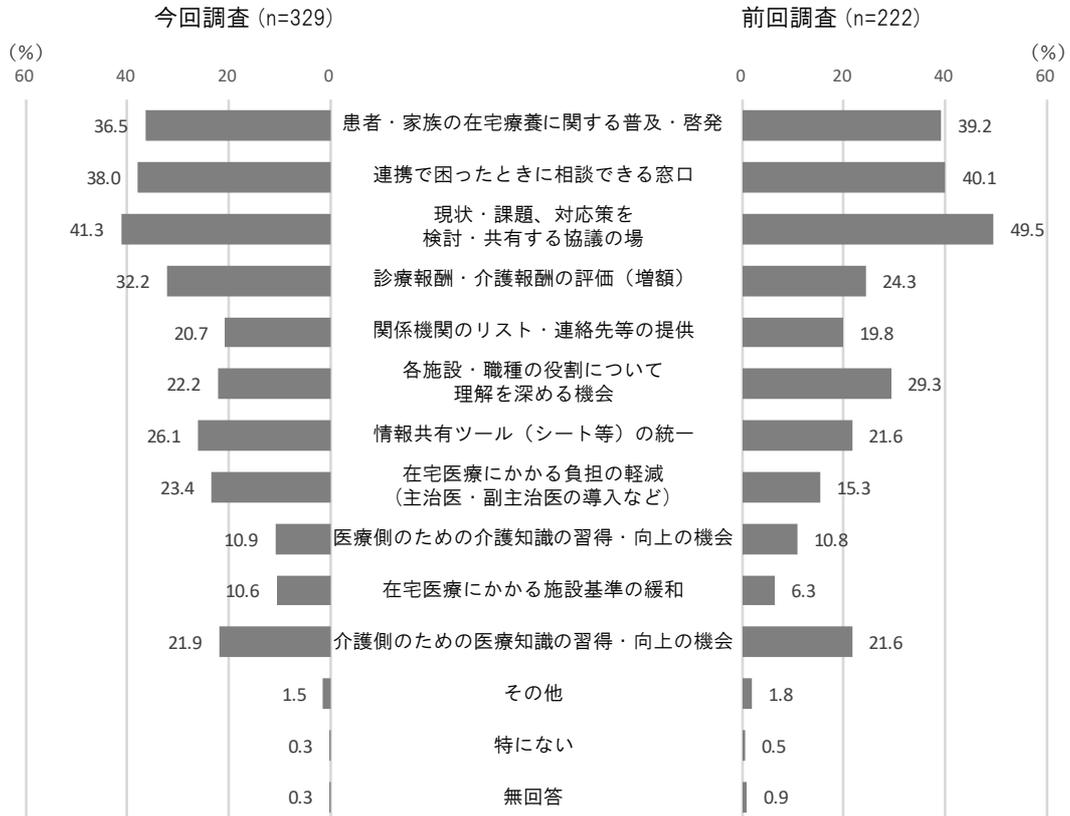
【在支歯診】



【訪問薬局】



【訪問看護】



※今回調査の「対象施設全体」の降順

(4) 地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題

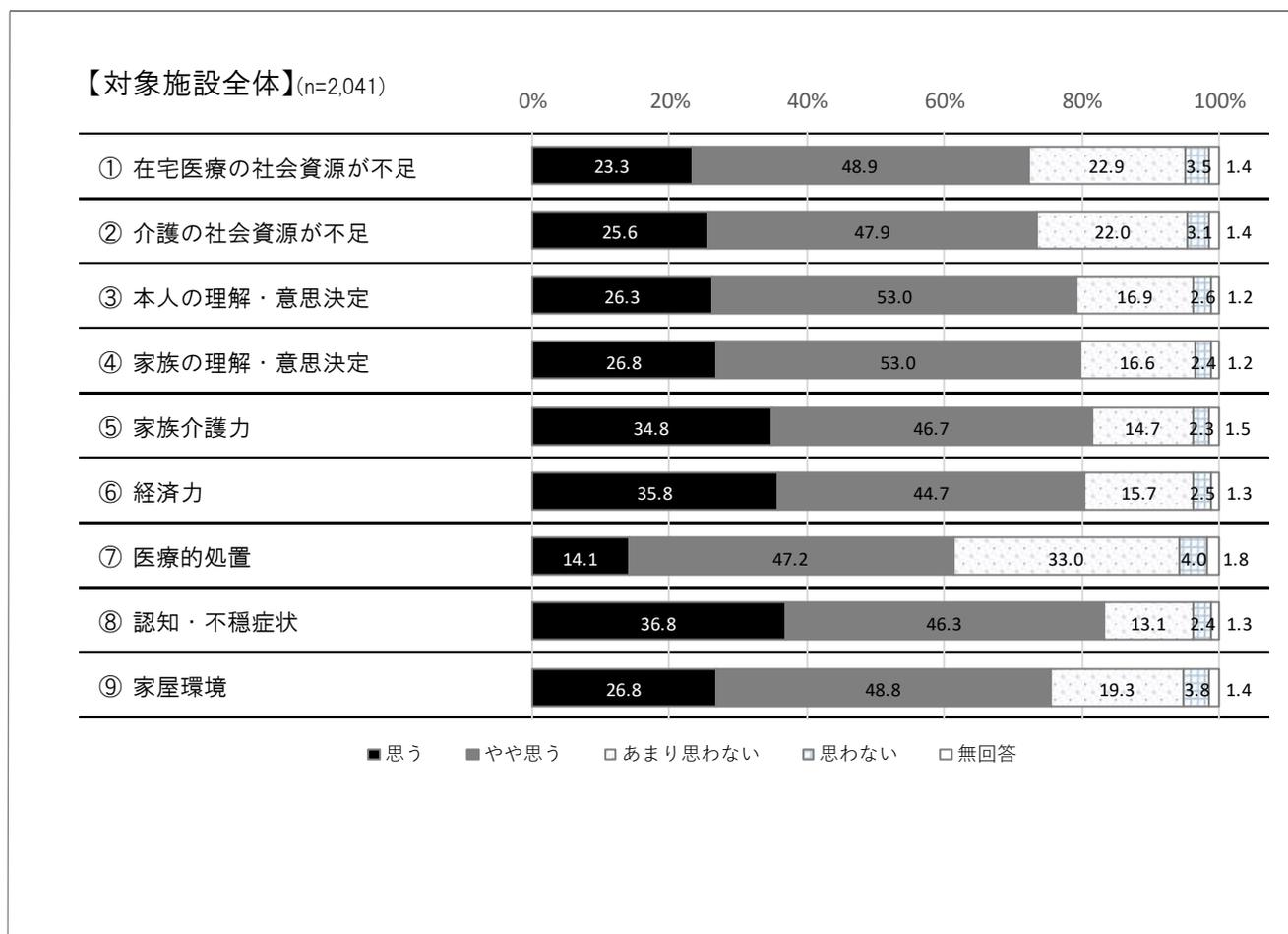
対象施設全体

- ・「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「認知・不穏症状」が83.1%と最も高く、次いで、「家族介護力」81.5%、「経済力」80.5%の順となっている。

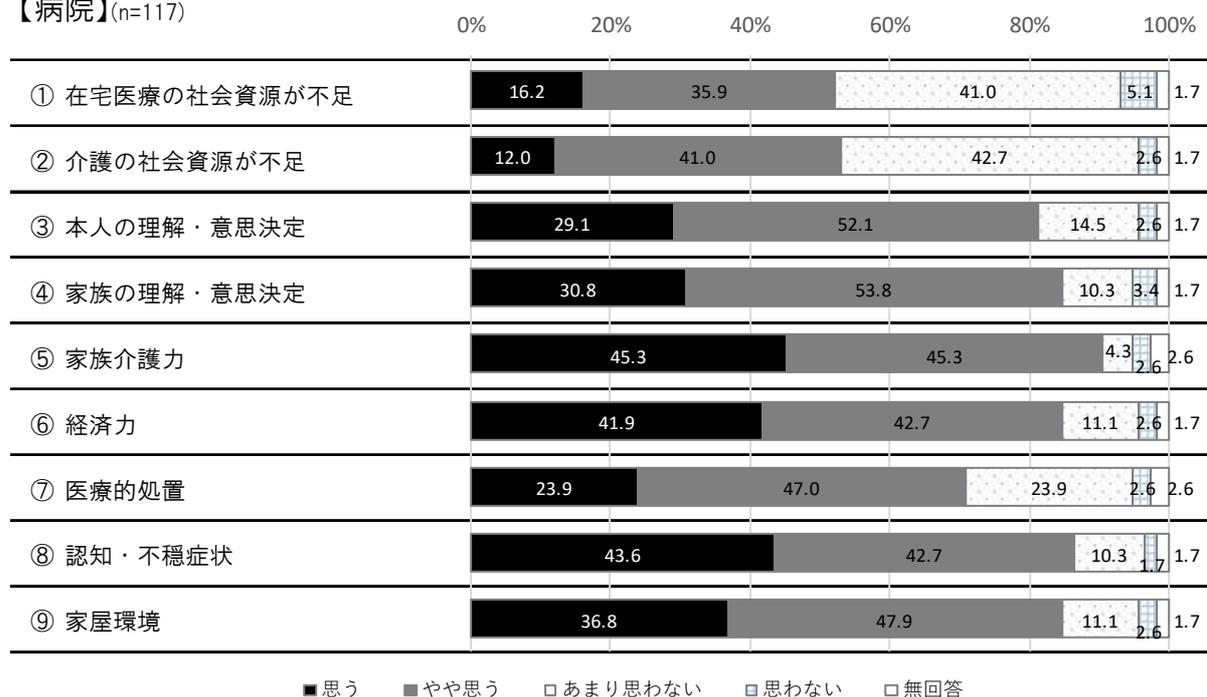
施設類型別

- ・病院では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族介護力」が90.6%と最も高く、次いで、「認知・不穏症状」86.3%、「家屋環境」84.7%、「家族の理解・意思決定」と「経済力」が84.6%の順となっている。
- ・在支診では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族介護力」が87.9%と最も高く、次いで、「認知・不穏症状」85.8%、「経済力」84.3%の順となっている。
- ・在支歯診では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族の理解・意思決定」が87.2%と最も高く、次いで、「認知・不穏症状」85.1%、「本人の理解・意思決定」84.6%、「経済力」83.0%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「認知・不穏症状」が81.8%と最も高く、次いで、「家族介護力」77.2%、「本人の理解・意思決定」76.9%の順となっている。
- ・訪問看護では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「経済力」が88.7%と最も高く、次いで、「家族の理解・意思決定」86.0%の順となっている。

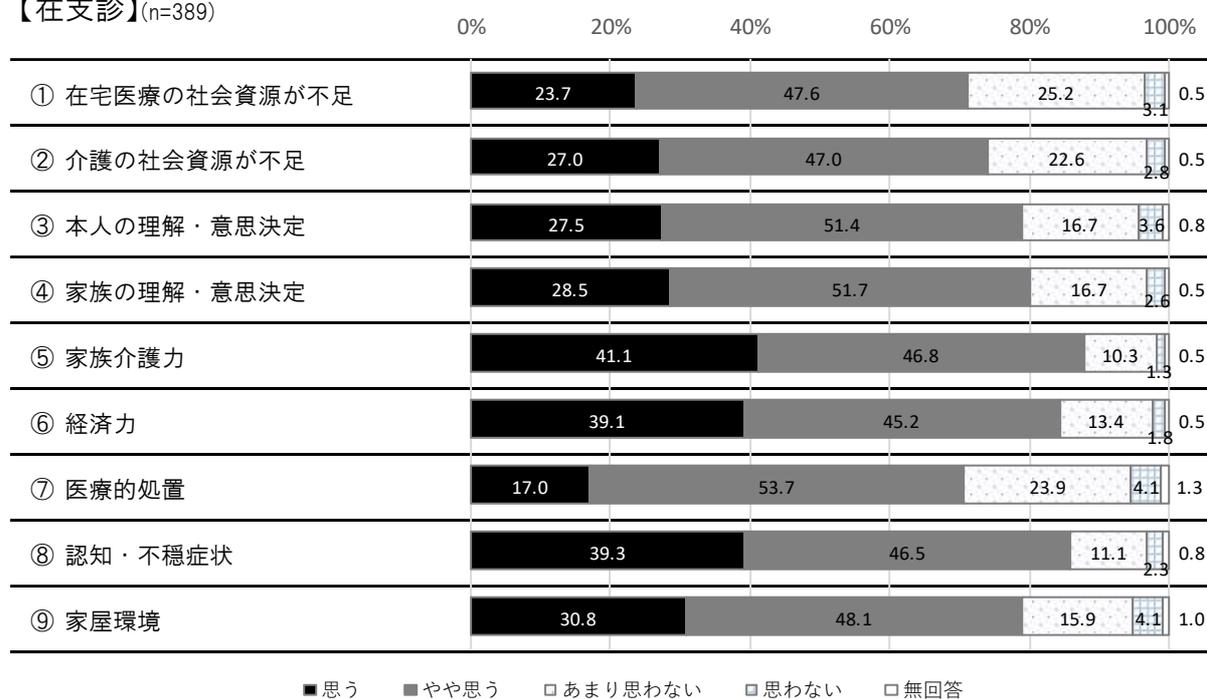
図表 30 地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題



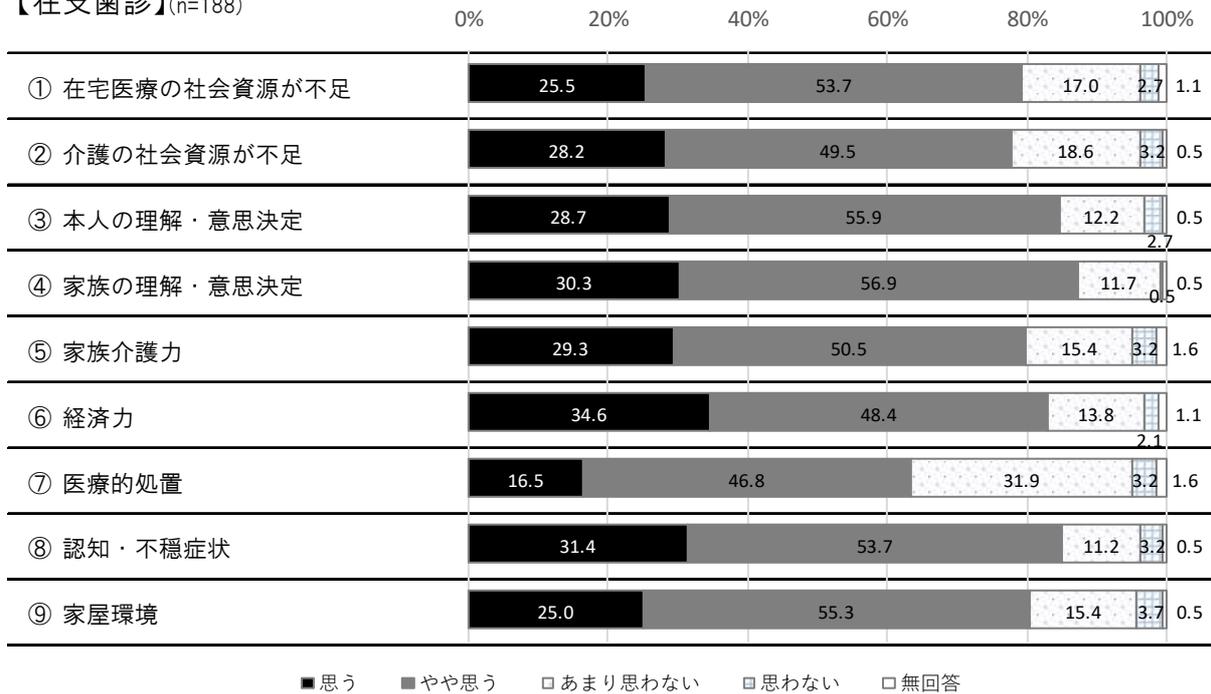
【病院】(n=117)



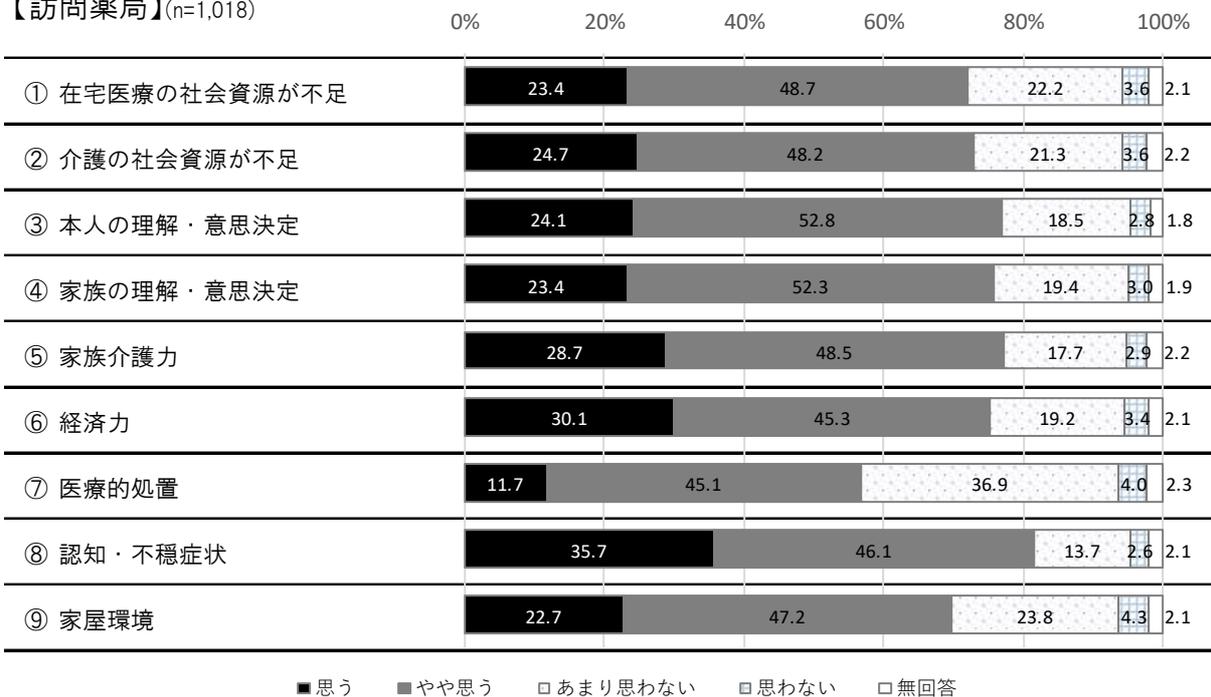
【在宅】(n=389)



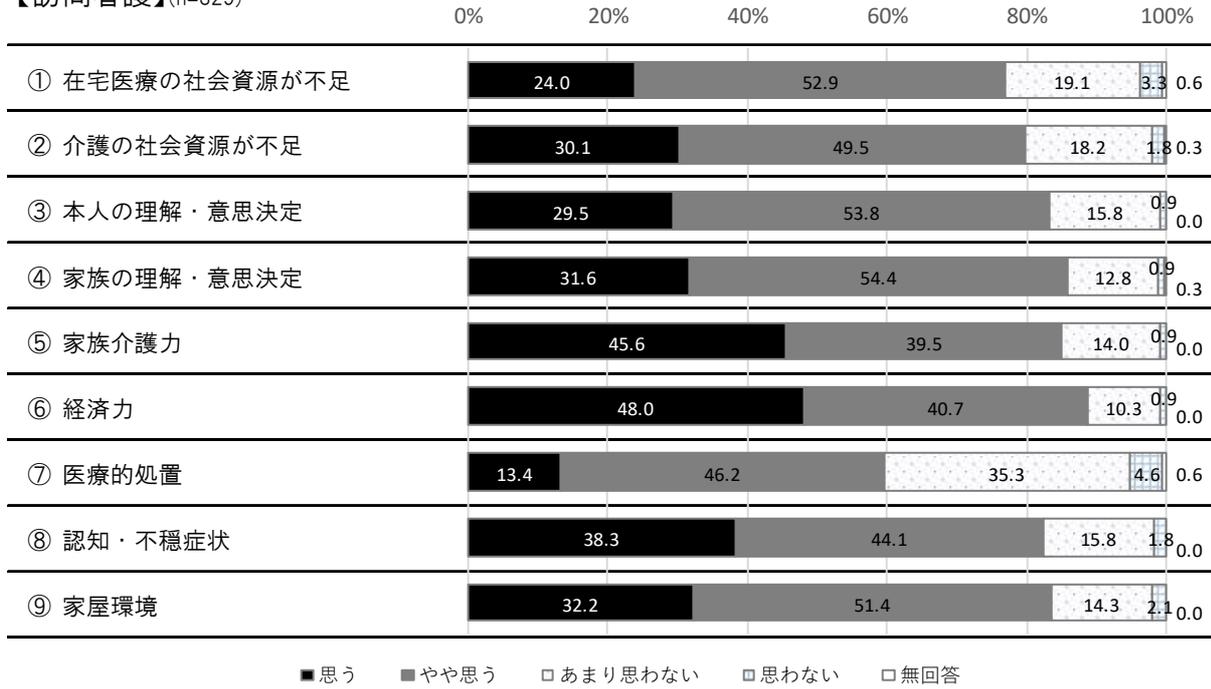
【在宅歯診】(n=188)



【訪問薬局】(n=1,018)



【訪問看護】(n=329)



(5) ACP（人生会議）の実施状況

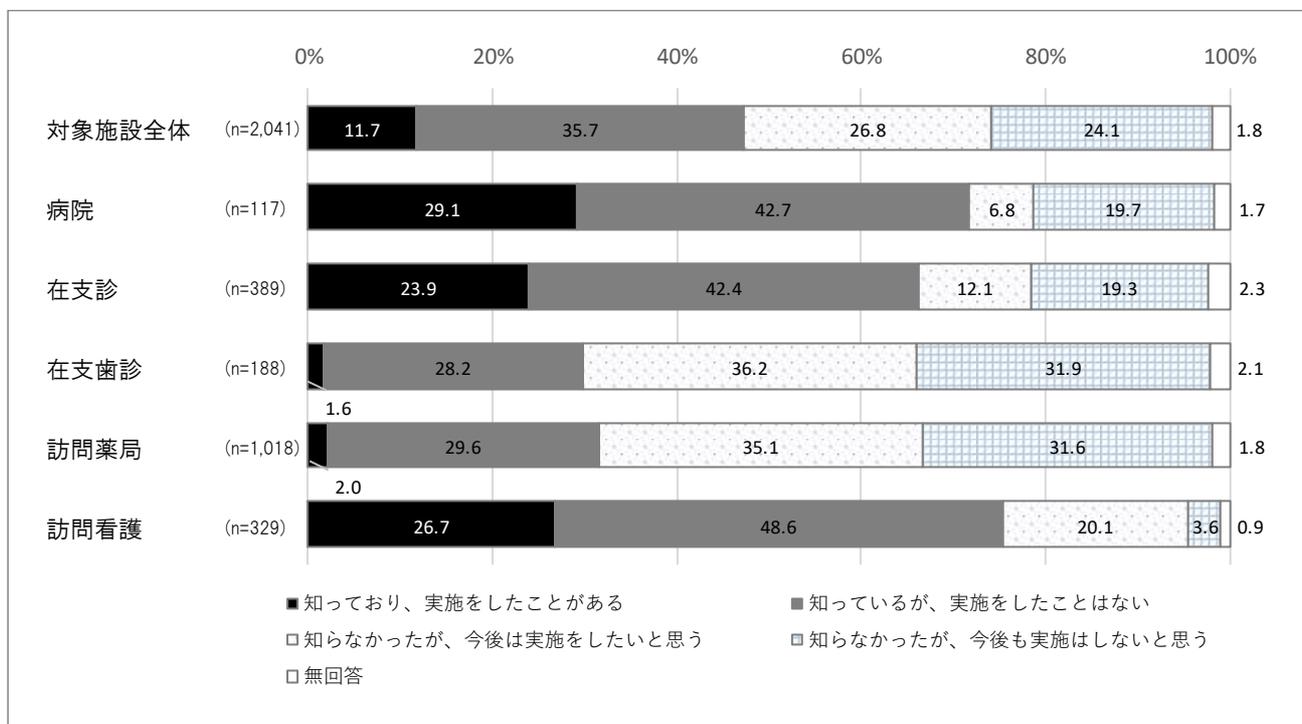
対象施設全体

- ・「知っているが、実施をしたことはない」が35.7%と最も多く、次いで、「知らなかったが、今後は実施をしたいと思う」が26.8%となっている。
- ・「知っている」と回答した割合は、47.4%となっている。

施設類型別

- ・「知っている」と回答した割合は、訪問看護75.3%、病院71.8%、在支診66.3%、訪問薬局31.6%、在支歯診29.8%の順となっている。
- ・「知っており、実施をしたことがある」と回答した割合は、病院29.1%、訪問看護26.7%、在支診23.9%であるのに対し、在支歯診1.6%、訪問薬局2.0%となっている。

図表 31 ACP（人生会議）の実施状況



(6) 在宅での看取りにおける課題

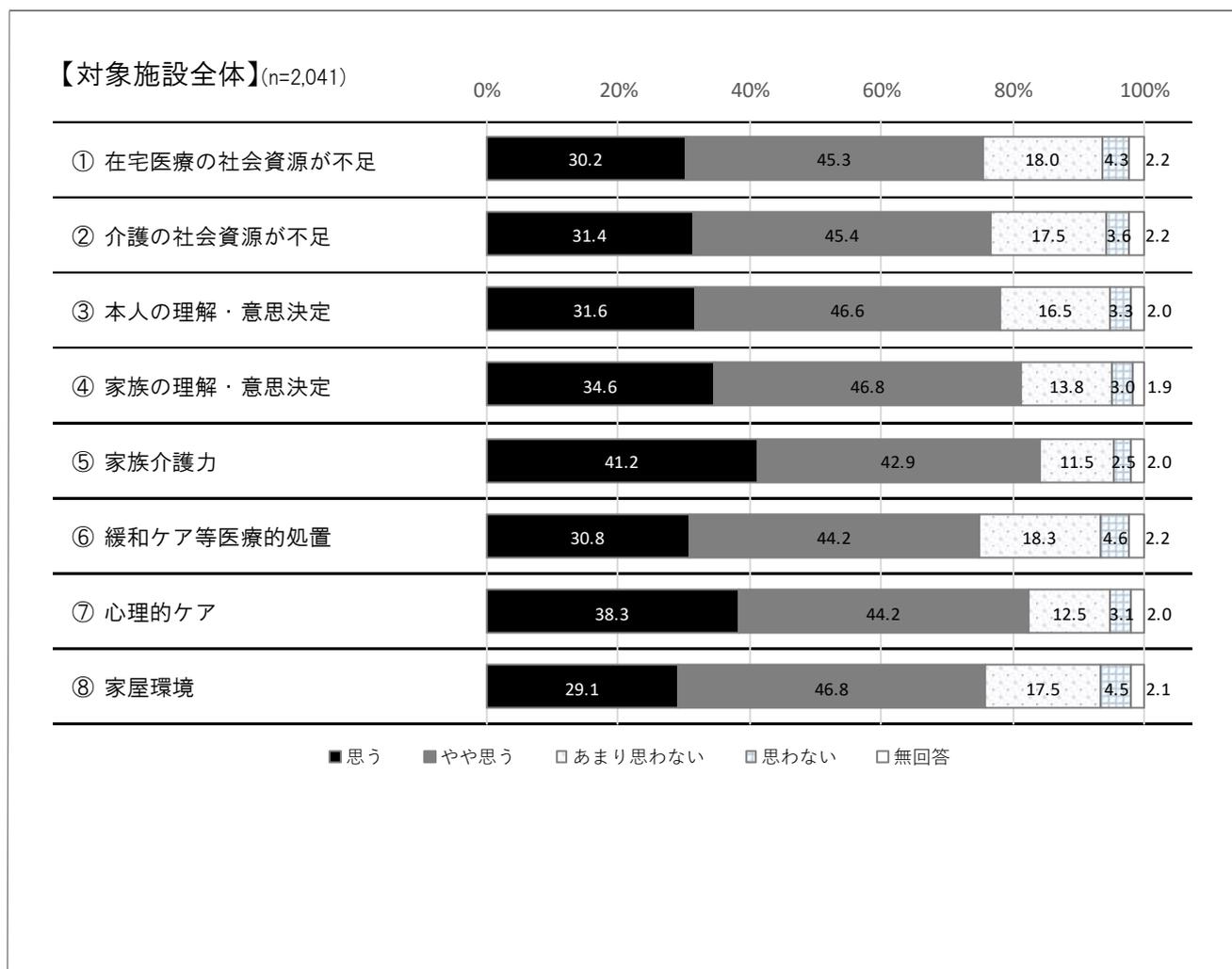
対象施設全体

- ・「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族介護力」が 84.1%と最も高く、次いで、「心理的ケア」82.5%、「家族の理解・意思決定」81.4%の順となっている。

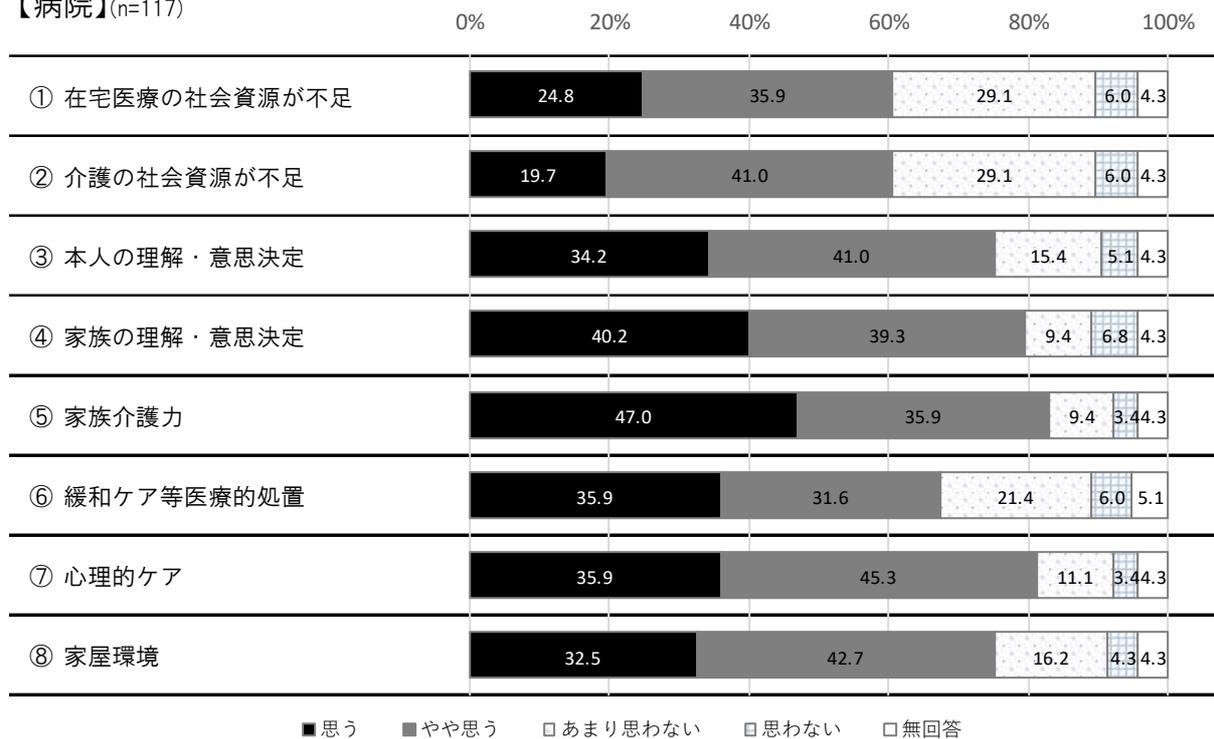
施設類型別

- ・病院では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族介護力」が 82.9%と最も高く、次いで、「心理的ケア」81.2%となっている。
- ・在宅診療では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族介護力」が 87.7%と最も高く、次いで、「家族の理解・意思決定」82.0%となっている。
- ・在宅医療では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族の理解・意思決定」が 83.0%と最も高く、次いで、「心理的ケア」82.5%、「在宅医療の社会的資源が不足」「家族介護力」82.4%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「心理的ケア」が 85.6%と最も高く、次いで、「家族介護力」82.2%となっている。
- ・訪問看護では、「思う」「やや思う」を合わせた割合は、「家族介護力」が 86.6%と最も高く、次いで、「家族の理解・意思決定」83.9%となっている。

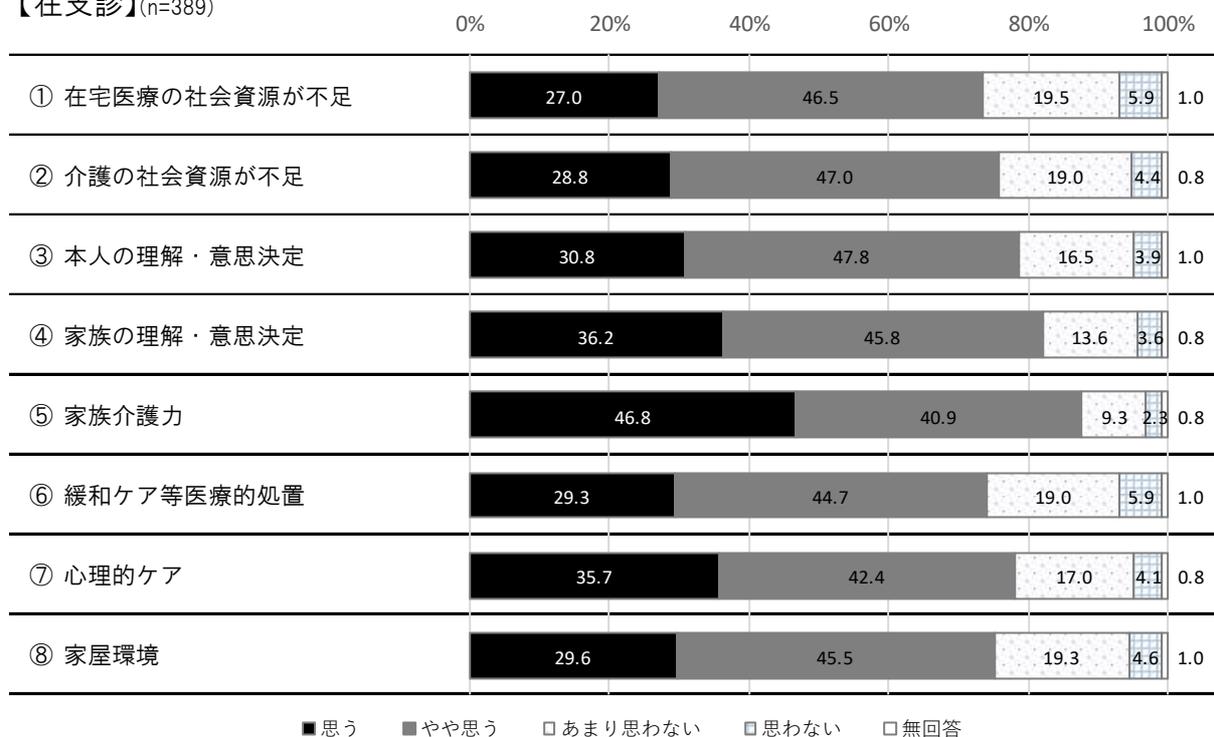
図表 32 在宅での看取りにおける課題



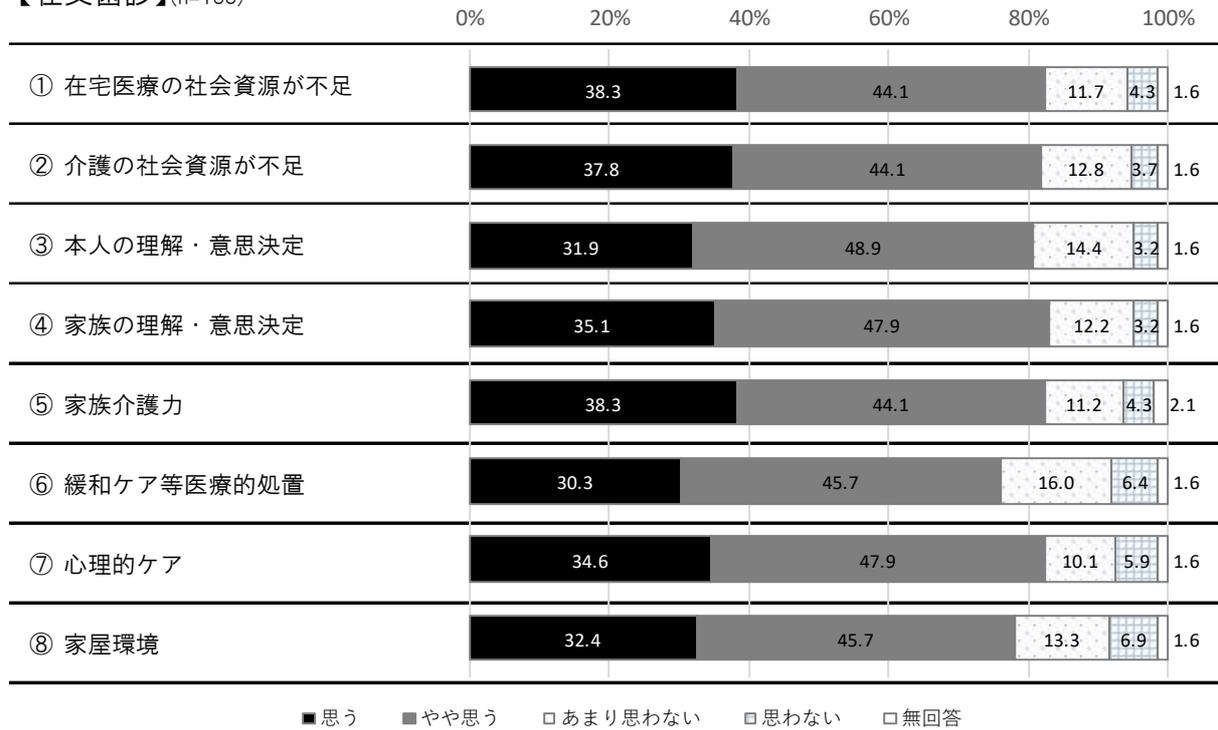
【病院】(n=117)



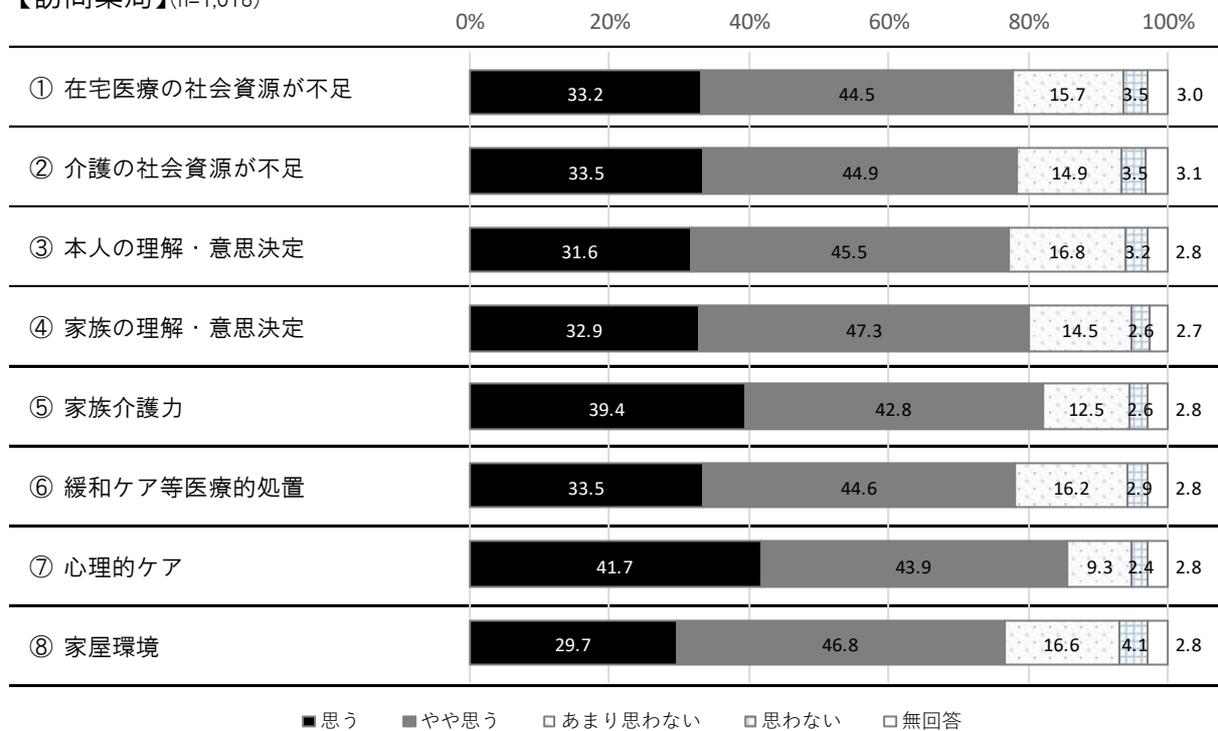
【在支診】(n=389)



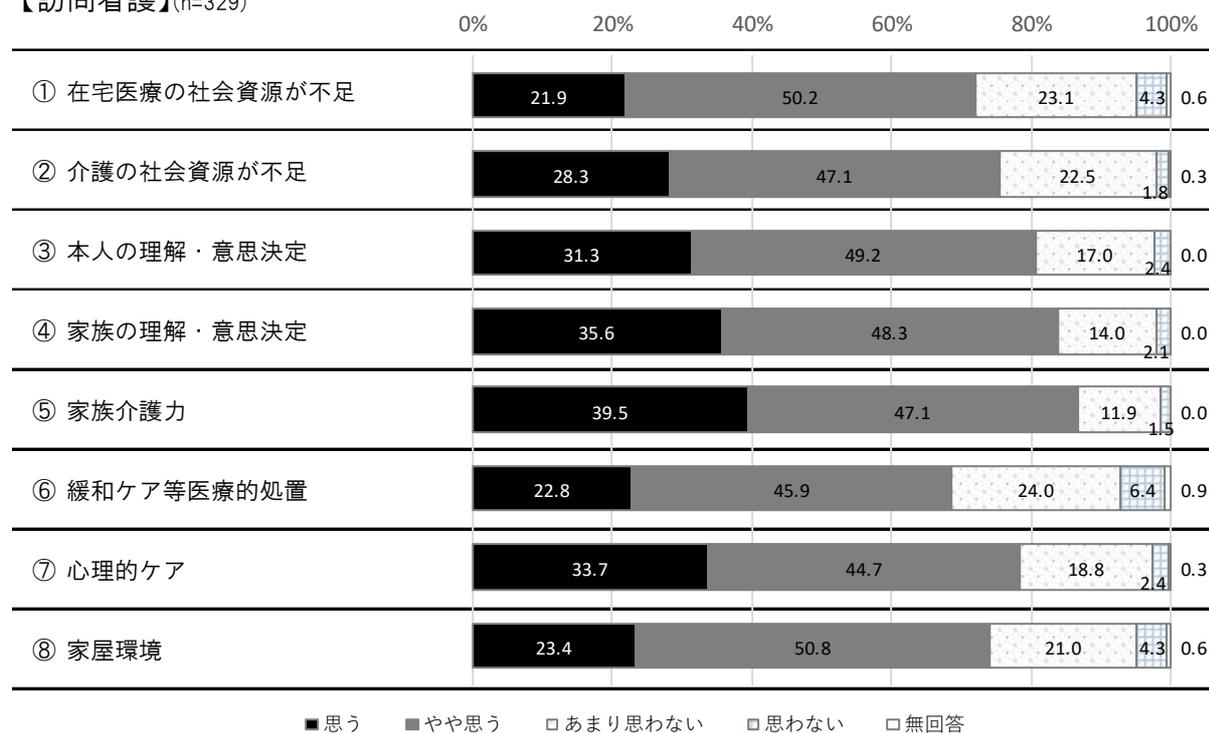
【在宅歯診】(n=188)



【訪問薬局】(n=1,018)



【訪問看護】(n=329)



(7) 仕事の満足度

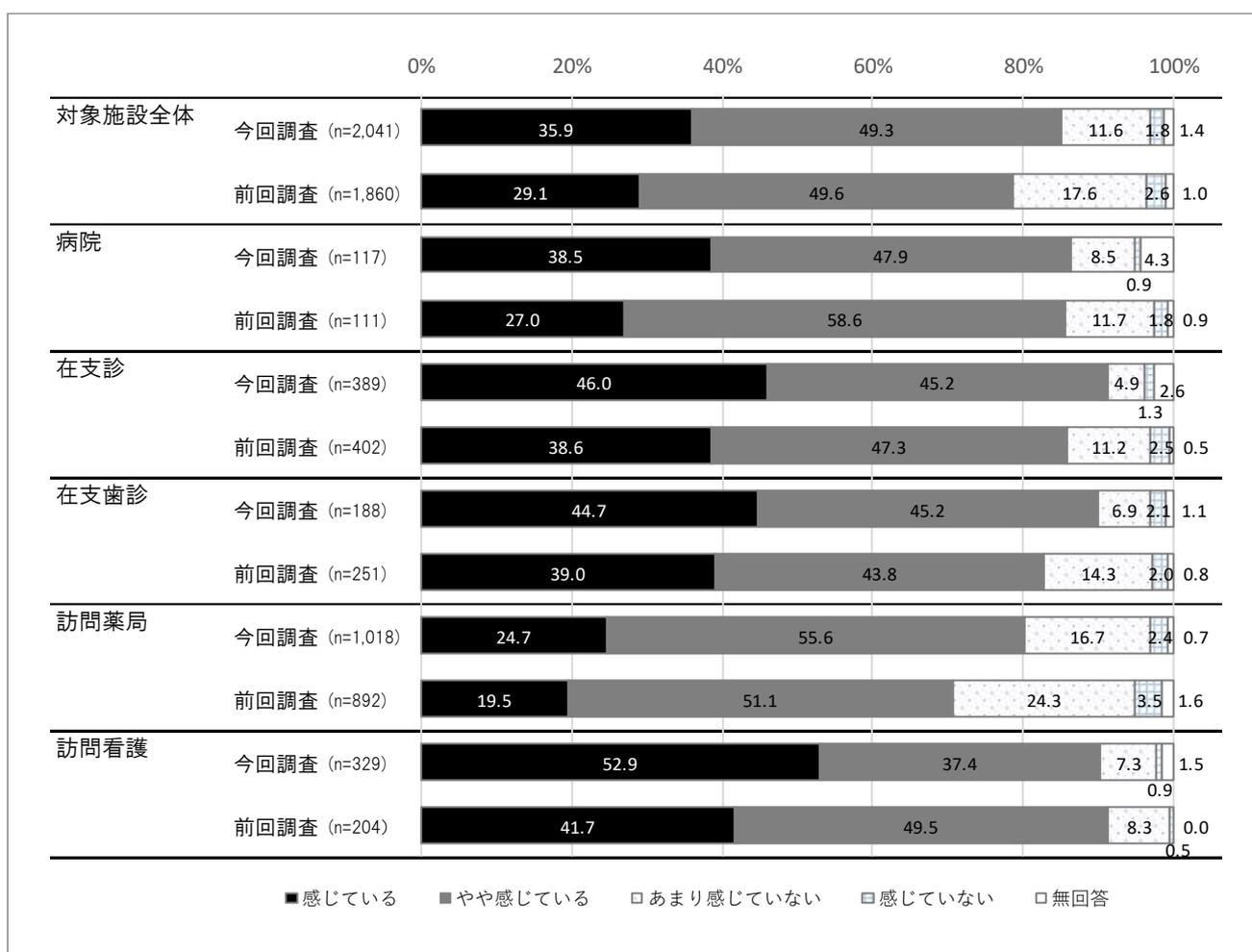
対象施設全体

- ・「やや感じている」が49.3%と最も多く、「感じている」35.9%と合わせて、85.2%となり、前回調査の78.7%より増加している。

施設類型別

- ・「感じている」「やや感じている」の割合は、在支診91.2%が最も多く、次いで、訪問看護90.3%、在支歯診89.9%、病院86.4%、訪問薬局80.3%の順となっており、いずれも8割以上となっている。

図表 33 仕事の満足度



【参考】仕事の満足度（対象施設全体・区別）

